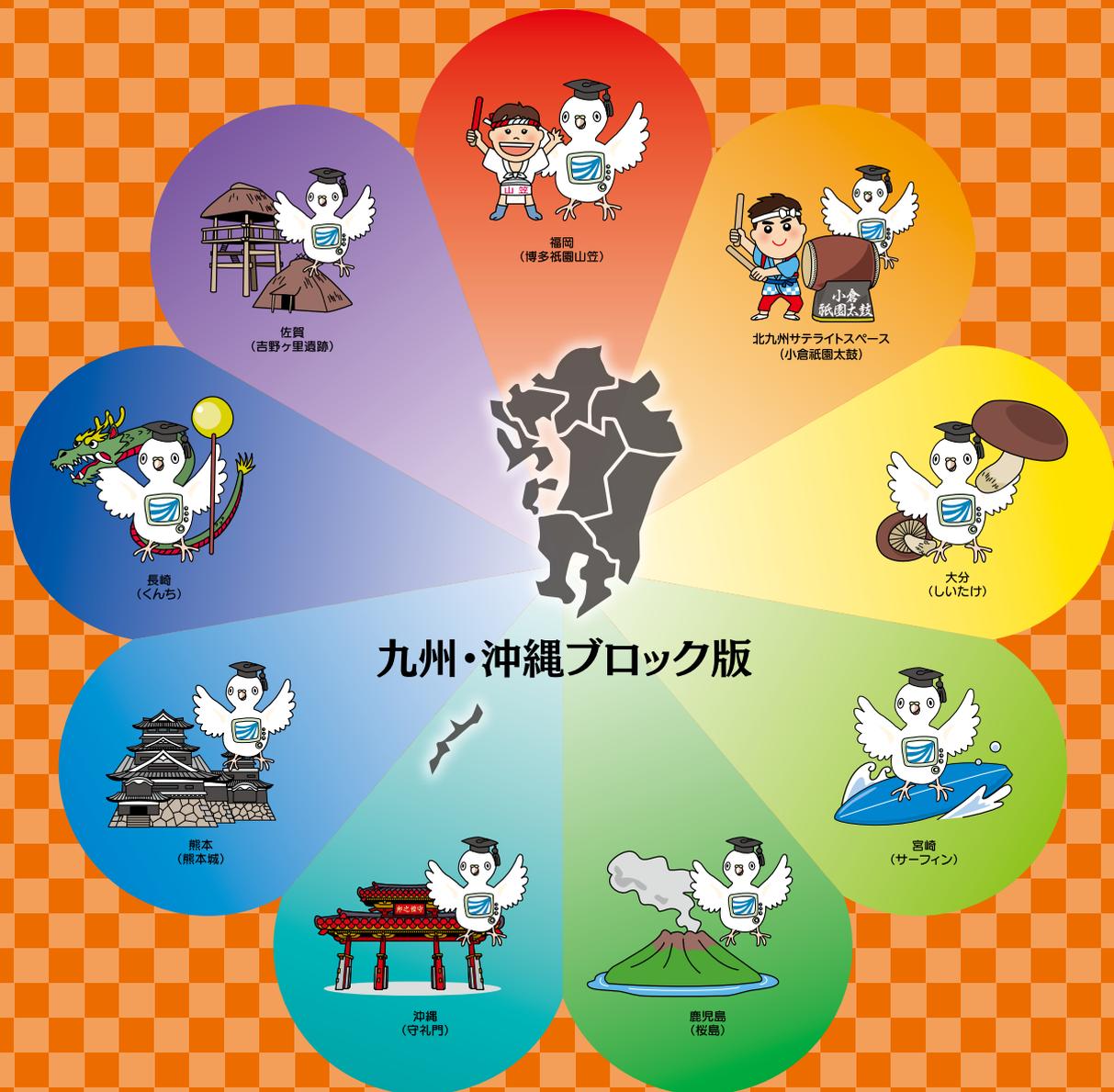


# 放送大学

## 教養学部

2025年度第2学期

# 面接授業時間割表



〈開講期間〉 2025年10月18日(土)～2026年1月25日(日)

# 目次

I. 科目登録の申請等について .....	1
II. 開設科目一覧	
学習センター別面接授業開設科目一覧 .....	11
科目区分別面接授業開設科目一覧 .....	19
III. 案内図・授業概要	
福岡学習センター .....	22
北九州サテライトスペース .....	42
佐賀学習センター .....	48
長崎学習センター .....	62
熊本学習センター .....	78
大分学習センター .....	94
宮崎学習センター .....	110
鹿児島学習センター .....	122
沖縄学習センター .....	140
IV. 学習センター以外の場所で行う面接授業 .....	160

## 【巻末資料】

追加登録申請書

## I. 科目登録の申請等について

この冊子は、九州・沖縄ブロック [福岡（北九州サテライトスペース）、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄] の各学習センターで開設される2025年度第2学期面接授業の時間割表です。

2025年度第2学期面接授業の科目登録に必要な冊子は、次のとおりです。

- 「科目登録申請要項（2025年度第2学期）」（科目登録申請票付）
  - 「2025年度第2学期面接授業開設科目一覧」
  - 「2025年度第2学期面接授業時間割表 [九州・沖縄ブロック版]」（本冊子）
- ※2019年度第1学期より、授業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。(詳細P2)

なお、九州・沖縄ブロック以外の各学習センターにおける開設科目の詳細（授業概要）につきましては、各学習センターに備え付けの時間割冊子または、放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/>) をご利用ください。

### 〔科目登録・履修にあたっての注意事項〕

1. 科目登録申請票提出後の変更・追加・取消等はできません。慎重に選択の上申請してください。  
※インターネット（システムWAKABA）で科目登録申請する場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面において変更・追加・取消等ができます。  
ただし、すべて取消することはできませんので、その場合は、本部までご連絡ください。
2. 授業を欠席しても、他の科目への振り替え、授業料の返還は行いませんのでご了承ください。
3. 次の場合、申請しても科目登録されませんので、ご注意ください。
  - ① 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と全く同じ科目名の授業を申請した場合
  - ② 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と相互に履修制限の関係にある科目を申請した場合（具体的な科目については全国版「面接授業開設科目一覧」の〈申請上の注意〉でご確認ください）
  - ③ 授業日程が重複する複数の面接授業科目を申請した場合  
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
  - ④ 複数の学習センターで開設する科目を受講する際、学習センター間の移動時間として最低1時限分以上の間隔がない場合  
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
  - ⑤ 同時に同じ科目名（同じ科目コード）の科目を複数申請した場合  
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
  - ⑥ 現在履修中の面接授業科目と全く同じ科目名の授業、または現在履修中の面接授業科目と履修制限の関係にある科目を申請した場合

4. 担当講師は、都合により変更する場合があります。授業日程にやむを得ず変更が生じた場合、受講生の方には電話及びキャンパスメール（学生メール）等によりすみやかにお知らせします。なお、授業日程の変更等の際は、交通費等は補償しませんので、あらかじめご了承ください。

講師の病気など、事情により他の講師が代講する場合があります。

また、災害の発生等で開講が困難な場合、閉講や日程変更となる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

担当講師変更・日程変更等についてはウェブサイトにて最新情報を随時掲載いたします。

(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/>)

5. 2025年度第2学期の九州・沖縄ブロック各学習センターの授業実施時間帯は以下のとおりです。下記実施時間と異なる科目もありますので、必ず各々の科目の日程・実施時間欄を確認の上受講してください。

[福岡、北九州、大分面接授業実施時間]

1時限： 9：45～11：15

2時限： 11：25～12：55

3時限： 13：40～15：10

4時限： 15：20～16：50

※2日目

4時限： 15：20～16：05

試験・レポート等： 16：05～16：50

[佐賀、宮崎面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限： 11：10～12：40

3時限： 13：30～15：00

4時限： 15：10～16：40

※2日目

4時限： 15：10～15：55

試験・レポート等： 15：55～16：40

[鹿児島面接授業実施時間]

1時限： 9：50～11：20

2時限： 11：30～13：00

3時限： 13：50～15：20

4時限： 15：30～17：00

※2日目

4時限： 15：30～16：15

試験・レポート等： 16：15～17：00

[熊本、長崎、沖縄面接授業実施時間]

1時限： 10：00～11：30

2時限： 11：40～13：10

3時限： 14：00～15：30

4時限： 15：40～17：10

※2日目

4時限： 15：40～16：25

試験・レポート等： 16：25～17：10

[鹿児島（鹿児島県立奄美図書館）面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限： 11：10～12：40

3時限： 13：30～15：00

4時限： 15：10～16：40

5時限： 16：50～18：05

試験・レポート等： 18：05～18：20

【2日目】

1時限： 9：30～11：00

2時限： 11：10～12：10

3時限： 13：00～14：30

試験・レポート等： 14：30～15：00

6. 受講したい科目の選択にあたっては授業概要をご覧ください。科目によっては、「授業テーマ」を記載しておりますが、授業の進捗状況にあわせて、変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

授業受講に際し必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）は「教科書」として指定しておりますので、受講生の方各自でご用意をお願いいたします。なお、教科書を指定する授業は、本冊子の授業概要に示してあります。

なお、消費税等の変動により、教科書・参考書の価格が表示価格と異なる可能性があります。

**【教科書】**：授業で使用します。事前に各自で必ず用意しておいてください。

**【参考書】**：受講する前に読んでおいた方がよいものや授業を理解する上で参考となるものです。（参考書の購入は、必須ではありません）

7. 面接授業の成績はA～Eの6区分の評価があり、「A～C」の場合1単位が与えられます。授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等\*の時間が設定されます。

\* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください）

\* フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。成績評価結果は、他の履修科目とあわせ「成績通知書」によって通知します。

8. 科目区分とナンバリングについては、本冊子8ページをご参照ください。

#### 【各ブロック版PDFについて】

所属ブロック以外の面接授業時間割表冊子（シラバス）は、「面接授業ウェブサイト」> 授業概要（<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/>）で、PDF版を閲覧できます。



#### 【ライブWeb授業について】

Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。詳細は、以下をご確認ください。

九州・沖縄ブロックのセンターで実施するライブWeb授業のシラバスは、実施センターの授業概要の最終ページに掲載しています。

<放送大学Webサイト/選ばれる理由/

いつでも、だれでも、自由な学び方を/ライブWeb授業>

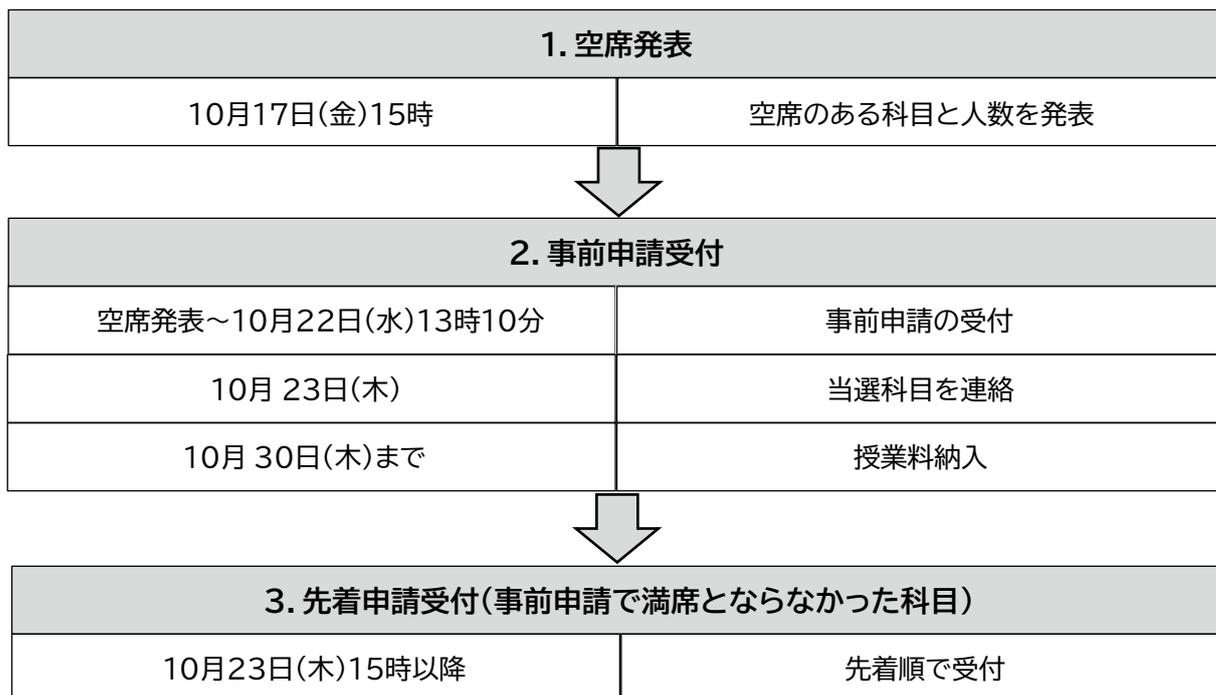


## 面接授業科目の「追加登録」について (ライブ Web 授業も準じます)

科目登録決定後、空席のある科目については、当該科目を開設する学習センターで追加登録を受け付けます。

「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」という方も、この機会を活かして面接授業の追加登録をご検討ください。また、2024 年度第 2 学期から、全ての学習センターでウェブから追加登録の事前申請が可能となりましたので、ぜひご利用ください。

追加登録は以下のとおり行います。



### 1 空席発表 10月17日(金) 15時

面接授業ウェブサイト(第2学期)の「お知らせ」にて、全国の空席状況を確認できます。面接授業ウェブサイト(mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/)は、以下の QR コードやシステム WAKABA の学内リンクからアクセスしてください。※

- 放送大学トップページから→[在学生\(WAKABA\)](#)をクリック
- システムWAKABAへログイン
- 学内リンクの[面接授業\(第2学期\)のページ](#)
- [お知らせ](#)に掲載します。



面接授業ウェブサイト2学期



※10月18日～30日の間に授業が始まる科目については、業務の都合により原則として追加登録の対象外となります。ただし、一部の学習センターでは、先着順で追加登録を受け付ける科目もあります。対象科目や申請方法については、面接授業ウェブサイトや各学習センターのウェブサイトでお知らせします。【10月初旬より随時公開】

## 2 事前申請受付

追加登録の事前申請は、開設する学習センターごとに受け付けを行います。他の学習センターの開設科目の受け付けはできません。それぞれの学習センターへ申請してください。

<p>事前申請の受付 【空席発表～10月22日(水)13時10分】</p>	<p>事前申請受付期間内に、次のA、Bのいずれかの方法により申請してください。</p> <p><b>A:Google フォームから申請</b> 各学習センターのウェブサイトの「お知らせ」から、Google フォームのURL をクリックして、必要な項目を入力してください。</p>  <p>※イメージ図</p> <p><b>B:学習センター窓口で申請</b> 開所時間を確認の上、巻末の追加登録申請書をご持参ください。</p> <p>なお、巻末の追加登録申請書を郵送することも可能ですが、その場合は10月22日(水)午前必着です。※北九州サテライトスペース実施科目は、福岡学習センターへ申請書を郵送してください。昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、Googleフォームからの申請を強くお勧めします。</p>
<p>当選科目を連絡 【10月23日(木)】</p>	<p>学習センターからキャンパスメール(学生番号@campus.ouj.ac.jp)へ抽選結果をお知らせします。キャンパスメールの確認方法がわからない方は、事前にお問い合わせください。</p> <p>なお、空席数以上の申込みがあった科目は、学習センターにて厳正に抽選を行い、当選者を決定いたします。</p>
<p>授業料納入 【10月30日(木)まで】</p>	<p>当選した科目があった方は、下記をご準備いただき、面接授業の開設学習センターへ、窓口または郵送(現金書留)にて手続きをしてください。</p> <p>期日までの納入が困難な場合は、必ず事前に開設学習センターへご相談ください。</p> <p>※北九州サテライトスペース実施科目の郵送納入(現金書留)は福岡学習センターへ郵送してください。</p> <p><b>【窓口】</b> 開設学習センターの開所時間内に、下記をご持参ください。 所定の授業料(1科目 6,000円※1×当選科目数)</p> <p><b>【郵送(現金書留)】</b> 開設学習センターの面接授業担当宛へ、下記を郵送してください。 ①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目 6,000円※1×当選科目数) ③返信用封筒(長形3号、宛先明記、110円切手貼付)</p> <p>10月31日(金)以降に到着したものや、不備のあるものは返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。</p>

※1 ライブ Web 授業「心理学実験(基礎)」の授業料は2単位12,000円です。

【ご注意ください】

- ・当選した科目のキャンセルはできませんのでご注意ください。
- ・Googleフォームで申請した内容は修正可能ですが、修正が難しい場合は、期日までに再度申請してください。複数回申請した場合、原則として最後の申請を有効とします。  
なお、Googleフォームと郵送を重複して申請した場合、原則として先に処理したものを有効とします。
- ・複数の学習センターに同名の科目を申請した場合や、日程が重複する科目を申請した場合、どちらを優先するか希望順位は選択できませんので、ご注意ください。
- ・2025年6月現在、学習センター窓口におけるキャッシュレス決済が検討されています。納入方法に変更がある場合、面接授業ウェブサイトでお知らせします。

【ご参考】

- ・全国の学習センターのウェブサイトは、以下の URL から検索できます。  
<https://www.ouj.ac.jp/about/ouj/center/>



### 3 先着申請受付(事前申請で満席とならなかった科目)

事前申請で満席とならなかった科目については、空席状況はシステム WAKABA でリアルタイムに確認できます。原則として開講日の7日前まで先着順で追加登録を受け付けます。

<p>空席確認 【10月23日(木)15時以降 随時】</p>	<p>放送大学トップページ→<b>在学生(WAKABA)</b>をクリック →<b>システムWAKABA</b>へログイン →<b>教務情報</b>→<b>科目登録申請</b>→<b>空席照会</b>をクリック →希望の科目を検索</p>  
---	---

<p>申請 【10月23日(木)15時～ 原則として開講日の7日前 まで※2】</p>	<p>先着順に受け付けます。申請の前に空席状況を確認してください。</p> <p><b>【窓口】</b> 開設学習センターの開所時間内に、下記をご持参ください。 ①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目 6,000円※3×申請科目数)</p> <p><b>【郵送(現金書留)】</b> 開設学習センターの面接授業担当宛へ、下記を郵送してください。 ※北九州サテライトスペース実施科目の郵送申請は、福岡学習センターに郵送してください。 ①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目 6,000円※3×申請科目数) ③返信用封筒(長形3号、宛先明記、110円切手貼付)</p> <p>授業料納入確認後、面接授業科目追加登録決定通知書をお送りいたします。各科目の追加登録受付期限内に郵便が届かない場合、申請した科目がすでに満席の場合、申請内容に不備がある場合などは登録できません。その場合、返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。</p>
---	--

※2 追加登録受付期限日は、原則として授業開始日の7日前(ライブ Web 授業は「心理学実験(基礎)」が14日前、その他が10日前)ですが、学習センターの閉所日や授業内容によって早めに締め切る場合や、直近まで受け付ける科目もあります。

※3 ライブ Web 授業「心理学実験(基礎)」の授業料は2単位12,000円です。

(参考)ライブ Web 授業科目の「追加登録」について

学習センターが開講する科目(「学習センターコード」が「12Z」以外の科目)に空席がある場合には、当該科目を開講する学習センターで追加登録を受け付けます。追加登録の手続きや日程は面接授業に準じます。

本部が開講する科目(「学習センターコード」が「12Z」の科目)は追加登録を行いません。

## 科目区分とナンバリング

放送大学の科目は全てのコースにおいて、基盤科目、導入科目、専門科目、総合科目に分類され、それぞれ100番台～400番台でナンバリングされています。

ナンバリングの小さいほうがより基礎的で、大きくなるにつれて専門性が高まり、総合科目は複数の専門科目の総合という意味で応用性が高くなるという構成になっています。

それぞれの科目区分と目標は次のようになります。

科目区分		目 標
基盤科目 (100番台)		放送大学の全てのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身につけること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。
コース科目	導入科目 (200番台)	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識およびそこで求められる基礎的な能力を身につけること。
	専門科目 (300番台)	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身につけること。
	総合科目※ (400番台)	学際的な知識、分析手法を身につけ、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

※面接授業における総合科目は、卒業要件上は所属コースの科目として扱います。

また、科目区分に加え、初級(10)、中級(20)、上級(30)の難易度も設定されています。そのため、各科目のシラバスには以下のようにナンバリングが記載されています。

	初級(10)	中級(20)	上級(30)
基盤科目(100)	110	120	130
導入科目(200)	210	220	230
専門科目(300)	310	320	330
総合科目(400)	410	420	430

なお、2009～2015年度に入学・再入学・編入学した方で、2016年度からのカリキュラムに移行していない場合の科目区分の読み替えについては、学生生活の葉をご確認ください。

授業内容には以下の項目が記載されていますので、科目を選ぶ際の参考としてください。

システムWAKABAシラバス検索

<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/>



(1)科目区分とナンバリング  
科目区分および難易度をナンバリングで表示しています。  
詳しくは8ページをご確認ください。

科目コード	948	【授業内容】
学習センター	学習センター	これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センターコード		【到達目標】
クラスコード		パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マネージャー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
科目名	新・初歩からパソコン	【授業テーマ】
科目区分	基盤科目	第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル）
ナンバリング	110	第2回 ワードによる文書作成とPDF保存
定員	20名	第3回 Webとメールの活用
担当講師	○○ ○○ 放送大学教授	第4回 セキュリティ
日程 実施時間	○月○日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 ○月○日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20	授業概要
		第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り(第7回で体験)
実施会場	●●図書館(△市●●)	【学生へのメッセージ】
		基本的なパソコン操作と放送大学のシステムWAKABAの操作方法を学びます。実習中は、講師とアシスタントがサポートしますので、慣れていない方でも安心して受講してください。
		【受講前の準備学習等】
		シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
		【成績評価の方法】
		成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		【受講者が当日用意するもの】
		USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証。授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。
		【教科書】
		・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します
		【参考書】
		・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。／¥0）
		【その他（特記事項）】
		この科目は2009～2015年度の「基礎科目」に該当します。 「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。

(2)成績評価の方法  
詳しくは3ページをご確認ください。

学習センター以外の場所で  
開講する科目は160ページをご確認ください。

(3)教科書・参考書  
詳しくは3ページをご確認ください。

### 障がいのある方が受講時の支援（合理的配慮）を希望される場合

講義内容や学習センターの学習環境等により、どのような合理的配慮が提供できるかは面接授業科目によって異なる可能性があります。希望する合理的配慮が提供できない場合でも、お支払いいただいた学費は学期開始前までに入学を辞退された場合の授業料を除いて返還できませんので、履修を希望する授業を開講する学習センター等に連絡のうえ、科目登録申請前に必ず相談してください。

## 自分用パソコン持ち込み方式（BYOD）のご案内

自分用パソコン持ち込み方式（BYOD）の面接授業は、原則として受講者ご自身でパソコン等を持参し、受講いただきます。

BYOD 科目は、授業内容の冒頭に BYOD であることが分かるよう記載しているほか、2025 年度第 2 学期面接授業開講科目一覧冊子の「PC 等持参必須」欄でもご確認いただけます。また、面接授業 Web サイトには「BYOD－自分用パソコン持ち込み方式について」を掲載しておりますので、ご参考になさってください。

面接授業ウェブサイト 2 学期  
<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/byod/>



なお、受講にあたり必要な条件は科目により異なります。面接授業時間割表（各ブロック版）やシステム WAKABA のシラバスを必ずご確認ください、科目登録申請をしてください。

1. 受講に必要なパソコン等端末の種類（パソコン、タブレット等）や OS・ソフトウェア（Windows や Office 等）についてご確認ください。
2. 学習センターの無線 LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の手続きを面接授業の受講前日までに  
 行う必要があります。  
2024 年度第 2 学期からオンライン申請となりました。手続きの詳細は上記「面接授業ウェブサイト」または「システム WAKABA > 各種届出・申請様式 > 無線 LAN 利用申請（オンライン）について」でご確認ください。
3. 学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な科目の場合、自宅やコンビニ等で印刷いただく必要があります。

科目コード		【授業内容】
学習センター	福岡学習センター	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センターコード	40A	内容：プログラミングを学んだことがない人を対象に、オンライン授業「プログラミング入門Python」の内容の一部を、演習を豊富に取り入れて実施します。まずは、プログラミングの基礎から学び、Scratchについて紹介します。 対象：プログラミングを学んだことがない人、プログラミング言語を学んだことがある人。
クラスコード	K	【授業テーマ】 第1回 プログラミングとは何か 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返しの書き方 第5回 ミニ課題のレビュー 第6回 統計処理とデータ可視化 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成と実行
科目名	プログラミング演習 Python	【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラミングを学びますが、使用するパソコンは各自が持ち込み方式で持参してください。 【受講前の準備学習等】 システムWAKABAにログインして Google Chromeをインストール
科目区分	導入科目：情報	【成績評価の方法】
ナンバリング	220	
定員	16名	
担当講師	タツミ タクオ 原己 丈夫 （放送大学教授）	

パソコン等を持参して受講する科目は【授業内容】の冒頭に以下のように記載しています。

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】  
 【受講者が当日用意するもの】  
 【その他（特記事項）】  
 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

### ※Microsoft Office の学割について

放送大学在学中の学生は、株式会社内田洋行が提供するサービス「ウチダの Office 学割」を利用し、Microsoft Office を特別学割価格で購入できます。詳しくは以下をご覧ください。

Microsoft Office の学割について  
<https://www.ouj.ac.jp/about/office-gakuwari/>



## Ⅱ. 開設科目一覧

### 学習センター別面接授業開設科目一覧 (★はライブweb授業)

#### 【福岡学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	10月18日(土)	笠原 義 晃	23
		10月25日(土)		
基盤科目	レポート作成の基本	10月19日(日)	渡 邊 淳 子	24
		10月26日(日)		
基盤科目：外国語	英語で学ぶアメリカのニュース	11月8日(土)	松 村 瑞 子	28
		11月9日(日)		
導入科目：人間と文化	大宰府史跡から歴史をひもとく	11月5日(水)	宮 地 聡一郎 他3名	27
		11月6日(木)		
導入科目：人間と文化	博物館浴®入門	12月20日(土)	緒 方 泉	37
		12月21日(日)		
専門科目：生活と福祉	生活習慣病予防から健康寿命延伸	10月18日(土)	得 能 智 武	24
		10月19日(日)		
専門科目：生活と福祉	感染症と免疫	11月8日(土)	荒 川 満 枝	28
		11月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	10月25日(土)	花 田 利 郎	26
		10月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	11月15日(土)	山 本 健太郎	29
		11月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	11月29日(土)	分 部 利 紘	31
		12月6日(土)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	12月6日(土)	斎 藤 富由起	35
		12月7日(日)		
専門科目：心理と教育	ヒューマニスティック心理学	12月6日(土)	金 子 周 平	35
		12月7日(日)		
専門科目：社会と産業	エネルギー・環境問題の新潮流	10月19日(日)	堀 井 伸 浩	25
		10月26日(日)		
専門科目：社会と産業	事例から学ぶ刑事法入門	11月15日(土)	田 淵 浩 二	30
		11月16日(日)		
専門科目：人間と文化	博物館を学ぶ	12月4日(木)	白 井 克 也 他7名	34
		12月5日(金)		
専門科目：人間と文化	大宰府の成立5	12月20日(土)	坂 上 康 俊	38
		12月21日(日)		
専門科目：人間と文化	★世界文化遺産というシステム	12月20日(土)	河 野 俊 行	41
		12月21日(日)		
専門科目：情報	デザイン思考	11月29日(土)	富 松 潔	32
		11月30日(日)		
専門科目：情報	コンピュータグラフィックス	12月13日(土)	鶴 野 玲 治	36
		12月14日(日)		
専門科目：自然と環境	★ロボティクス基礎	11月8日(土)	田 原 健 二	39
		11月9日(日)		
専門科目：自然と環境	★都市気候とヒートアイランド現象	11月15日(土)	萩 島 理	40
		11月16日(日)		
専門科目：自然と環境	自然災害に備える	11月29日(土)	笠 間 清 伸 他 6 名	33
		11月30日(日)		
専門科目：自然と環境	大陸形成・進化と日本列島の誕生	12月13日(土)	小山内 康 人	37
		12月14日(日)		

### 【北九州サテライトスペース開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	韓国語のしくみ	11月29日(土)	李 相 穆	45
		11月30日(日)		
導入科目：情報	コンピュータビジョン入門	11月8日(土)	谷 口 倫一郎	44
		11月9日(日)		
専門科目：生活と福祉	栄養化学	10月25日(土)	佐 藤 匡 央	43
		10月26日(日)		
専門科目：心理と教育	環境心理学への招待	12月13日(土)	山 下 智 也	45
		12月14日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	12月20日(土)	税 田 慶 昭	46
		12月21日(日)		
専門科目：人間と文化	東アジアからみる弥生時代	10月18日(土)	宮 本 一 夫	43
		10月19日(日)		

### 【佐賀学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	楽しい韓国語（初級編）	10月18日(土)	中 尾 友香梨	49
		10月19日(日)		
導入科目：情報	コンピュータの秘密を解き明かす	12月13日(土)	和久屋 寛	57
		12月14日(日)		
専門科目：生活と福祉	明日、誰かに伝えたい薬の話	11月15日(土)	寺 本 憲 功	54
		11月16日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月15日(土)	中 島 俊 思	55
		11月29日(土)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	12月6日(土)	田 中 沙来人	56
		12月7日(日)		
専門科目：心理と教育	子ども家庭支援の心理学基礎講座	12月20日(土)	田 口 香津子	58
		12月21日(日)		
専門科目：社会と産業	企業家の起業や経営再建	1月10日(土)	山 本 長 次	59
		1月11日(日)		
専門科目：人間と文化	軍事都市「肥前名護屋」を探る	10月25日(土)	宮 武 正 登	51
		10月26日(日)		
専門科目：人間と文化	美術史で辿る差別・被差別	11月8日(土)	吉 住 磨 子	53
		11月9日(日)		
専門科目：人間と文化	妖精とアイルランド・ケルト文化	12月20日(土)	木 原 誠	58
		12月21日(日)		
専門科目：情報	WAKABAを解体してみよう	11月1日(土)	中 谷 多哉子	52
		11月2日(日)		
専門科目：自然と環境	素粒子物理学入門	10月18日(土)	船久保 公 一	50
		10月19日(日)		
専門科目：自然と環境	微生物による発酵とは？	1月10日(土)	小 林 元 太	60
		1月11日(日)		

【長崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	韓国・朝鮮の言語と文化	11月15日(土)	新 里 瑠璃子	67
		11月16日(日)		
導入科目：生活と福祉	認知症の予防とケア	12月13日(土)	大 町 いづみ	72
		12月14日(日)		
導入科目：心理と教育	勇気づけの心理学	1月10日(土)	加 來 秀 俊	76
		1月11日(日)		
導入科目：社会と産業	行動経済学入門	11月1日(土)	深 浦 厚 之	64
		11月2日(日)		
導入科目：情報	XR（クロスリアリティ）入門	11月8日(土)	藤 村 誠	66
		11月9日(日)		
専門科目：生活と福祉	健康寿命の延長に向けて4	11月15日(土)	有 吉 紅 也 他7名	68
		11月16日(日)		
専門科目：生活と福祉	食生活学	12月20日(土)	及 川 大 地 他1名	74
		12月21日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月18日(土)	吉 武 久美子	63
		10月19日(日)		
専門科目：心理と教育	児童生徒の現代的健康課題と対応	11月8日(土)	田 中 生弥子	66
		11月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	11月29日(土)	橋 口 晋	69
		11月30日(日)		
専門科目：社会と産業	★電気と社会	11月12日(水)	山 下 敬 彦 他1名	77
		11月19日(水)		
		12月10日(水)		
		12月17日(水)		
専門科目：人間と文化	はじめての長崎学	11月29日(土)	山 口 広 助	70
		11月30日(日)		
専門科目：人間と文化	石膏デッサンを描こう	12月20日(土)	牧 野 一 穂	75
		12月21日(日)		
専門科目：情報	Pythonを用いたお絵描き	11月1日(土)	藺 田 光太郎	65
		11月2日(日)		
専門科目：情報	初等中等教育でのAI時代の学び	12月13日(土)	中 川 一 史	73
		12月14日(日)		
専門科目：自然と環境	無理数 $e$ ・ $\pi$ と虚数 $i$ の世界	11月29日(土)	松 田 良 信	71
		11月30日(日)		
専門科目：自然と環境	薬と毒のサイエンス	12月6日(土)	黒 田 直 敬	71
		12月7日(日)		

**【熊本学習センター開設科目】**

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	10月25日(土)	喜多敏博	81
		10月26日(日)		
基盤科目	レポート作成の基本	12月14日(日)	渡邊淳子	90
		12月21日(日)		
基盤科目：外国語	英語を楽しく読む	12月13日(土)	齋藤靖	89
		12月20日(土)		
専門科目：生活と福祉	最期まで自分らしくを支えるケア	10月19日(日)	村上美華 他2名	80
		10月26日(日)		
専門科目：生活と福祉	急変時対応と身体計測データ活用	11月30日(日)	副島弘文	86
		12月14日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月18日(土)	寺本渉	79
		10月19日(日)		
専門科目：心理と教育	災害支援の心理学	11月1日(土)	古賀香代子	83
		11月2日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月15日(土)	橋口真人	85
		11月16日(日)		
専門科目：心理と教育	リスクのある子どもの評価と支援	11月29日(土)	大河内彩子	86
		11月30日(日)		
専門科目：心理と教育	教育政策	12月6日(土)	櫻井直輝	87
		12月7日(日)		
専門科目：社会と産業	★人口減少時代の地域づくり	11月8日(土)	金岡省吾 他3名	92
		11月9日(日)		
専門科目：社会と産業	沿岸域の生物多様性と水産資源	12月6日(土)	逸見泰久	88
		12月7日(日)		
専門科目：人間と文化	西洋建築史研究のエッセンス	11月8日(土)	吉武隆一	84
		11月9日(日)		
専門科目：人間と文化	戦国時代論	12月20日(土)	稲葉継陽	91
		12月21日(日)		
専門科目：情報	技術変革と私たちの生活	10月25日(土)	葉田善章	82
		10月26日(日)		
専門科目：自然と環境	宇宙と地球と石ころの不思議	11月1日(土)	西山忠男	83
		11月2日(日)		
専門科目：自然と環境	★光と色の化学－光編	11月29日(土)	藤本斉	93
		11月30日(日)		

【大分学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	論理的思考と表現の基礎	11月8日(土)	大下晴美 他1名	99
		11月9日(日)		
基盤科目：外国語	基礎英語コミュニケーション学習	12月20日(土)	Shirley Gerald	108
		12月21日(日)		
導入科目：生活と福祉	大分県郷土料理を語る	12月13日(土)	望月美左子	107
		12月14日(日)		
導入科目：社会と産業	経営史とこれからの産業社会	12月6日(土)	渡邊博子	105
		12月7日(日)		
導入科目：人間と文化	はじめての手作り絵本	10月25日(土)	廣瀬剛	97
		10月26日(日)		
導入科目：情報	情報発信の技法とデザイン1	11月15日(土)	鈴木雄清	101
		11月16日(日)		
導入科目：情報	情報発信の技法とデザイン2	12月6日(土)	後藤善友	106
		12月7日(日)		
導入科目：自然と環境	大分の水と温泉	10月18日(土)	大上和敏	95
		10月19日(日)		
導入科目：自然と環境	はじめて学ぶ香りの科学	10月25日(土)	坂本幸司 他1名	98
		10月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月18日(土)	森下覚	96
		10月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月15日(土)	中村廣光	102
		11月16日(日)		
専門科目：心理と教育	こどもの心の理解と援助	12月20日(土)	西村薫	109
		12月21日(日)		
専門科目：社会と産業	都市コミュニティ論	11月29日(土)	玉野和志	103
		11月30日(日)		
専門科目：人間と文化	文化的景観とはなにか	11月8日(土)	飯沼賢司	100
		11月9日(日)		
専門科目：情報	コンピュータビジョン入門と実践	11月29日(土)	大城英裕	104
		11月30日(日)		

**【宮崎学習センター開設科目】**

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	11月22日(土)	坂本 真人	117
		11月23日(日)		
基盤科目	ビジネスマナー入門	11月22日(土)	柚木崎 千春	118
		11月23日(日)		
導入科目：社会と産業	会計と租税リテラシー	11月15日(土)	坂本 敬子	116
		11月16日(日)		
導入科目：人間と文化	最新の成果からみた稲作の起源	10月18日(土)	宇田津 徹朗	111
		10月19日(日)		
専門科目：生活と福祉	食肉の科学	11月29日(土)	河原 聡	119
		11月30日(日)		
専門科目：生活と福祉	精神保健学	12月20日(土)	川村 道子	121
		12月21日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	11月8日(土)	井上 浩義	115
		11月9日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学	11月29日(土)	宮野 秀市	119
		11月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	12月6日(土)	小澤 拓大	120
		12月7日(日)		
専門科目：社会と産業	コミュニケーションの仕組みを学ぶ	10月25日(土)	福島 三穂子	112
		10月26日(日)		
専門科目：人間と文化	飲食文化にみる南・北九州の比較	10月25日(土)	中村 周作	113
		10月26日(日)		
専門科目：人間と文化	「描く」を学ぶ	11月1日(土)	大泉 佳広	114
		11月2日(日)		
専門科目：人間と文化	現代ドイツの社会と文化	12月13日(土)	胡屋 武志	121
		12月14日(日)		

**【鹿児島学習センター開設科目】**

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	観光とおもてなしのための英語	11月29日(土)	山崎 美智子	130
		11月30日(日)		
基盤科目：外国語	やさしい日常基礎英会話（中級）	12月20日(土)	坂本 育生	135
		12月21日(日)		
導入科目：生活と福祉	精神的健康のセルフマネジメント	12月20日(土)	山下 亜矢子	135
		12月21日(日)		
導入科目：社会と産業	発酵食品のひみつ	10月18日(土)	高峯 和則	123
		10月19日(日)		
導入科目：社会と産業	日本の政治・かごしまの政治	10月25日(土)	平井 一臣	124
		10月26日(日)		
導入科目：社会と産業	日本の農業政策	10月25日(土)	北崎 浩嗣	137
		10月26日(日)		
導入科目：人間と文化	★唐詩へのいざない	11月1日(土)	高津 孝	139
		11月2日(日)		
導入科目：人間と文化	西洋の美術／鹿児島の美術	11月15日(土)	楠 元香代子 他7名	128
		11月16日(日)		
導入科目：自然と環境	娯楽の数学	12月13日(土)	青山 究	133
		12月14日(日)		
導入科目：自然と環境	水族館学入門	12月13日(土)	佐々木 章 他2名	134
		12月14日(日)		
導入科目：自然と環境	毎日の暮らしを豊かにする化学	1月10日(土)	岡村 浩昭	136
		1月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	11月1日(土)	山崎 真理子	126
		11月2日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	11月8日(土)	有倉 巳幸	127
		11月9日(日)		
専門科目：心理と教育	心理アセスメントの基礎	11月29日(土)	関山 徹	131
		11月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理アセスメントの基礎	11月29日(土)	関山 徹	138
		11月30日(日)		
専門科目：社会と産業	わかりやすく『地域課題と政策』	11月15日(土)	西 啓一郎 他3名	129
		11月16日(日)		
専門科目：人間と文化	建築のカタチを考える	10月18日(土)	柴田 晃宏	123
		10月19日(日)		
専門科目：人間と文化	『吾輩は猫である』を読む	12月6日(土)	村瀬 士朗	132
		12月7日(日)		
専門科目：情報	プレゼンテーションの理論と実践	10月25日(土)	加藤 浩	125
		10月26日(日)		
専門科目：自然と環境	鹿児島の自然環境と土砂災害	11月29日(土)	寺本 行芳	132
		11月30日(日)		

【沖縄学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	お金についての本当の話	10月18日(土)	日熊隆則	141
		10月19日(日)		
基盤科目	新・初歩からのパソコン	11月1日(土)	國田樹	146
		11月2日(日)		
基盤科目：外国語	基本英文法と英語表現	10月25日(土)	下地敏洋	144
		10月26日(日)		
導入科目：社会と産業	ゲーム理論	11月1日(土)	堀勝彦	147
		11月2日(日)		
導入科目：人間と文化	西洋図像学入門	12月6日(土)	船岡美穂子	152
		12月7日(日)		
導入科目：人間と文化	日本語で広がる異文化	12月13日(土)	尚真貴子	153
		12月14日(日)		
専門科目：生活と福祉	介護現場のアンガーマネジメント	10月18日(土)	大湾知子	142
		10月19日(日)		
専門科目：生活と福祉	現代医療の成り立ちと諸問題	11月8日(土)	山本秀幸	148
		11月9日(日)		
専門科目：生活と福祉	園芸福祉入門	12月6日(土)	赤嶺光	152
		12月7日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	10月18日(土)	古川卓	143
		10月19日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	10月25日(土)	井村弘子	145
		10月26日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	11月29日(土)	田中寛二	151
		11月30日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	12月13日(土)	廣瀬等	154
		12月14日(日)		
専門科目：人間と文化	『源氏物語』－原作と再生作品	11月29日(土)	萩野敦子	151
		11月30日(日)		
専門科目：人間と文化	琉球弧の民俗文化－自然と人－	12月20日(土)	高橋そよ	155
		12月21日(日)		
専門科目：情報	健康のための統計を理解する	11月8日(土)	米本孝二	149
		11月9日(日)		
専門科目：情報	★事例から学ぶA I・深層学習	11月14日(金)	宮田龍太	158
		11月21日(金)		
		11月28日(金)		
		12月5日(金)		
専門科目：情報	A I・機械学習入門 (HKクラス)	12月20日(土)	宮田龍太	156
		12月21日(日)		
専門科目：情報	A I・機械学習入門 (HLクラス)	12月20日(土)	宮田龍太	157
		12月21日(日)		
専門科目：自然と環境	沖縄の自然環境と世界自然遺産	11月8日(土)	佐々木健志	150
		11月9日(日)		

## 科目区分別面接授業開設科目一覧 (★はライブweb授業)

### 【基盤科目】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
新・初歩からのパソコン	福 岡	23
レポート作成の基本	福 岡	24
新・初歩からのパソコン	熊 本	81
レポート作成の基本	熊 本	90
論理的思考と表現の基礎	大 分	99
新・初歩からのパソコン	宮 崎	117
ビジネスマナー入門	宮 崎	118
お金についての本当の話	沖 縄	141
新・初歩からのパソコン	沖 縄	146

### 【基盤科目：外国語】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
英語で学ぶアメリカのニュース	福 岡	28
韓国語のしくみ	北九州	45
楽しい韓国語（初級編）	佐 賀	49
韓国・朝鮮の言語と文化	長 崎	67
英語を楽しく読む	熊 本	89
基礎英語コミュニケーション学習	大 分	108
観光とおもてなしのための英語	鹿児島	130
やさしい日常基礎英会話（中級）	鹿児島	135
基本英文法と英語表現	沖 縄	144

### 【導入科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
認知症の予防とケア	長 崎	72
大分県郷土料理を語る	大 分	107
精神的健康のセルフマネジメント	鹿児島	135

### 【導入科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
勇気づけの心理学	長 崎	76

### 【導入科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
行動経済学入門	長 崎	64
経営史とこれからの産業社会	大 分	105
会計と租税リテラシー	宮 崎	116
発酵食品のひみつ	鹿児島	123
日本の政治・かごしまの政治	鹿児島	124
日本の農業政策	鹿児島	137
ゲーム理論	沖 縄	147

### 【導入科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
大宰府史跡から歴史をひもとく	福 岡	27
博物館浴®入門	福 岡	37
はじめての手作り絵本	大 分	97
最新の成果からみた稲作の起源	宮 崎	111
★唐詩へのいざない	鹿児島	139
西洋の美術／鹿児島美術	鹿児島	128
西洋図像学入門	沖 縄	152
日本語で広がる異文化	沖 縄	153

### 【導入科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
コンピュータビジョン入門	北九州	44
コンピュータの秘密を解き明かす	佐 賀	57
X R（クロスリアリティ）入門	長 崎	66
情報発信の技法とデザイン1	大 分	101
情報発信の技法とデザイン2	大 分	106

### 【導入科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
大分の水と温泉	大 分	95
はじめて学ぶ香りの科学	大 分	98
娯楽の数学	鹿児島	133
水族館学入門	鹿児島	134
毎日の暮らしを豊かにする化学	鹿児島	136

【専門科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
生活習慣病予防から健康寿命延伸	福 岡	24
感染症と免疫	福 岡	28
栄養化学	北九州	43
明日、誰かに伝えたい薬の話	佐 賀	54
健康寿命の延長に向けて4	長 崎	68
食生活学	長 崎	74
最期まで自分らしくを支えるケア	熊 本	80
急変時対応と身体計測データ活用	熊 本	86
食肉の科学	宮 崎	119
精神保健学	宮 崎	121
介護現場のアンガーマネジメント	沖 縄	142
現代医療の成り立ちと諸問題	沖 縄	148
園芸福祉入門	沖 縄	152

【専門科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
心理検査法基礎実習	福 岡	26
心理学実験 1	福 岡	29
心理学実験 3	福 岡	31
心理学実験 2	福 岡	35
ヒューマニスティック心理学	福 岡	35
環境心理学への招待	北九州	45
心理検査法基礎実習	北九州	46
心理検査法基礎実習	佐 賀	55
心理学実験 1	佐 賀	56
子ども家庭支援の心理学基礎講座	佐 賀	58
心理学実験 2	長 崎	63
児童生徒の現代的健康課題と対応	長 崎	66
心理学実験 1	長 崎	69
心理学実験 2	熊 本	79
災害支援の心理学	熊 本	83
心理検査法基礎実習	熊 本	85
リスクのある子どもの評価と支援	熊 本	86
教育政策	熊 本	87
心理学実験 2	大 分	96
心理検査法基礎実習	大 分	102
こどもの心の理解と援助	大 分	109
心理学実験 3	宮 崎	115
臨床心理学	宮 崎	119
心理検査法基礎実習	宮 崎	120
心理学実験 2	鹿児島	126
心理学実験 3	鹿児島	127
心理アセスメントの基礎	鹿児島	131
心理アセスメントの基礎	鹿児島	138
心理学実験 2	沖 縄	143
心理学実験 1	沖 縄	145
心理検査法基礎実習	沖 縄	151
心理学実験 3	沖 縄	154

【専門科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
エネルギー・環境問題の新潮流	福岡	25
事例から学ぶ刑事法入門	福岡	30
企業家の起業や経営再建	佐賀	59
★電気と社会	長崎	77
★人口減少時代の地域づくり	熊本	92
沿岸域の生物多様性と水産資源	熊本	88
都市コミュニティ論	大分	103
コミュニケーションの仕組みを学ぶ	宮崎	112
わかりやすく『地域課題と政策』	鹿児島	129

【専門科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
博物館を学ぶ	福岡	34
大宰府の成立5	福岡	38
★世界文化遺産というシステム	福岡	41
東アジアからみる弥生時代	北九州	43
軍事都市「肥前名護屋」を探る	佐賀	51
美術史で辿る差別・被差別	佐賀	53
妖精とアイルランド・ケルト文化	佐賀	58
はじめての長崎学	長崎	70
石膏デッサンを描こう	長崎	75
西洋建築史研究のエッセンス	熊本	84
戦国時代論	熊本	91
文化的景観とはなにか	大分	100
飲食文化にみる南・北九州の比較	宮崎	113
「描く」を学ぶ	宮崎	114
現代ドイツの社会と文化	宮崎	121
建築のカタチを考える	鹿児島	123
『吾輩は猫である』を読む	鹿児島	132
『源氏物語』－原作と再生作品	沖縄	151
琉球弧の民俗文化－自然と人－	沖縄	155

【専門科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
デザイン思考	福岡	32
コンピュータグラフィックス	福岡	36
WAKABAを解体してみよう	佐賀	52
Pythonを用いたお絵描き	長崎	65
初等中等教育でのAI時代の学び	長崎	73
技術変革と私たちの生活	熊本	82
コンピュータビジョン入門と実践	大分	104
プレゼンテーションの理論と実践	鹿児島	125
健康のための統計を理解する	沖縄	149
★事例から学ぶAI・深層学習	沖縄	158
AI・機械学習入門	沖縄	156
AI・機械学習入門	沖縄	157

【専門科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
★ロボティクス基礎	福岡	39
★都市気候とヒートアイランド現象	福岡	40
自然災害に備える	福岡	33
大陸形成・進化と日本列島の誕生	福岡	37
素粒子物理学入門	佐賀	50
微生物による発酵とは？	佐賀	60
無理数 $e$ ・ $\pi$ と虚数 $i$ の世界	長崎	71
薬と毒のサイエンス	長崎	71
宇宙と地球と石ころの不思議	熊本	83
★光と色の化学－光編	熊本	93
鹿児島の自然環境と土砂災害	鹿児島	132
沖縄の自然環境と世界自然遺産	沖縄	150

# Ⅲ. 案内図・授業概要

## 福岡学習センター

(コード：40A)

### 福岡学習センター案内図

☎092-585-3033



【所在地】〒816-0811 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内E棟4・5階)

#### 【交通アクセス】

(1) JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)

(2) 西鉄白木原駅から徒歩20分

※土日は九州大学筑紫キャンパス内の駐車場を空きがあれば利用できます。(入口は「春日公園3丁目交差点」1カ所です)

※大野城門からは徒歩のみ通行可。

#### 【その他連絡事項】

(教科書について)

・各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。福岡学習センターでは販売していません。

(出欠について)

・教室内に準備している「出欠確認表」に各自署名してください。「出欠確認表」は時限毎に準備していますので1日4枚(2日間で8枚)となります。署名忘れは欠席扱いとなりますので忘れず署名してください。

(昼食について)

・平日・土曜日については、九州大学筑紫キャンパス内の学食をご利用いただけます。

(利用時間：火～金10:30～15:00・17:00～20:00、土 10:30～14:00 ※日曜日は休み ※変更が生じる場合があります。)

・福岡学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

(宿泊施設について)

・JR大野城駅周辺には、宿泊施設はありません。JR博多駅周辺の宿泊施設をご利用ください。福岡市内のホテルは、コンサート等のイベント開催により、予約を取ることが難しくなる場合がありますので、早めの予約をお勧めします。(南福岡、二日市、鳥栖、久留米エリア等の宿泊施設もご確認ください)

科目コード	2668610	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境及びオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、Webサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 Wordによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）
科目名	<b>新・初歩からのパソコン</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。
ナンバリング	110		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
定員	13名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。
担当講師	カサハラ ヨシアキ <b>笠原 義晃</b> 九州大学 情報基盤研究開発センター助教		<b>【教科書】</b> ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します。
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【参考書】</b> ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／¥0） ダウンロード方法は授業で説明いたします。
実施会場	福岡学習センター PC実習室		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2677873	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を健康寿命といいます。わが国は平均寿命が延び、世界有数の長寿国となりましたが、平均寿命に比べて健康寿命は、男性で9年、女性では12年も短いと報告されています。つまりこの期間は何らかの介護を受けて生活していることを意味しますので、この差を短くすることが、生活の質低下を防ぐことになると期待されます。脳血管疾患や心臓病といった循環器病は死亡原因でも上位ですが、介護原因でも上位に挙げられます。循環器病は生活習慣の改善から予防できることが期待される疾患です。循環器病の原因となる生活習慣病をコントロールすることが重要であることをこの面接授業で学んでいただければと思います。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 健康寿命を延伸させる一つとして、循環器病の予防が挙げられるが、そのためには生活習慣病を予防し、必要時には生活習慣病の治療を受けることが重要であることを理解し、説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 健康寿命と生活習慣病 第2回 生活習慣病とNCDs 第3回 高血圧の診断と治療について 第4回 脂質異常症の診断と治療について 第5回 糖尿病の診断と治療について 第6回 生活習慣病から循環器病へ：虚血性心疾患について 第7回 生活習慣病から循環器病へ：脳卒中について 第8回 健康診断と健康増進
科目名	生活習慣病予防から健康寿命延伸		<b>【学生へのメッセージ】</b> 受講生の健康管理に役立つ話をしたいと思います。最近受けたご自身の健康診断結果と見比べながら学ぶことで理解が深まるでしょう。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容を確認し、自己学習をしてください。ご自身の健康診断結果があれば、結果を見直してみてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具等をご持参ください。
担当講師	トクノウ トモタケ 得能 智武 福岡歯科大学 総合医学講座内科学分野教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2677830	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本授業は、文章作成の基本となる「何を」「どう書くか」という2つの観点から進めていきます。文章が論理的であるとはどういうことかということから説き起こし、序論・本論・結論からなる文章の基本構成、テーマ設定から執筆に至るまでの手順、情報の要約や言い換えの仕方、文章のマナー等を随所に盛り込みながら、論理的な文章の作成に取り組みます。なお、授業は4～5人編成のグループ学習の形を取ります。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 伝えたいことを明確にし、論理的な構成の文章で伝えることができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 レポートの基本構造・レポート「課題」の説明 第2回 わかりやすい文を書く 第3回 文献の読み込み 第4回 考える(問いと答え)・要約と言い換え 第5回 パラグラフで考える / 主張を考える(目標規定文をつくる) 第6回 レポート作成のマナー 第7回 序論と結論を書く 第8回 まとめ
科目名	レポート作成の基本		<b>【学生へのメッセージ】</b> 「書く」行為は「考える」行為に他なりません。講義を通じて論理的に考える習慣を身につけましょう。授業では、レポートを完成するために学生自らが関連資料を探し、読みこんだ後に、グループディスカッションに臨むことになります。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> 指定した教科書は、100ページ程度の分量ですから、事前に目を通しておけば、授業での理解も深まるはずですよ。
ナンバリング	120		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 最終レポートは、原稿用紙を配りますので、手書きで構いません。パソコンを使用した方は持参してください。講義室内に電源設備、プリントアウトの環境がありませんのでご注意ください。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
担当講師	ワタナベ ジュンコ 渡邊 淳子 熊本保健科学大学 アカデミックスキル支援センター教授		<b>【教科書】</b> ・〈改訂版〉大学生のための論文・レポートの論理的な書き方(渡邊淳子/研究社/ ¥1,430/ISBN=9784327384883) ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
日程実施時間	10月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅲ		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 (履修制限)「レポート作成の基本2021」「レポート作成の基本2022」「レポート作成の基本2023」の単位を修得済みの方は登録できません。

科目コード	2677903	<b>【授業内容】</b> 国際情勢の緊迫化による化石燃料価格の高騰、再生可能エネルギー（特に太陽光）の大幅な導入拡大、東日本大震災以降の原子力の停滞などによって我が国の電力価格は大幅に上昇し、時期によっては停電の危機に瀕するようになってしまっています。 他方、気候変動の国際交渉は米国トランプ政権による脱退以前から、先進国と途上国の間の対立が深まり、暗礁に乗り上げている状況です。こうしたエネルギー・環境問題を巡る新たな潮流を踏まえ、経済学の視点から我が国の現在のエネルギー・環境政策を分析し、今後のあるべき姿を考えます。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	<b>エネルギー・環境問題の新潮流</b>	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ホリイ ノブヒロ 堀井 伸浩 九州大学大学院 経済学研究院准教授	
日程実施時間	10月19日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 10月26日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ	

授業概要

**【到達目標】**

- ・世界のエネルギー・環境問題を規定する潮流の変化について理解し、説明することができる。
- ・我が国のエネルギー・環境問題の現状をデータとともに客観的に把握し、直面する課題について説明することができる。
- ・新潮流と我が国のエネルギー環境問題の現状に関する理解に基づき、今後の我が国のエネルギー政策のあり方について自らの意見を持つことができる。

**【授業テーマ】**

- 第1回 エネルギー・環境問題に関する海外・国内の新潮流
- 第2回 環境経済学の基本視点－限界概念、対策資源の希少性、機会費用－
- 第3回 我が国のエネルギー構造の変遷－歴史の回顧と直面する問題－
- 第4回 再生可能エネルギー導入の経済学的考察、火力発電の今後
- 第5回 電力自由化を支える経済学理論とその実際
- 第6回 原子力問題・気候変動問題の最新動向および課題への対応
- 第7回 履修者によるディスカッション
- 第8回 授業全体のまとめ・質疑

**【学生へのメッセージ】**

我が国の経済は低成長を抜け出せず、貿易収支は大震災以降、赤字基調が定着しています。その一因としてエネルギー価格の大幅な上昇が挙げられます。我が国では再生可能エネルギーのコストは割高ですが、政府は今後も導入拡大を進める姿勢です。授業では履修者の皆さん同士のディスカッションも含めて、我が国の将来に関わる重要な課題について皆さんと考えたいと思っています。

**【受講前の準備学習等】**

- ・受講までにニュースやネットで我が国のエネルギー・環境問題の基本的な状況に関する情報収集を行って下さい。
- ・第2週（10/26）には履修者によるディスカッションを行います。議題については第1週（10/19）の授業中に開示しますので、第1週の授業終了後第2週までの1週間、議題について自ら調べて考えをまとめて臨んで下さい。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

**【教科書】**

授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**

- ・電力崩壊 戦略なき国家のエネルギー敗戦（竹内純子／日本経済新聞出版／¥1,980／ISBN=9784296115020）
  - ・地球と一緒に頭も冷やせ！（ビョルン・ロンボルグ／SBクリエイティブ／¥2,200／ISBN=9784797347234）
- 現状、絶版のようで、中古品をアマゾンなどで入手するしかないようです。元々の定価よりかなり安く入手できそうです。

科目コード	2668815	<b>【授業内容】</b> 医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。 原則として8回の授業すべてに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	<b>心理検査法基礎実習</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ハナダ トシロウ <b>花田 利郎</b> 西南学院大学 人間科学部教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	<b>【到達目標】</b> 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での留意点について説明できる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション（倫理、意義、種類）／ 実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」 第2回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第3回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第4回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第5回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第6回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第7回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第8回 まとめ（テストバッテリー、インフォームドコンセント、倫理）
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 課題の中には、心理検査を実際に体験し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ、のり
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2677857	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> 大宰府は、かつて「遠の朝廷」とも呼ばれ、西海道（九州）を統括し、大陸との外交、軍事の役割を担っていました。その全容解明のため、昭和43（1968）年から福岡県教育委員会及び九州歴史資料館による本格的な発掘調査が始められ、これまでに様々なことがわかってきています。講義では、大宰府政庁のほか、水城跡や大野城跡、観世音寺等も含めた大宰府史跡について紹介し、それらから歴史をひもときます。 2日目は大宰府史跡を巡り、古代の人々の営みを実際に体感していただきます。</p> <p><b>【到達目標】</b> 大宰府史跡の重要性を理解し、文化財の意義を考えることができるようになる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 大宰府史跡について（宮地） 第2回 古代山城と大野城（坂元） 第3回 対外交渉と大宰府（吉田） 第4回 大宰府と西海道（松川） 第5回 視察研修① 大宰府跡（宮地・坂元） 第6回 視察研修② 太宰府天満宮（宮地・坂元） 第7回 視察研修③ 水城跡（宮地・坂元） 第8回 視察研修④ 大野城跡（宮地・坂元）</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> これまで大宰府史跡の調査研究で解明されてきたことを、わかりやすくご紹介します。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 第2日目は現地研修を行うため、運動に適した服装・靴を着用してください。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b> ・大宰府史跡発掘50年記念特別展「大宰府への道」展示図録（九州歴史資料館／九州歴史資料館／¥1,000） 九州歴史資料館で販売。通販可。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・授業料とは別に2日目の現地研修で利用するバス代（2,000円程度）が必要です。バス代は当日徴収します。受講生には別途、詳細をお知らせします。 ・集合・解散場所は、1日目は九州歴史資料館、2日目は西鉄二日市駅東口となります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象者としておりますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P5参照）</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	大宰府史跡から歴史をひもとく		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	<p>ミヤジ ソウイチロウ 宮地 聡一郎 九州歴史資料館 大宰府調査班長</p> <p>サカモト ユウキ 坂元 雄紀 九州歴史資料館企画主査</p> <p>ヨシダ トウメイ 吉田 東明 九州歴史資料館 埋蔵文化財調査室長</p> <p>マツカワ ヒロカズ 松川 博一 九州歴史資料館 学芸調査室長</p>		
日程実施時間	<p>11月5日(水)</p> <p>第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50</p> <p>11月6日(木)</p> <p>第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05</p>		
実施会場	九州歴史資料館、 太宰府市内現地研修 (福岡県小郡市三沢5208-3、太宰府市内)		

科目コード	2677849	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 20世紀のアメリカにおけるニュース映像を、120語～180語程度の短い英語で観て、聞いて、読んで理解していきます。取り上げられるテーマは政治、経済、科学、芸術、文化など様々です。また、ライト兄弟、エジソン、アル・カポネ、クラーク・ゲーブル、マリリン・モンロー、ケネディー、キング牧師など多くのよく知られた人物が登場します。授業では、映像を観て、聞いた後、書きとられた英語および時代背景についての解説を読み、内容に関する設問を解くことで、理解を深めていきます。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> ・映像の利点を最大限に活用することによって、「観る、聞く、読む」の三技能を総合的に伸ばしていく。 ・映像と読解、解説を通じて、本物のニュース映像で使われる政治、社会現象、経済、科学、芸術、文化など幅広い語彙・表現を学んでいく。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ニュース映像：1903-20から The Birth of Aviation Remembered他 第2回 ニュース映像：1920-29から Prohibition Voted in他 第3回 ニュース映像：1929-37から Stock Market Crash他 第4回 ニュース映像：1939-45から Premiere of "Gone with the Wind" 他 第5回 ニュース映像：1946-53から The "Iron Curtain" Speech他 第6回 ニュース映像：1956-63から Marilyn Monroe他 第7回 ニュース映像：1963-65から King's "I Have a Dream" Speech他 第8回 授業のまとめ
科目名	英語で学ぶ アメリカのニュース		<b>【学生へのメッセージ】</b> 英語を聞くだけでは難しそうに思えても、映像を観ながら聞き取ると大まかな内容はつかめることが多々あります。よく知られた人物についての話だと、なおさらです。文字や音声のみによって伝えられていたニュースを、映像とともに臨場感をもって理解していただください。
科目区分	基盤科目：外国語		<b>【受講前の準備学習等】</b> 授業を受講する前に配布資料を読んで、取り扱われている人物や出来事、事件について、簡単な情報を調べておけば、より理解が進むと思います。ライト兄弟、禁酒法、世界恐慌、「風と共に去りぬ」、鉄のカーテン等については、本やインターネットで簡単に情報を入手することができますので、調べておいてください。
ナンバリング	130		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	35名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 英和辞典（電子辞書でも可） 事前に配布する資料*受講生には別途連絡します。
担当講師	マツムラ ヨシコ 松村 瑞子 九州大学名誉教授		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月9日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2677881	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 新型コロナウイルスは2019年末より世界で猛威を振るい、私たちの生活に大きな影響を与えました。百歳を超えて生きることが稀有ではなくなった現代において、いかに健康に生きるかを考えると、感染症やそれに対抗する感染防止対策や、自分のからだの免疫機構は大変重要です。感染症の原因となる病原微生物、感染症の症状、治療、対処方法、予防方法を学び、生命体の重要な防御機能(免疫を含む)の理解をしましょう。本授業では、病原微生物に根拠をもって賢く対処する能力の基礎を形成します。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> ・インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防方法や感染時の対処方法を述べるができる。 ・主要な食中毒について予防方法や拡散防止方法、感染時の対処方法を述べるができる。 ・流行している感染症について、自発的に調べるようになる。 ・エビデンスに基づいた感染予防行動がとれるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 病原微生物の基礎知識～細菌とウイルスの違い～ 第2回 新型コロナウイルス感染症の原因ウイルス ～感染するという～ 第3回 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの予防と対処 第4回 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザと私たちの戦いの歴史 第5回 食中毒など身近な感染症 第6回 私たちの免疫機構 第7回 予防接種、抗菌薬や抗ウイルス薬 第8回 消毒薬とその効果
科目名	感染症と免疫		<b>【学生へのメッセージ】</b> 感染や細菌やウイルスに関する疑問を持って授業に臨んでいただくと、学習効果が上がると思います。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	アラカワ ミツエ 荒川 満枝 福岡看護大学 看護学部教授		<b>【参考書】</b> ・系統看護学講座(専門基礎分野) 疾病のなりたちと回復の促進 [4] 微生物学 第14版(吉田 眞一ら/医学書院/¥2,530/ISBN=9784260047029)
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月9日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 II		

科目コード	2668769	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。 取り上げるテーマは、「ミュラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「概念学習」です。 単位の修得には原則としてすべての回に出席し、その3つのすべてのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。 <b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学における研究手法 第2回 ミュラー・リヤー錯視：実験・解説 第3回 ミュラー・リヤー錯視：データ整理 第4回 ミュラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方 第5回 アイコニックメモリ：実験・解説 第6回 アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方 第7回 概念学習：実験・解説 第8回 概念学習：データ整理・レポートのまとめ方 <b>【学生へのメッセージ】</b> 心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（無線LANに接続可能なもの。【受講前の準備学習等】要確認）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・講義室内にプリンターはありません。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで（板口典弘、山本健太郎／講談社／¥2,090／ISBN=9784061548091） <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	

科目コード	2677911	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 犯罪をどう処罰するかは人間社会の古くからのテーマです。犯罪は毎日起きており、裁判に関するニュースも身近です。とくに最近3年間は刑法犯の認知件数が再び増加する傾向にあり、社会の刑事裁判に対する関心は昔より高くなったように思います。そこでこの授業では、事例から学ぶ刑事法入門と題して、授業前半において、裁判員制度の概要、刑法の基本的考え方、犯罪とは何か、犯罪被害者の権利を学び、授業後半において、実際の起きた事件の裁判例の学習を通じて、社会において刑法がどう解釈・適用されているかを学びたいと思います。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 裁判員制度の概要を理解する。刑法の基本的考え方を理解する。犯罪とは何かを理解する。犯罪被害者の権利を理解する。実際に起きた事件の裁判例を通じて、刑法が社会のなかでどのように解釈・適用されているかを知ること、社会の中での刑法の機能を理解する。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 裁判員制度の概要 第2回 刑法の基本原則 第3回 犯罪とは何か 第4回 犯罪被害者の権利 第5回 事例から学ぶ① 第6回 事例から学ぶ② 第7回 事例から学ぶ③ 第8回 事例から学ぶ④
科目名	<b>事例から学ぶ 刑事法入門</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 犯罪や刑事裁判はテレビドラマではよく取り上げられますが、実際にはあまり身近な問題ではないかもしれません。しかし、刑法は善悪についての基本的道徳観を反映していると同時に、国が刑罰を濫用しないための仕組みを備えています。さらに裁判員に選ばされると、有罪・無罪を判断し、量刑をしなければなりません。市民の教養として学んでみませんか。
科目区分	専門科目：社会と産業		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・日頃から犯罪捜査や刑事裁判に関する記事に関心を持って読むようにしてください。 ・余裕があれば犯罪や刑事裁判をテーマとする小説を読んだり、映画・ビデオを鑑賞して、授業テーマへの関心を高めておいてください。 ・授業を受けた後で時間があれば裁判員裁判の傍聴に出かけてみてください。
ナンバリング	310		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
担当講師	タブチ コウジ 田 淵 浩 二 九州大学大学院 法学研究院教授		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月16日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2668793	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を3つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加したうえで、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3つの実験すべてについてのレポートの作成が必要となります。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を、実験者および参加者(協力者)の観点から体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 実験法の基礎およびレポート執筆の概説 第2回 触二点閾の測定 第3回 データの解析とまとめ 第4回 ストループ効果 第5回 データの解析とまとめ 第6回 鏡映描写 第7回 データの解析とまとめ 第8回 全体のまとめ
科目名	心理学実験3		<b>【学生へのメッセージ】</b> “こころ”は目で見たり手で触れたりすることができないものです。そのような“こころ”を心理学ではどのようにして捉えるのでしょうか？本講義をもとに、ともにその術を学んでいきましょう。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> 触二点閾では閾値、ストロープ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業ではノートパソコンは使用しませんが、レポート作成用としてご自身でノートパソコン等(Word、Excelがインストールされたもの)を持参・使用していただいても構いません(手書き作成の場合は持参不要です)。インターネットへの接続は不要です。また、講義室内に電源設備、プリントアウトの環境がありませんのでご注意ください。
担当講師	ワケベ トシヒロ 分 部 利 紘 西南学院大学 人間科学部准教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		<b>【その他(特記事項)】</b> 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。
実施会場	福岡学習センター 講義室II		

科目コード	2677946	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	<b>デザイン思考</b>	
科目区分	専門科目：情報	デザイン思考（Design Thinking）とは、これまでデザイナーが培ってきたスキル（人間中心デザインに基いた製品開発手法）を、より幅広い問題に適用して、イノベーションを起こすために、主として経営者やエンジニアなど非デザイナーを対象として用いる発想法です。 デザイナーの発想法を「未知の課題を解決するデザイン」に用いることが目的です。見た目のスタイリングや色合いを整えるようなデザインを学ぶのではなく、イノベーションに用いるためのアーティストやデザイナーの感性的な発想法を学びます。
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	トミマツ キヨシ 富松 潔 九州大学名誉教授	
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	<b>【到達目標】</b> 課題を発見して解決する方法を学ぶ。 社会課題を解決するための発想法を学ぶ。 共創による事業のイノベーションの方法を学ぶ。 課題解決案をプレゼンテーションできるようになる。 グループワークのファシリテーションができるようになる。
	11月30日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション、イノベーションについて／アイスブレイク 第2回 ビジョンドリブン、なぜデザイン思考か？／ワークショップ 第3回 発想法、ブレインストーミング法、メソッド解説 第4回 ブレインストーミング、ワークショップ 第5回 課題を発見し解決するデザイン思考 第6回 メソッド解説、ユーザ観察法、ペルソナ法、ロールプレイ法、アイデア展開法、デザインスケッチ 第7回 アイデアの収束とシナリオの作成／ワークショップ 第8回 プレゼンテーション
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 授業はワークショップ形式にします。 少人数で複数グループを作ってグループでのアイデア発想法や共創について、身近な課題を取り上げて実習します。
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 授業では、ノートパソコンとスマートフォンを使います。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 放送大学のキャンパスメールアドレスにログインしてSlack、Miroを使いますので、キャンパスメールのアカウントとパスワードの確認をしておいてください。 事前にSlack、Miroにログインして試しておいてください（授業前に受講者のキャンパスメール宛連絡します）。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末：ノートパソコン・スマートフォン 種類は問いません。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Slack、Miroが必要です（授業前にキャンパスメール宛連絡します）。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。
		<b>【教科書】</b> 授業当日に補助教材を配付します。
		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2677962	<b>【授業内容】</b> 私たちが住んでいる日本は、地震、火山活動が活発な環太平洋変動帯に位置し、地理的、地形的、気象的諸条件から、台風、豪雨、豪雪等の自然災害が発生しやすい国土となっています。自然災害を未然に防ぎ、災害による被害を最小限に抑えるための法・組織体系、国や県による防災計画、災害・防災情報の収集・伝達システム、住民および企業ができる防災活動など私たちが安心・安全な暮らしをするのに不可欠な防災・減災に関する総合的な社会システムについて学習します。 <b>【到達目標】</b> 防災活動を全体の社会システムとしてとらえ、我が国の防災システムについて理解できる。すなわち、防災活動が、どのような法律、行政組織、通信・情報システム、住民活動、企業活動等々に基づいて行われているか、幅広い視点から総合的に理解できる。その上で、個別の災害に対する具体的防災活動をシステムとして理解するとともに、災害時にとるべき専門的応用力を身につける。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 ガイダンス+災害の意味・定義（笠間） 第2回 地震防災と個人でできる地震対策（梶田） 第3回 防災情報と避難行動について（田井） 第4回 河川と洪水災害（林） 第5回 防災と情報（三谷） 第6回 災害被害の予測・予見技術の現状（浅井） 第7回 災害廃棄物の処理（中山） 第8回 令和7年九州北部豪雨による久留米市田主丸土石流について（笠間） <b>【学生へのメッセージ】</b> 日本各地で自然災害が頻発し、私たちの生活は常に災害の脅威にさらされています。私たち、友人や家族が、安心して安全に生活していくために、災害や防災に関することを勉強しませんか！ <b>【受講前の準備学習等】</b> 皆さんが考える災害の意味・定義とその理由についてお考えください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 講義2日目の最後に書いていただくレポートの提出方法については、原稿用紙に執筆して提出する方法と、パソコン等で作成して提出する方法を選択することができます。 パソコン等で作成する場合は、ノートパソコン、タブレット、スマートフォンなどをご持参ください。学習センターでの無線LANを利用方法については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。ただし、講義室に電源はありませんので、あらかじめ十分な充電等を行ってきてください。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【その他（特記事項）】</b> 2022年度第2学期、2023年度第2学期に開講した面接授業「自然災害と防災」と一部内容が重なる部分があります。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	自然災害に備える	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	カサマ キヨノブ <b>笠間 清伸</b> 九州大学大学院 工学研究院教授 カジタ ユキヒデ <b>梶田 幸秀</b> 九州大学大学院 工学研究院准教授 ハヤシ ヒロノリ <b>林 博徳</b> 九州大学大学院 工学研究院准教授 タイ アキラ <b>田井 明</b> 福岡工業大学 社会環境学部教授 ミタニ ヤスヒロ <b>三谷 泰浩</b> 九州大学大学院 工学研究院教授 アサイ ミツテル <b>浅井 光輝</b> 九州大学大学院 工学研究院教授 ナカヤマ ヒロフミ <b>中山 裕文</b> 九州大学大学院 工学研究院教授	
授業概要		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月30日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	

科目コード	2677920	<b>【授業内容】</b> 博物館には「文化財の公開展示」「文化財の保存修復」「文化財の調査研究」「教育普及」の機能があります。これらの機能について、九州国立博物館を例に研究員が授業を行います。授業や展示室の見学等を通じて、国立博物館の役割と活動状況について学び、博物館の将来像について考察します。 <b>【到達目標】</b> 学生が博物館の基本的な機能と役割を理解し、国立博物館をはじめとする博物館が置かれている状況をふまえて、博物館の将来像について考察できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 博物館を学ぶ（白井） 第2回 九州国立博物館の施設・設備（今井） 第3回 博物館の環境管理（渡辺） 第4回 文化財の収集と管理（野尻） 第5回 博物館の展示ができるまで（望月） 第6回 博物館の展示（伊藤） 第7回 博物館のバリアフリー化の取組み（齋部） 第8回 博物館と学校教育の連携（田中） <b>【学生へのメッセージ】</b> 社会の変化に伴い、博物館が社会に対して果たすべき役割も変化します。現在の博物館の状況を理解し、今後どのように変化すべきなのか、ともに考えましょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、九州国立博物館ホームページ等での自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、学生証を持参してください。また、施設観覧料が発生する場合（数百円程度）は自己負担となります。受講者には別途詳細をお知らせします。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【その他（特記事項）】</b> 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P5参照）
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	博物館を学ぶ	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	シライ カツヤ <b>白井 克也</b> 九州国立博物館学芸部長 イマイ リョウコ <b>今井 涼子</b> 九州国立博物館 交流課主任研究員 ワタナベ ヒロキ <b>渡辺 祐基</b> 九州国立博物館 博物館科学課研究員 ノジリ タダシ <b>野尻 忠</b> 九州国立博物館企画課長 モチヅキ ノリフミ <b>望月 規史</b> 九州国立博物館 企画課主任研究員 イトウ シンジ <b>伊藤 信二</b> 九州国立博物館 文化財課長 サイベ マヤ <b>齋部 麻矢</b> 九州国立博物館展示課長 タナカ ケンタ <b>田中 健太</b> 九州国立博物館 交流課主任研究員	
日程実施時間	12月4日(木) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月5日(金) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	九州国立博物館 (太宰府市石坂4-7-2) 九州国立博物館1階研修室	

科目コード	2668777	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者(協力者)」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説 第2回 実験1：パーソナルスペース 第3回 実験1：結果の整理とまとめ 第4回 実験2：印象形成(中心特性の働き) 第5回 実験2：結果の整理とまとめ 第6回 実験3：要求水準 第7回 実験3：結果の整理とまとめ 第8回 全体のまとめ
科目名	心理学実験2		<b>【学生へのメッセージ】</b> 私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 電卓
担当講師	サイトウ フユキ 齋藤 富由起 福岡女学院大学 人間関係学部教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月7日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05		<b>【その他(特記事項)】</b> 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅲ		

科目コード	2677890	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> ヒューマンスティック心理学は、臨床心理学を構成する一つの理論的立場であり、クライアント中心療法、ゲシュタルト療法、フォーカシング等から構成されるものとして捉えることができます。一方、それは人間の生き方や人生に対する態度についての学問であり、哲学や宗教学、社会学とも接近する総合的かつ実践的な人間学であると考えられることもできます。この授業ではその歴史を学び、一対一で行われる各種の心理療法の理論から、より広いグループやコミュニティへのアプローチの実践まで、段階的に理解していくことを目指します。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> ヒューマンスティック心理学の成立とその発展、特にカウンセリングとグループアプローチについて理解し、現代的意義を考察することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ヒューマンスティック心理学の歴史 第2回 臨床心理学の諸理論とヒューマンスティック心理学 第3回 クライアント中心療法1 第4回 クライアント中心療法2 第5回 ゲシュタルト療法 第6回 フォーカシング指向心理療法 第7回 人間性回復運動とグループアプローチ 第8回 コミュニティと社会におけるヒューマンスティック心理学
科目名	ヒューマンスティック 心理学		<b>【学生へのメッセージ】</b> 授業は基本的には講義形式ですが、時には小グループで個人的な感覚や体験について表現したり、それに対するフィードバックを得る体験学習を行います。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> 心理学と臨床心理学についての自己学習を心がけておいてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	カネコ シュウヘイ 金子 周平 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授		
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月7日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ		

科目コード	2677954	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 コンピュータが画像を生成するための理論と処理について説明します。CGを「空間・物体・光・動き・人などをコンピュータ内で再現する技術」と捉え、映像がどのように作られるのかを内部処理の視点から解説します。具体的には、モデリングやレンダリング、光と影の計算、アニメーションなど、それぞれに関連する数学や物理学の背景から映像生成への活用方法を説明します。CGの基本概念と理論を理解し、生成と活用に必要な知識を修得して頂こうと考えています。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	<b>コンピュータグラフィックス</b>	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ツルノ レイジ 鶴野 玲 治 九州大学大学院 芸術工学研究院教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
授業概要		<b>【到達目標】</b> 学生は、CG全般の考え方や基礎理論を理解し、画像や映像生成のために必要な技術や考え方を論理的に理解できる。それらの技術の関連や適用方法を理論と実践の両面から考えることができ、CG映像を制作する際のシステム設計、関連技術や理論の活用、ソフトウェア制作や操作など、さまざまな応用につながる知識を得られる。
授業概要		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 (講義) 全体の概要説明、空間と座標系 第2回 (講義) 形状モデリングとレンダリング 第3回 (演習) ソフトウェアのインストール、基本操作 第4回 (演習) 空間と座標系、形状モデリングとレンダリング 第5回 (講義) 材質感の表現方法、光源と照明の扱い 第6回 (講義) 時系列モデリング、アニメーション 第7回 (演習) 材質感の表現、光源と照明の扱い 第8回 (演習) 時系列モデリング、アニメーション
授業概要		<b>【学生へのメッセージ】</b> 講義で説明する理論や技術、演習ソフトウェアの操作など、多くはWEBや専門書などで事前に調査可能です。積極的に予習を勧めます。
授業概要		<b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。CGの基本技術をネットや専門書などで調べて予習して頂くと全体が理解しやすくなります。演習では「POV Ray」というソフトウェアを使います。ネットからダウンロードできますので、事前に操作に慣れておいて頂くと理解の助けになります。このソフトウェアは無料です。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実施会場	福岡学習センター PC実習室	<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 Windowsの動くPCをご持参ください(ノートパソコンでの受講が望ましい)。 2. OSの指定 Windows (11以降)。 3. ソフトのインストール CGソフトウェア「POV Ray」を使います。http://www.povray.org/ からダウンロードできます。Windowsのみに対応していますので、ネット接続できるWindows PCをご用意ください。また、ソフトウェアをインストールする際に管理者権限が必要になります。 レポートなどはオンラインで提出して頂く予定です。
		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
		<b>【参考書】</b> ・コンピュータグラフィックス [改訂新版] (コンピュータグラフィックス [改訂新版] 編集委員会/CG-ARTS協会 (公益財団法人画像情報教育振興協会) /¥3,960/ISBN=9784903474496) ・POV-Rayで学ぶ はじめての3DCG制作 つくって身につく基本スキル (KS情報科学専門書) (松下孝太郎、山本光、柳川 和徳/講談社/¥2,640/ISBN=9784061538276)
		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2677970	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 地球は約46億年前に誕生し、様々な変化を繰り返しながら現在の姿になりました。本講義では、太陽系の惑星における地球の特殊性について理解し、46億年におよぶ地球の歴史、地球環境変動や地球の構造等について学ぶとともに、大規模変動の最適な記録媒体となる変成岩に着目して、地球史における大陸の形成と進化や日本列島の形成過程について学習します。また、全体のまとめとして地球科学研究の最先端研究例にも触れたいと思います。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> ・地球科学の基礎を学び、身の回りの地学現象について説明できるようになる。 ・大陸や日本列島の成立過程を新たな視点で学び、地球表層部の大規模変動現象を説明できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 水惑星地球の歴史：地球史46億年 第2回 地球の内部構造と地球構成物質（岩石の基礎） 第3回 地球の大規模変動と変成作用（変成岩の基礎） 第4回 変成岩と変成作用（原岩と各種変成岩、変成相区分） 第5回 岩石が溶ける（変成岩と火成岩の境界） 第6回 変成岩の解析による大陸成長・進化プロセス 第7回 日本列島の形成過程 第8回 全体のまとめ
科目名	<b>大陸形成・進化と 日本列島の誕生</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 高等学校までに履修が少ない地球科学について最新の知識を習得し、身の回りの地球科学的現象や日本列島の多様な地質を考える基礎を身につけて欲しいと思います。
科目区分	専門科目：自然と環境		<b>【受講前の準備学習等】</b> 本講義を受講する中で日常的に発生する地球科学的現象や身の回りの地学について、興味を持って接して欲しいと思います。地球の歴史や岩石の基礎など、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	オサナイ ヤスヒト 小山内 康人 九州大学名誉教授		<b>【参考書】</b> ・岩石学概論（上）記載岩石学（周藤賢治、小山内康人／共立出版／¥4,180／ISBN=9784320046399） ・岩石学概論（下）解析岩石学（周藤賢治、小山内康人／共立出版／¥4,180／ISBN=9784320046405）
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【その他（特記事項）】</b> この授業は『ハイフレックス型』の試行授業です。講義室内にカメラを設置し、講師のみ撮影します。
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2677865	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> カナダでは、2018年から「処方箋に博物館と書く」という取り組みが始まりました。博物館は、「知的刺激、学び、楽しみ」の場ですが、欧米では「健康の場」「ウェルビーイングの場」「メンタルヘルスの場」としての利用も進んでいます。今回は、日本でも2020年から研究が始まった「博物館浴」の紹介とともに、受講生が実証実験に参加することで、博物館の新たな価値創造を考える機会とします。
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 博物館の新たな価値創造の方向性を学ぶために、「博物館浴」の理念と実践について理解し、科学的データから、そのレジリエンス効果を適切に説明できるようにする。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 「博物館浴」実証実験1－九州産業大学美術館を事例にして 第2回 日本の博物館の現状から、博物館の新たな価値創造を考える 第3回 「博物館浴」研究の動向1－「博物館浴」とは？、「森林浴」研究から学ぶこと 第4回 「博物館浴」研究の動向2－イギリス、アメリカなどの研究を読み解く 第5回 「博物館浴」研究を進めるために－科学的なデータからレジリエンス効果を検証する 第6回 「博物館浴」実証実験2－九州産業大学美術館を事例にして 第7回 博物館の新たな価値創造を考える（グループワーク） 第8回 グループ発表「博物館の新たな価値創造」
科目名	<b>博物館浴<sup>®</sup>入門</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 皆さんは、博物館が好きですか？博物館は皆さんを歓迎する場ですか？我が国には、5,700館以上あります。しかし、国民は1年間に利用する回数は「1.2回」です。今回は、九州産業大学美術館を事例に、博物館の新たな価値を創造します。
科目区分	導入科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 「博物館浴」による新たな博物館の価値創造について、グループで話す材料をあらかじめ予習しておいてください。「博物館浴」で検索すると、関係記事が閲覧できます。
ナンバリング	210		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、学生証を持参してください。受講生には別途詳細をお知らせします。
担当講師	オガタ イズミ 緒方 泉 九州産業大学 地域共創学部特任教授		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としておりますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（開設科目一覧P5参照）
実施会場	九州産業大学 15号館1階教室 および大学美術館 (福岡市東区松香台2-3-1)		

科目コード	2677938	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> これまで4回にわたり大宰府の成立過程を論じてきました。今回はこのシリーズの最終回として、奈良・平安時代の大宰府の機能を、主として軍事面と外交面とに絞って論じてみたいと思います。軍事面では隼人の反乱鎮定の軍事編成、藤原広嗣の乱と大宰府軍制、藤原仲麻呂の新羅征討計画における大宰府の役割、藤原純友の乱と大宰府、刀伊の来襲と大宰府といった、事件史を追いながら大宰府の役割を考え、外交面では筑紫館（鴻臚館）、大宰府客館の機能と変遷を中心に、従来大宰府の外交面での機能がどのように考えられてきたか、またどう考えるべきかについて論じていきたいと思います
学習センター(コード)	40A		<b>【到達目標】</b> 大宰府の軍事面、及び外交面での機能の歴史の変遷について、これまでの研究成果を踏まえて的確に説明できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 大宰府管内の軍事組織－軍団兵士と防人 第2回 大宰府と隼人の反乱 第3回 大宰府と藤原広嗣の乱 第4回 大宰府と刀伊の入寇 第5回 大宰府の外交機能－鴻臚館・客館・政庁 第6回 大宰府の外交機能－国書開封権をめぐる 第7回 大宰府と貿易 第8回 鴻臚館の終焉と博多
科目名	<b>大宰府の成立5</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 福岡のみなさんには身近な存在である大宰府史跡や鴻臚館・博多遺跡群ですが、そこで具体的にはどのような行政・外交・貿易・闘争が行われていたのか、これを、史料を読みながら最新の研究成果を踏まえつつ考えていきたいと思います。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> できれば大宰府政庁跡、鴻臚館跡（福岡市）、客館跡（太宰府市）などの遺跡に足を運んでいただき、また九州国立博物館、九州歴史資料館、鴻臚館跡展示館などの展示・解説施設をも訪ねていただければと思います。また、『太宰府市史 古代資料編』などの大宰府の歴史を解説した本に眼を通していただければ、内容が理解しやすいと思います。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 必要な資料は授業の数日前にキャンパスメール宛配信します。
担当講師	サカウエ ヤストシ 坂上 康俊 九州大学名誉教授		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【参考書】</b> ・太宰府市史 古代資料編（太宰府市／ぎょうせい／¥5,000） ・太宰府市史 通史編1（太宰府市／ぎょうせい／¥5,000） ・鴻臚館（仮題）（菅波正人／新泉社／¥1,870） 2025年夏刊行予定。
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

# ★福岡学習センター【ライブWeb授業】実施科目(40A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の3科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4001559	<b>【授業内容】</b> ロボティクスの基礎となるマニピュレータ（腕）の手先位置・姿勢の表現、および順運動学・逆運動学、それらの導出・利用方法について学習し、マニピュレータ運動学のモデル化・軌道計画手法を習得します。 <b>【到達目標】</b> 学問としての基礎的なロボティクスを理解する。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 ロボットとは：ロボティクス全体の紹介 第2回 関節変位と作業座標の関係：手先位置と関節角度の関係を学ぶ 第3回 姿勢の表現：ロボットの姿勢表現について学ぶ 第4回 目標軌道の生成：マニピュレータの目標手先軌道の生成方法を学ぶ 第5回 運動学：マニピュレータの運動学について学ぶ 第6回 逆運動学と位置制御：マニピュレータの逆運動学とそれを用いた位置制御について学ぶ 第7回 手先速度と関節角速度の関係：ロボットで頻りに利用するヤコビ行列について学ぶ 第8回 ロボットの運動学に関する全体の総まとめを行う <b>【学生へのメッセージ】</b> 数学を多用しますが、高校レベルで十分です。 また、ロボットに関する講義ですが、ものづくりに関する講義ではなく、産業用ロボットなどが与えられた際、どのようにして望みの運動を実現するのか？についての講義となりますので、高校数学を多用した理論的な講義が主となります。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 高校数学、特に三角関数と微分積分は予め学習しておいて下さい。 また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・実践ロボット制御 (細田 耕/オーム社/¥2,750/ISBN=9784274224300) ・イラストで学ぶロボット工学 (木野 仁/講談社/¥2,860/ISBN=9784061538344) ・工学博士が教える高校数学の使い方教室 (木野 仁/ダイヤモンド社/¥2,420/ISBN=9784478108154) <b>【その他 (特記事項)】</b> Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等で PC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a> を参照ください。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★ロボティクス基礎	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	40名	
担当講師	タハラ ケンジ 田原 健二 九州大学大学院 工学研究院教授	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月9日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

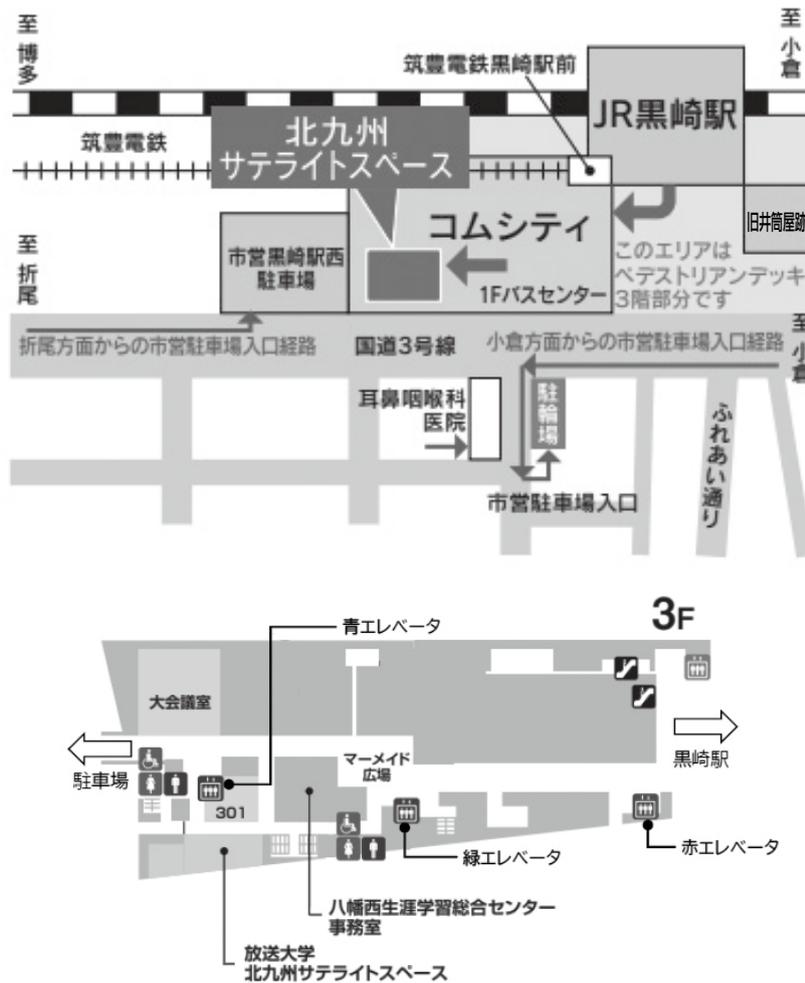
科目コード	4001567	<b>【授業内容】</b> 私たちの身近な環境の物理的な条件（温度、湿度や、風速など）の成り立ちの背景となるメカニズムについて学びます。また、緑地や都市など土地利用の違いが地表付近の微気象、都市のヒートアイランド現象に及ぼす影響について考察します。最後に、高温化が私たちの生活に及ぼす影響について学びます。 <b>【到達目標】</b> 身近な環境における気温や湿度、暑さ・寒さなどがどのように決まるのか、そのメカニズム（熱や水蒸気の輸送過程）を理解し、説明することができるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 都市気候とは何か 第2回 地表面の熱収支 第3回 陸地と水面の熱収支 第4回 植生に覆われた地表面の熱収支、水収支、CO <sub>2</sub> 収支 第5回 人間が改変した地表面の熱収支 第6回 都市ヒートアイランド現象 第7回 高温化による健康リスク：熱中症 第8回 全体のまとめ <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・地表面に近い大気の科学（近藤純正／東京大学出版会／¥4,400／ISBN=4130627074） Kindle版は安価で2,000円程度で入手できる場合があるようです。副読本として興味のある人にお勧めします。 <b>【その他（特記事項）】</b> Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a> を参照ください。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★都市気候とヒートアイランド現象	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ハギシマ アヤ 萩島 理 九州大学大学院 総合理工学研究院教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

科目コード	4001540	<b>【授業内容】</b> 本講義では、世界遺産条約が生まれた背景、世界遺産制度の仕組み、現状と課題そして未来について、体系的にアプローチします。できるだけ多様な具体例を用い、また各地の世界遺産を比較することで、世界の文化多様性を実感できるようにデザインします。さらに、世界遺産以外の文化遺産保護分野の条約（無形文化遺産条約、水中文化遺産など）についても言及して、広い視野から国際文化遺産法の概要が把握できるようにします。 <b>【到達目標】</b> 世界遺産はもっとも成功している文化遺産関連制度であるが、表層のあるいは断片的な知識をもつにとどまる人が大半であろう。受講生の世界遺産の見方が変わり、世界遺産の全体像を把握するとともに、その細部までにも理解が及ぶことを目標にしたい。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 世界遺産条約の成立と制度的構造 第2回 世界遺産の登録プロセス、変遷、政治過程 第3回 顕著で普遍的価値（その1）：登録基準 第4回 顕著で普遍的価値（その2）：真実性、完全性、管理計画 第5回 モニタリング、危機リスト 第6回 文化遺産概念の進化と世界遺産の諸相、文化遺産関連条約との比較 第7回 世界遺産の諸相（その2） 第8回 世界遺産の諸相（その3） <b>【学生へのメッセージ】</b> 制度としての世界遺産を体系的に解説します。事例や場合によっては動画を活用して楽しめるものになりたいと考えています。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 参考書等を用いて、事前に関連する基礎知識を習得しておくことをお勧めします。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・世界文化遺産の思想（西村幸夫・本中眞（編）／東京大学出版会／¥3,080／ISBN=9784130230742） <b>【その他（特記事項）】</b> 専用のシステム上で資料を配布します。 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a> を参照ください。
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★世界文化遺産というシステム	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	コウノ トシユキ 河野 俊行 九州大学名誉教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

# 北九州サテライトスペース

(コード：40S)

北九州サテライトスペース案内図 ☎093-645-3201



【所在地】 〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3  
(コムシティ3階)

## 【交通アクセス】

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄黒崎バスセンターから徒歩3分
- 筑豊電鉄黒崎駅前から徒歩3分

## 【その他連絡事項】

※会場には駐車スペースはありません。

※面接授業に必要な教科書は北九州サテライトスペースでは販売していませんので、各自書店等で事前に購入してください。

科目コード	2678020	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 水稲農耕社会の弥生時代は、日本列島における農耕の始まりだけでなく、青銅器や鉄器の始まりの時代でもあります。農耕、青銅器、鉄器が、どのようにして大陸から日本列島に伝わり、どのように社会の発展に寄与したのかを説明します。弥生時代は、人の移動や言語の拡散、そして技術や生産力の発展、あるいは環境変動など複合した要素が絡み合いながら、社会が複雑化していく日本の歴史にあっても大きな変動の時代でありました。こうした時代を東アジア的視点から眺め、日本文化の原点である水稲農耕社会の弥生時代を考えてみたいと思います。
学習センター(コード)	40S		<b>【到達目標】</b> 考古資料を使いながら、環境変動などの外的要因や大陸との地域間関係を踏まえて、先史時代の歴史を説明することができる。
クラスコード	Q		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 東北アジア初期農耕化4段階説 第2回 弥生時代の始まりとその実年代 第3回 縄文から弥生への転換と渡来人 第4回 弥生土器の成立・拡散と日本語 第5回 東北アジアの青銅器文化と弥生文化の青銅器 第6回 弥生時代の鉄器の流入と鉄器生産 第7回 楽浪郡と弥生時代の交易 第8回 邪馬台国の卑弥呼と古墳時代の始まり
科目名	東アジアからみる 弥生時代		<b>【学生へのメッセージ】</b> 北部九州のみなさんには身近な存在である弥生時代の遺跡、あるいは弥生時代遺跡から出土した土器、石器、青銅器、鉄器などの考古遺物から、東アジア的視点を踏まえつつ最新の研究成果を用いて、弥生時代の歴史を考えていきたいと思っています。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> できれば北部九州の弥生時代の遺跡に足を運んでいただき、また九州国立博物館、福岡市博物館、北九州市立いのちのたび博物館などの展示・解説施設をも訪ねていただければと思います。また、弥生時代に関する概説書に眼を通していただければ、内容が理解しやすいと思います。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ミヤモト カズオ 宮本 一夫 九州大学名誉教授		<b>【参考書】</b> ・季刊考古学・別冊41 九州考古学の最前線1 縄文～古墳編（宮本一夫編／雄山閣／¥2,600／ISBN=9784639029427）
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 2階 204会議室		

科目コード	2678004	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 食生活を含む生活習慣が原因で発症する疾病が増大する現在、健全な食生活について考えることは人生においても重要課題です。とくに三大栄養素である糖質、脂質、タンパク質の化学と供給源、それらの体内代謝および、過剰摂取と欠乏による生体応答についての理解は、食事および栄養問題解決に必要な知識です。また、栄養学の一般的な結論と、疾病という個人的な問題の解決についてどの様に結びつけるかも、大きな課題の一つでもあります。栄養学の知識を得るということとはどういうことかを、この機会に是非知って頂きたいと思っています。
学習センター(コード)	40S		<b>【到達目標】</b> ヒトには食べなくてはいけない食品成分(栄養素)があることを理解する。中でも三大栄養素(糖質、脂質、タンパク質)量および質について摂取の化学的な理解できるようにする。
クラスコード	Q		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 栄養素の化学と供給源 第2回 栄養素の摂取と消化 第3回 糖質(分類、摂取の意義、摂取基準) 第4回 糖質(代謝的運命)糖尿病 第5回 タンパク質・アミノ酸(分類、摂取の意義、摂取基準) 第6回 アミノ酸(代謝的運命)身体活動・運動 第7回 脂質Ⅰ(分類、摂取の意義、摂取基準) 第8回 脂質Ⅱ(代謝的運命運命)
科目名	栄養化学		<b>【学生へのメッセージ】</b> 日常の食生活を見直してみませんか？
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> 日常の自分自身の食事内容を1週間分把握して下さい。レポート用紙に書き出して下さい。必ずお願いします。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	サトウ マサオ 佐藤 匡央 九州大学大学院 農学研究院教授		<b>【参考書】</b> ・日本食品標準成分表(八訂)増補2023年(女子栄養大学出版会/女子栄養大学出版会) 購入しなくても文部科学省が公表しています <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_00001.html">https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/mext_00001.html</a>
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室		<b>【その他(特記事項)】</b> 学習状況の評点は簡単なテストを時間ごとに行います。 この講座は「北九州市民カレッジ」と共同企画です。同機関の受講生も参加します。

科目コード	2677997	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> カメラ等で撮影した実世界の状況を解析してその様子を出力する技術であるコンピュータビジョンの基礎について学びます。具体的には、まず、カメラから入力された画像の基本的な処理の枠組みについて学びます。その上で、2次元の画像からどうやって実世界の3次元的情報を獲得するのかや写っている対象の動きを解析する手法について学びます。最後に、パターン認識や最近の人工知能の発展との関係を概観します。これらの学びを通して、さらに深い技術や新しい技術を学ぶための基礎知識を習得します。
学習センター(コード)	40S		<b>【到達目標】</b> コンピュータビジョンにおける基礎的な技術、特に画像からの特徴抽出、3次元的情報の抽出法、対象の動きの解析法についてその基本的な手法の概略を説明することができる。
クラスコード	Q		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 コンピュータビジョンとは何か：コンピュータビジョンの基本的な考え方 第2回 画像の表現：画像を処理するために画像のデータのデータはコンピュータの中でどう表現されるか 第3回 画像からの特徴抽出：もっとも基本的な画素値の2階調化と2値画像処理について 第4回 画像からの特徴抽出：様々な場面で利用される画像の空間フィルタリングについて 第5回 2次元情報である画像から、3次元情報をどう抽出するか 第6回 動きの情報は画像からどう抽出されるのか 第7回 コンピュータビジョンに深く関係するパターン認識（情報の認識）の概要 第8回 最近のAI技術の発展にともない、コンピュータビジョン技術はどのように進化したか
科目名	コンピュータビジョン入門		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。コンピュータビジョンについてはWeb上に様々な資料が上がっていますし、良い参考書もありますので、まずは自分が読みやすいものを手に取ることをおすすめします。
科目区分	導入科目：情報		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
ナンバリング	220		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
定員	40名		<b>【参考書】</b> ・デジタル画像処理 [改訂第二版] (デジタル画像処理編集委員会/公益財団法人 画像情報教育振興協会/¥4,290/ISBN=9784903474649) ・コンピュータ画像処理 (改訂2版) (田村 秀行、斎藤 英雄 編/オーム社/¥4,290/ISBN=9784274228193)
担当講師	タニグチ リンイチロウ 谷口 倫一郎 九州大学名誉教授		<b>【その他 (特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月9日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 2階 204会議室		

科目コード	2677989	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 韓国語は日本語とよく似ていると言われ、日本人が親しみやすい言語の一つです。しかし、異なる点も少なくありません。 この授業では、韓国や韓国語に関心があってもなかなか一歩が出せない学生のためにハングル文字と発音のしくみ、基礎文法、簡単な会話を詳しく説明します。韓国語と日本語の違いについての概説では言語を学ぶ意味と楽しさについて講義を行う予定です。 授業終了後には韓国語が読めて簡単な自己紹介や挨拶、基礎会話ができるようになることを本授業の目標とします。また、マルチメディア教材も併用して伝統文化の紹介や映画鑑賞など、韓国文化についての理解を深めていきます。
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	<b>韓国語のしくみ</b>		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	35名		
担当講師	イ サンモク <b>李 相 穆</b> 九州大学大学院 言語文化研究院教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月30日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室		
		<b>【到達目標】</b> ・韓国語の文字が全て読める。 ・発音の規則を理解し、未知の単語に適用できる。 ・挨拶や簡単な日常会話ができる。 ・日本語と韓国語の違いについて説明できる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 韓国語社会と文化 第2回 韓国語の言語生活・日本語と比較 第3回 韓国語の文字と発音ルール① 第4回 韓国語の文字と発音ルール② 第5回 基礎文法① 第6回 基礎文法② 第7回 会話に挑戦しよう① 第8回 会話に挑戦しよう②	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 日常生活で意味はわからないが聞いたことがある韓国語や韓国人、韓国文化について知りたいことをまとめて持ってきてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
		<b>【参考書】</b> ・四訂版・韓国語の世界へー入門編ー(李潤玉 他/朝日出版社/¥2,640/ ISBN=978425557106)	
		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。	

科目コード	2678012	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 人間の行動は、その人間の心が突き動かしていると考えられがちですが、そのとき、その人間を取り巻く環境も、実はその行動に大きな影響を与えています。環境心理学は、そのような人間の「心理」とその人間を取り巻く「環境」との相互関係を扱う学問です。本授業では、環境心理学のキーワードを、体験的なワークを通して学んでいきます。
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	<b>環境心理学への招待</b>		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヤマシタ トモナリ <b>山下 智也</b> 北九州市立大学 文学部教授		
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 301会議室		
		<b>【到達目標】</b> 環境心理学のキーワードを用いて、日常の身近な出来事を題材に、人間と環境の関係性について説明できるようになる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 「人間と環境の関係性」に目を向ける 第2回 コミュニケーションワークを通して「学習環境」を整える 第3回 「物的痕跡」から人の行動を推測する 第4回 「パーソナルスペース」の実測を通して対人距離を理解する 第5回 身近な環境に潜む「アフォーダンス」を発見する 第6回 みなさんの「原風景」を紐解く 第7回 「居場所」とは何かを考える 第8回 「環境心理学」のこれから	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> ペアワークやグループワーク、デモンストレーションなどのアクティブラーニングを取り入れながら、体験的な理解を進めていきます。主体的な参加を期待します。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容について、日常生活を振り返り、復習を行なってください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	

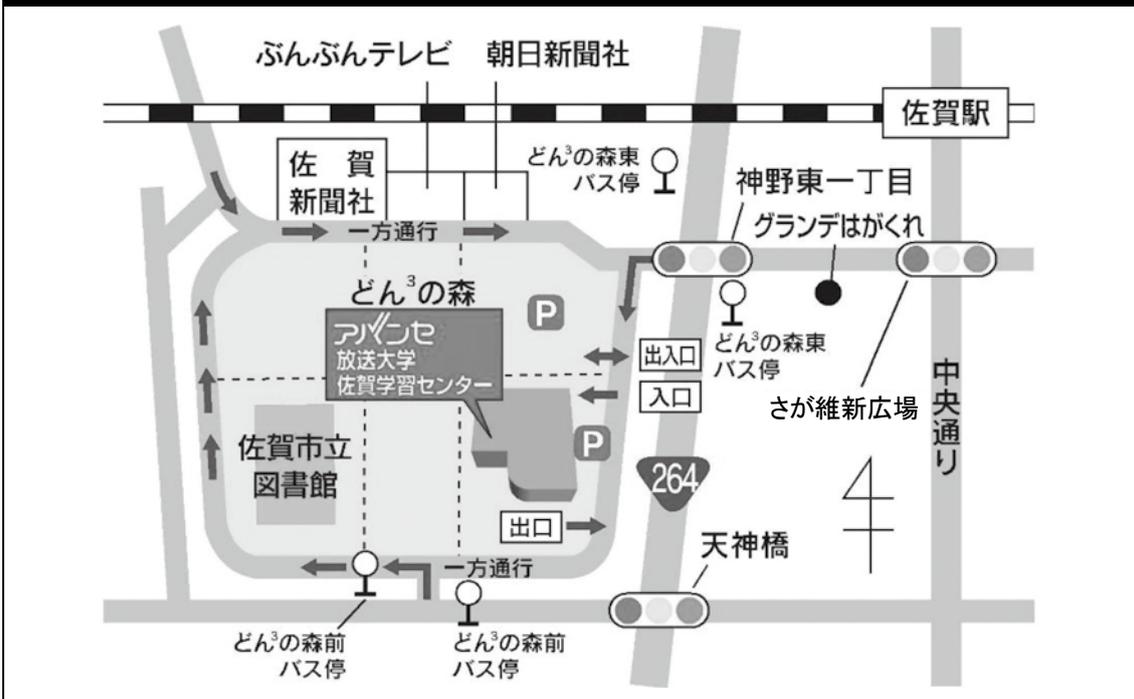
科目コード	2668815	<b>【授業内容】</b> 心理検査は個人の心理的傾向について測定するために用いられるものです。この授業では様々な心理検査の理論や仕組みについて学びます。また、心理検査の意義やその限界、倫理的問題についても理解を深めます。さらに、実際に心理検査を体験し、それぞれについてレポートを提出する過程において、自分自身について客観的に理解することも目的とします。受講生のみなさんは原則として8回の授業すべてに出席し、3つの検査それぞれについてのレポートと最後にまとめのレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	<b>心理検査法基礎実習</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<small>サイタ ヤスアキ</small> <b>税田 慶昭</b> 北九州市立大学 文学部准教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 09:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月21日(日) 第1時限 09:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05	
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室	<b>【到達目標】</b> 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理検査の成り立ち 第2回 検査実習1：Big Five尺度 第3回 心理検査の信頼性・妥当性 第4回 検査実習2：バウムテスト 第5回 心理検査の種類 第6回 検査実習3：内田クレペリン検査 第7回 テスト・バッテリー 第8回 心理検査のまとめ
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取組みとレポートの評点により行います。 （レポート課題） 体験した心理検査の結果とまとめ×3、まとめのレポート×1
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 当日は、鉛筆2~3本、消しゴム、赤鉛筆または赤ボールペン、定規（小さいものでよい）、電卓（スマホ機能可）を持参してください。
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。



# 佐賀学習センター

(コード：41A)

## 佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11  
(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

### 【交通アクセス】

#### ●JR佐賀駅から徒歩10分

JR 佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約 200 メートル進み「さが維新広場」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

#### ●JR 佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

### 【自家用車ご利用の方】

#### ●駐車場

アバンセ北側の駐車場(無料)をご利用ください。利用時間は、(火～土)8:30～22:00、(日)8:30～17:00です。利用時間外は施錠されます。その他、駐車場に関する件は佐賀学習センターにご連絡ください。

### 【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2678039	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 韓国語の入門を終えた人（ここでは文字の読み書きができることを目安とします）、またはもう一度しっかり初級から学び直したい人のための授業です。短時間で、速く、できるだけ楽に、韓国語の基礎が身につくように指導します。とにかく楽しくわかりやすい授業を目指します。会話中心の授業です。受講生同士の会話練習が多いです。
学習センター(コード)	41A		<b>【到達目標】</b> ・韓国語で簡単な自己紹介ができる。 ・韓国語で簡単な日常会話ができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 韓国語の「てにをは」 第2回 韓国語の「いち、に、さん」 第3回 韓国語の「ひとつ、ふたつ、みっつ」 第4回 これは何ですか？ 第5回 私は会社員です。 第6回 【ハムニダ体】大丈夫ですか？ 第7回 【ヘヨ体】韓国語を習います。 第8回 【尊敬表現】韓国の方でいらっしゃいますか？
科目名	楽しい韓国語（初級編）		<b>【学生へのメッセージ】</b> 韓国語は発音も文法も日本語に近いので、最も学びやすい外国語です。短時間で楽しく基礎を身につけることが可能です。会話中心の授業です。受講生同士の会話練習が多いです。ぜひ一緒に韓国語の会話を楽しみましょう。
科目区分	基盤科目：外国語		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・韓国語の文字の読み方、書き方を忘れていないか事前に確認し、忘れてい る場合は復習をしておいてください。 ・教科書の内容に沿って予習をしておいてください。
ナンバリング	120		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	24名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具。
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香 梨 佐賀大学 国際交流推進センター教授		<b>【教科書】</b> ・ゼロからはじめる 韓国語書き込みレッスン（キム・スノク／アルク／ ¥1,870／ISBN=9784757433786）
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月19日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 会話中心の授業です。受講生同士の会話練習が多いです。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2678128	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 19世紀末から20世紀初頭にかけて、放射線の発見に始まり量子力学の構築が行われ、原子レベル以下のミクロな世界の理解が急速に進展しました。 本講義では、この歴史を振り返りつつ、現在の素粒子物理学についての知識の一部を紹介します。
学習センター(コード)	41A		<b>【到達目標】</b> 受講者は、以下の知識と理解を得ること。 ・原子レベル以下の知見を獲得してきた歴史を知ること。 ・素粒子の標準理論の基本的構成要素を説明できること。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 原子の構造(電子、原子核の発見) 第2回 量子力学と相対論(量子力学の概要と特殊相対論) 第3回 素粒子物理学の進展(加速器以前) 第4回 素粒子物理学の進展(加速器以降) 第5回 4つの基本的相互作用(様々な保存則と相互作用、素粒子の分類) 第6回 素粒子の標準理論 その1(電弱統一理論、量子色力学) 第7回 素粒子の標準理論 その2(小林・益川行列、ヒッグス粒子) 第8回 未解決問題(物質の起源、ニュートリノ質量、暗黒物質、その他)
科目名	素粒子物理学入門		<b>【学生へのメッセージ】</b> 特に必要ではありませんが、高校レベルの数学と物理学の知識があれば、理解の助けになります。
科目区分	専門科目:自然と環境		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。
ナンバリング	310		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
担当講師	フナクボ コウイチ 船久保 公一 佐賀大学理工学部教授		<b>【参考書】</b> ・宇宙と物質の起源「見えない世界」を理解する(高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所(編)/講談社(ブルーバックス)/¥1,320/ ISBN=9784065351918) ・現代素粒子物語(中嶋彰/講談社(ブルーバックス)/¥1,078/ ISBN=9784062577762) ・素粒子物理学ハンドブック(山田作衛 他/朝倉書店/¥19,800/ ISBN=9784254131000) 現代の素粒子物理学で使われる項目について、専門家が個別に解説したもので、辞書的に使えます。
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 10月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2678098	<b>【授業内容】</b> 「文禄・慶長の役」の際の本営として豊臣秀吉が整備した肥前名護屋は、史上最大の軍事基地であり、莫大な兵站物資の集積地として都市的繁栄を遂げ、一時期は国政の中枢をも兼ねました。この授業では実際にその現地（唐津市鎮西町）に赴き、歴史の舞台に立って往時の遺構を目の前にしながら朝鮮出兵の実態を探っていきます。 <b>【到達目標】</b> 朝鮮出兵の経過・概要とあわせて、名護屋城・大名陣所・城下町から構成される巨大軍事基地「名護屋」の特徴について理解し説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 真説・朝鮮出兵No.1（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第2回 真説・朝鮮出兵No.2（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第3回 巨大軍事基地「肥前名護屋」の構成－大名陣所の集合体－（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第4回 フィールド・スタディ－No.1 大名陣跡の踏査－真田昌幸陣・蒲生氏郷陣・足利義昭陣など－ 第5回 秀吉の巨城・名護屋城の実態（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第6回 城下町の発生とその景観（実施会場：波戸岬少年自然の家） 第7回 フィールド・スタディ－No.2 特別史跡「名護屋城跡」見学 第8回 フィールド・スタディ－No.3 佐賀県立名護屋城博物館見学 <b>【学生へのメッセージ】</b> 豊臣秀吉に関する基礎情報を持っていると、授業の理解度が向上します。書籍やインターネット、中学・高校の教科書などで予備知識をつけておいてください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 「学生へのメッセージ」をご覧ください、自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、筆記用具類を持参してください。フィールド・スタディが多いので、歩きやすい服装・履物・帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・肥前名護屋城の研究－中近世移行期の築城技法－（宮武正登／吉川弘文館／¥13,200／ISBN=9784642029605） <b>【その他（特記事項）】</b> ・2日間の昼食代1,700円、少年の家宿泊利用の場合は別途2泊（金・土）5,200円、1泊（土）2,600円（1泊2食付・部屋代・シーツ代含む）が必要です。授業当日に集金します。 ・交通費は個人負担となります。 ・詳細は科目登録決定後、受講者へ通知します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	軍事都市 「肥前名護屋」を探る	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタケ マサト 宮武正登 佐賀大学 地域学歴史文化研究センター教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40	
	10月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀県波戸岬少年自然の家 (佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1)	

科目コード	2674653	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	<b>WAKABAを 解体してみよう</b>	
科目区分	専門科目：情報	<b>【到達目標】</b> コンピュータ・ソフトウェアの使いやすさを評価するために、ソフトウェア工学で使われている図式表現の方法について理解し、使えるようになることで、ソフトウェアが提供するサービスを利用する人々の期待と、実際に提供されるサービスの利用場面とを比較できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 はじめに：「放送大学の学生」とは何者か ～状態とイベントを用いて可視化する～ 第2回 作業の流れを可視化する方法～科目検索作業を可視化する～ 第3回 WAKABA解体（1）～WAKABAにおける面接授業の履修登録作業を可視化し評価する～ 第4回 WAKABA解体（2）～WAKABAにおける様々な授業の履修登録作業を可視化し評価する～ 第5回 情報の構造を可視化する方法（1）～データベースの正規化／「学生」「科目」「履修」の構造：オブジェクト編～ 第6回 情報の構造を可視化する方法（2） ～「学生」「科目」「履修」の構造：クラス編～ 第7回 WAKABAで取り扱われている情報の構造を可視化する 第8回 まとめ～可視化、WAKABAの解体、そして評価～ <b>【学生へのメッセージ】</b> 身近な情報システムを解析するための技術があることを理解し、客観的にシステムを評価できるようになることを目指してください。情報を図式を用いて可視化する技術は、グループ内でのディスカッションを行いながら、使ってみるところから、使いこなせるようになるまでを目指しましょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 放送大学システムWAKABA→キャンパスライフ→学内連絡→附属施設・情報システム→【システムWAKABA】学生用マニュアルをダウンロードし、zipファイルを解凍した後、以下の箇所に記述されているシステムWAKABAの操作方法を確認しておいてください。 ・1.基本操作編P.1-1～1-5 ・4.教務情報編P.4-2～5、4-31～40 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 各自のパソコンを持参してください。ここでパソコンとは、ブラウザを使ってインターネットにアクセスできるパソコン、またはタブレット端末を指します。ただし、この授業は、パソコンのディスプレイの大きさが10インチ（幅20cm、高さ15cm位）以上であることを想定して行います。授業ではWAKABAにログインします。スマートフォンは授業中の演習に不適です。 2. 推奨OS Windows11、macOS、iOS、Android（モバイル端末での対応に適しています。） 3. ソフトのインストール 推奨ブラウザは、Microsoft Edge、Google Chrome、Firefox、Safariです。 4. その他 資料は持参のパソコンで見ることができますので、配布しません。必要であれば、印刷してご持参ください。 授業ではWAKABAにログインします。IDとパスワードを確認しておいてください。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・UMLモデリングのエッセンス第3版（マーチン・ファウラー、羽生田栄一監訳／翔泳社／¥2,640／ISBN=9784798107950） <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにAC アダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 身体に障害をお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	中谷 <sup>ナカタニ</sup> 多哉 <sup>タカコ</sup> 子 放送大学教授	
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月2日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
授業概要		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2678101	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> さまざまな美術作品（資料）を見ながら、支配・被支配、差別・被差別の問題について考えます。同性愛者、黒人、娼婦、乞食たちは社会の中でどのような位置に置かれてきたのかを、彼ら／彼女らのイメージを通して探ります。宗教や性に対する人々の考えや、「他者化」ということ、差別－被差別の問題について考えるきっかけになることを開講意図とします。
学習センター(コード)	41A		<b>【到達目標】</b> 西洋の古代から近現代までの歴史を社会の周縁に属した者たちの視線から見ることができるようになる。また、西洋美術史の大まかな流れと各時代の様式について理解を深めることができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 異性愛と同性愛の図像、宗教と性 第2回 異性愛と同性愛 第3回 黒人、白人、東方の人々① 第4回 黒人、白人、東方の人々② 第5回 物乞いたち① 第6回 物乞いたち② 第7回 娼婦（あるいはユダヤ人）① 第8回 娼婦（あるいはユダヤ人）②
科目名	美術史で辿る 差別・被差別		<b>【学生へのメッセージ】</b> 美術史が対象とするものは、博物館のガラスケースや台座の上に置かれている作品だけではありません。私たちのまわりに溢れるさまざまな視覚的イメージ全てが美術史の対象となるといっても過言ではありません。 （本授業で取りあげる作品の中には、性暴力を含む性的なイメージが含まれます。）
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 高校までに学習する日本史と世界史の流れを復習しておいてください。また、教科書や参考書を指定しませんので、キーワードやキー概念となっているものを頼りに各自で文献を検索したり、ネットで情報を収集したりしてみてください。
ナンバリング	320		パソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。学習センターの無線LANに接続する場合はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
定員	30名		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	ヨシズミ マコ 吉住 磨子 佐賀大学 芸術地域デザイン学部教授		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記具、タブレットなど、ノートをとれるもの。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月9日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2678063	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。 今ではたくさんの薬が開発され、多くの病気を治せる世の中になりました。日本国内で使われている薬の数は約2万5000品目あります。しかしそれでも重い病気に罹り、未だ適切な薬がなくて困っている患者さんも数多くいます。また昨今のコロナ感染症のように人類がこれまでに経験したことがない病気が突然、新たに出現し、世界的に拡散することもあるでしょう。本講義では最新のお薬に関する進歩をご紹介しつつ、この講義内容を明日、誰かに伝えたいくなるようなワクワクするようなテーマをまとめました。さあ、一緒に新しいお薬の世界の扉を開きましょう！
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	明日、誰かに伝えたいくなる薬の話	
科目区分	専門科目：生活と福祉	<b>【到達目標】</b> ・講義を通じて得た薬の薬理作用について自分の「言葉」で論理的かつ系統立てて説明することができるようになる。 ・自分自身の考えや意見をまとめ、発表（プレゼン）することができるようになる。 ・日頃の生活において薬のニュースに対して興味を持ち、それらのトピックを深掘りして自分自身で学ぶことができるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 そもそもクスリって何ですか？（作用・副作用・西洋医薬品） 第2回 ここまで進歩して来たクスリの新しい投与方法（DDS・マイクロニードル） 第3回 血圧がちょっと高めのあなたへ（高血圧症治療薬） 第4回 糖尿病のクスリと痩せるクスリ（GLP-1作動薬・痩せ薬） 第5回 がん治療薬の最前線（化学療法・放射線療法・外科療法） 第6回 感染症治療薬の未来（新型コロナウイルス・インフルエンザ） 第7回 ホルモンに作用するクスリ（毛生え薬・抗がん薬） 第8回 将来に向けてあなたが考える今後のクスリの展望について <b>【学生へのメッセージ】</b> 新しい薬の研究開発に終わりはありません。有効な薬がなくて困っている人々のもとへ、少しでも早く、良い薬を届けたいです。さて、あなたは新薬の開発者です。どのような薬を開発したいですか？各自、パソコン（PC）でパワーポイントを駆使し、プレゼンをして頂きます。使用するPCは、原則として各自のPCを利用する「自分用パソコン持ち込み方式」で授業を行います。「受講者が当日用意するもの」に注意してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自主学習に努めてください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況およびレポート（パワーポイント資料、A4サイズで5枚以内程度）の評点により行います。 なお、レポート課題は「今後、人類の幸せのために あなたはどのような新薬を創りたいですか？」についてです。
ナンバリング	310	
定員	24名	
担当講師	テラモト ノリヨシ 寺本 憲功 佐賀大学医学部教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月16日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	<b>【授業概要】</b> <b>【実施会場】</b> 佐賀学習センター アバンセ第1研修室
実施会場		
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ・各自、ノートパソコン（PC）を持参してください。 2. OSの指定 ・種類は問いません。 3. ソフトのインストール ・Power Pointが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でのレポート提出になります。学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・セレンディピティと近代医学－独創、偶然、発見の100年（モートン・マイヤーズ（著）小林 力（翻訳）／中央公論新社／¥1,210／ISBN=9784122061064） ・「科学的思考」のレッスン 学校では教えてくれないサイエンス（戸田山 和久（著）／NHK出版新書／¥946／ISBN=9784140883655） ・冒険の書 AI時代のアンラーニング（孫 泰蔵（著）／日経BP／¥1,760／ISBN=9784296000777） <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2668815	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 医療・教育・福祉などのほぼすべての領域で、クライアントと関わる際には、アセスメントツールの活用が必須となっています。各種の発達検査や心理評価尺度の中身や適用を正しく理解することが支援者にはもとめられます。本講では①パーソナリティーの理解のための描画法である「バウムテスト」、②IQや標準化の意味をしる適応行動全般の把握のための「Vineland適応行動尺度Ⅱ」、③メンタルヘルスや精神疾患のアセスメントツールである「STAI」と「BDI」を実施します。 受講生の皆さんは、原則として8回の授業全てに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。グループ討議があります。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	<b>心理検査法基礎実習</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	<b>【到達目標】</b> 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	30名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理アセスメントとは アセスメントツールの利用実態について 第2回 実習1「バウムテスト」 投影法について 第3回 「バウムテスト」 レポートの書き方 第4回 実習2「Vineland適応行動尺度Ⅱ」 検査場面の設定等について 第5回 Vineland適応行動尺度Ⅱの集計 数値化と標準化の意義 第6回 Vineland適応行動尺度Ⅱ・結果のフィードバックについて 第7回 実習3「STAI」「BDI」メンタルヘルス領域で用いられる心理尺度 第8回 まとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> 心理検査の習得には訓練と熟練が求められるものが多くあります。その中から8回の基礎実習によって、実際に使用できるものを取り上げます。個人作業、グループ討議、意見発表等、積極的に参加してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 心理検査における「信頼性」と「妥当性」について調べておいてください。他に、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットの接続を希望する場合は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	ナカジマ シュンジ <b>中島 俊思</b> 佐賀大学教育学部准教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	

科目コード	2668769	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 2日間の授業の中で、2つの実験の実施、測定、レポート作成を行います。実験では、ミュラー・リヤー錯視と情報伝達について取り扱います。体験的に実験について学び、理解をすることで心理学における実験の意義を理解することができる講義にしたいと考えています。 受講生の皆さんは原則として8回の授業にすべて出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	<b>心理学実験 1</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	20名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学的実験とレポートの構成 第2回 心理学の研究手法と論文について 第3回 実験実習1（情報伝達） 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 前日の振り返りと統計について 第6回 データ分析のための統計法 第7回 実験実習2（ミュラー・リヤー錯視） 第8回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導
担当講師	タナカ サクト 田中 沙来 人 九州龍谷短期大学 保育学科准教授	
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月7日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	<b>【学生へのメッセージ】</b> 実験を実施するためにパソコンを使用します。ワードやエクセルの操作に慣れているほうが望ましいです。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	<b>授</b>
		<b>業</b>
		<b>概</b>
		<b>要</b>
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 パソコンの操作に慣れていない方に関しては、練習していただけるとありがたいです。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 Windows 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いません。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれかの科目からでも受講可能です。

科目コード	2678055	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 今や、一種の家電のようになってしまったコンピュータですが、決して、何らかの仕事を手伝ってくれる「魔法の道具」ではありません。あらかじめ作り込まれた機構を、適切に制御することで、これらを実現しているのです。ここでは、その一連の流れをイメージできるように、まずはコンピュータの仕組みを概観し、数値をはじめとするデータの表現方法、基本的な情報処理を実現する回路について学びます。
学習センター(コード)	41A		<b>【到達目標】</b> コンピュータの仕組みをイメージできるようになるため、数の表現方法と演算方法、それを実現する回路などについて学び、コンピュータの動作原理を理解したうえで、その概要を説明できる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 コンピュータは4つの部分からなる：入力装置、記憶装置、演算装置、出力装置 第2回 コンピュータは手順に従って動く：プログラム 第3回 コンピュータは近似計算をする：有効桁数、二分法、桁落ち 第4回 コンピュータにおける数の表現：2進数、10進数、16進数 第5回 コンピュータにおける四則演算：加算・減算・乗算・除算、負の数 第6回 コンピュータを組み立てているもの：論理素子（AND・OR・NOT） 第7回 コンピュータにおける演算の実際：加算回路 第8回 情報通信技術（ICT）に関わる身近な話題
科目名	<b>コンピュータの 秘密を解き明かす</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> ここでは、コンピュータの仕組みをイメージできるようになることを目指します。もし疑問点などがあれば質問して下さい。なお、自学自習の助けとなるように、敢えて教科書を指定しました。参考にして下さい。
科目区分	導入科目：情報		<b>【受講前の準備学習等】</b> ここでは、指定した教科書の第2章、第3章、第5章（5.5-5.7を除く）を中心に上げます。これらの部分を、事前に読んでおいて下さい。斜め読み程度でも構いませんが、理解が困難なところを明らかにして、授業へ臨んで下さい。
ナンバリング	210		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポート（小テストを含む）の評点により行います。
定員	48名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット検索などを織り交ぜて身近な話題を取り上げます。ご自身のパソコンやスマートフォンなどを使用されたい方は持参されて構いません。
担当講師	ワカバ ヒロシ 和久屋 寛 佐賀大学教育学部教授		<b>【教科書】</b> ・新・コンピュータ解体新書 [第2版]（清水忠昭、菅田一博／サイエンス社／¥1,815／ISBN=9784781914091）
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 12月14日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 学習センターでの無線LANの利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照下さい。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2678071	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 子どもやその家族に関わる機会がある方々を対象に、基本的な心理学の知識と支援の在り方を学び直し、実際の支援のヒントを得るための講座です。前半は、ボウルビイの愛着理論、フロイトやエリクソンの発達段階、カール・ロジャーズの来談者中心カウンセリング、家族療法の基本を学びます。後半は、さまざまな事例を素材に、グループワークを交えながら支援のポイントを考えていきます。 <b>【到達目標】</b> 子ども家庭支援に関する基本的な心理学の知識と支援方法について、その違いを踏まえて、概要を説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 自己理解演習 第2回 ボウルビイの愛着理論について 第3回 フロイトとエリクソンの発達理論について 第4回 カール・ロジャーズの来談者中心カウンセリングについて 第5回 家族療法を中心とした心理療法について 第6回 DV・虐待 暴力被害者の回復とは 第7回 DV・虐待 事例をもとに考える グループワーク（ディスカッションを含む） 第8回 まとめ（グループワーク・ディスカッションを含む） <b>【学生へのメッセージ】</b> 支援の基本に立ち返るチャンスでもあり、それぞれの現場で培ってきた臨床知を持ち寄りながら、新たなヒントを互いに得られるチャンスになればと思います。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	子ども家庭支援の心理学基礎講座		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	310		
定員	24名		
担当講師	タグチ カヅコ 田口 香津子 アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)館長		
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月21日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2678110	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> ヨーロッパ精神の古層にあるケルト文化、その名残を今も色濃く留めるアイルランド文化を妖精という切口で読み解いていきます。その際、比較文化の視点から、アイルランドの妖精と日本の妖精・妖怪・幽霊との比較によって、両文化の類似点、相違点などを深く理解することになります。 <b>【到達目標】</b> 異文化理解の中の異界の世界を通し、文化の濃そうにある宗教観、美意識、死生観などを説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 アイルランドの妖精とは何か。妖精と妖怪と精霊の違いを学ぶ。 第2回 宮崎アニメのなかに表れるアイルランドと日本の妖精。 第3回 片足の靴屋、レプラコーンについて。 第4回 シンデレラは妖精である。 第5回 アイルランドの浦島伝説、『アシーンの放浪』の中の妖精。 第6回 アイルランドの妖精の歌姫、バンシーが現代音楽に与えた影響。 第7回 総括1 第8回 総括2 <b>【学生へのメッセージ】</b> 異界の文化に興味のある方、歓迎します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 宮崎駿の映画、『となりのトトロ』『千と千尋の神隠し』『もののけ姫』を観ておいてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	妖精とアイルランド・ケルト文化		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	キハラ マコト 木原 誠 佐賀大学教育学部教授		
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月21日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2678080	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 佐賀県出身、あるいは佐賀経済とのかかわりが深い企業家（アントレプレナー）の、起業や経営再建といった経営活動に注目する中で、経営に関する理論および方法、そして地域貢献などについて学んでいきます。具体的には、旧佐賀紡績を大和紡績によって経営再建させていく鐘紡の武藤山治（1867-1934）、伊万里出身で森永製菓を創業する森永太郎（1865-1937）、蓮池出身で江崎グリコを創業する江崎利一（1882-1980）、北茂安出身でリコー三愛グループ諸企業を創業する市村清を取り上げていきます。
学習センター(コード)	41A		<b>【到達目標】</b> 起業や経営を行っていくために、経営の理論や方法について理解するとともに、設定した目標を達成するために取るべき戦略、組織の策定や経営資源の配置、マネジメント・サイクルの回し方、評価システムのあり方などについて、経営環境や目標の違いに応じて説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 日本的経営の祖・武藤山治が受けた教育や思想形成 第2回 武藤山治の鐘紡経営施策 第3回 武藤山治への旧佐賀紡績の経営再建依頼 第4回 武藤山治の経営再建対応 第5回 森永太郎の森永製菓の創立と地域貢献 第6回 江崎利一の江崎グリコの創立と森永太郎および彼の事業との関係 第7回 市村清のリコー三愛グループ諸企業創立 第8回 市村清の経営再建や地域貢献
科目名	<b>企業家の起業や 経営再建</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 経営の理論や方法について、深く、そして広くみていく授業になりますが、人物に即して理解していきますので、興味深くかつわかりやすいと思います。
科目区分	専門科目：社会と産業		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に務めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	48名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヤマモト チョウジ <b>山本 長次</b> 佐賀大学経済学部教授		
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 1月11日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

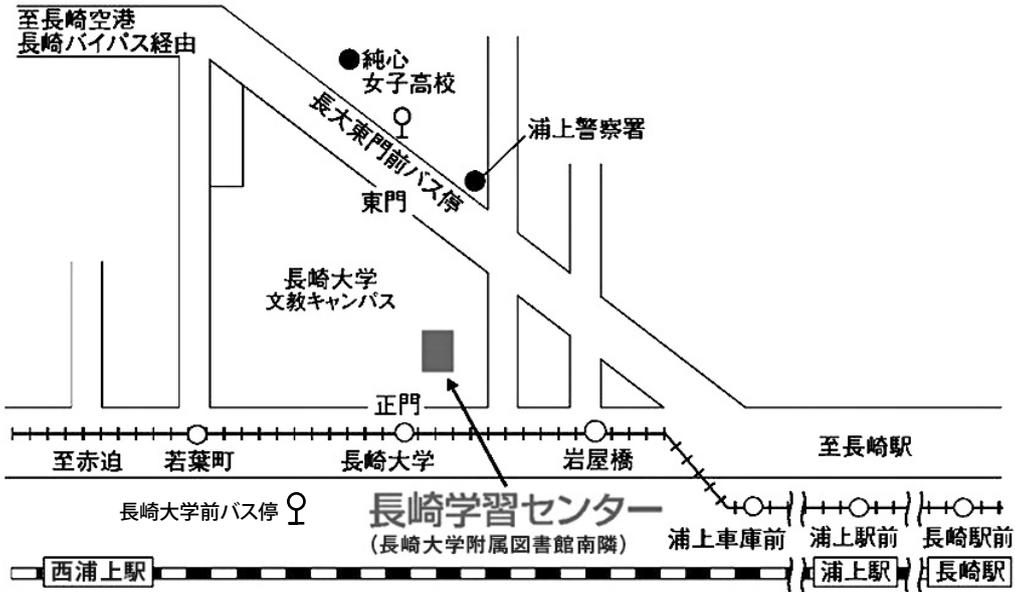
科目コード	2678136	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 発酵は微生物の能力を生かした生産技術の一つです。どうして微生物は発酵現象を引き起こすのでしょうか？微生物の種類や特徴を学びながら発酵に関する理解をより深めましょう。また、お酒は微生物が発見されるずっと昔から我々の生活の密接に関わってきています。そのお酒を造る現場（蔵元）を見学して、微生物が持っている素晴らしい能力を感じてください。
学習センター(コード)	41A		<b>【到達目標】</b> 発酵食品と微生物の関係性を理解し、伝統的な発酵食品（飲料）である清酒製造の現場を体験することにより、「発酵」という現象の意味を説明できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 微生物とは？（実施会場：アバンセ） 第2回 微生物と発酵の関係性（実施会場：アバンセ） 第3回 発酵食品その1（実施会場：アバンセ） 第4回 発酵食品その2（実施会場：アバンセ） 第5回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第6回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第7回 蔵元見学（実施会場：基山商店） 第8回 蔵元見学（実施会場：基山商店）
科目名	<b>微生物による 発酵とは？</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 「発酵」という言葉はよく耳にしますが、その本質は何でしょうか？微生物が引き起こす様々な現象を「発酵」というキーワードを基に考えていきましょう。
科目区分	専門科目：自然と環境		<b>【受講前の準備学習等】</b> 身近な発酵食品に関して調べておいてください。
ナンバリング	310		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、「微生物にとっての発酵とは何か？」です。
定員	20名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、筆記用具を持参してください。
担当講師	コバヤシ ゲンタ 小林 元太 佐賀大学農学部教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 1月11日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		<b>【その他（特記事項）】</b> 授業2日目は、基山商店で行いますので、現地集合、現地解散となります。利き酒をするので公共交通機関を利用してください。自家用車の方は利き酒はできません。 見学先：基山商店 〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151 <a href="https://www.kihotsuru.com/">https://www.kihotsuru.com/</a> 交通アクセスについては、上記ホームページをご覧ください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
実施会場	1/10（土）は 佐賀学習センター アバンセ第2研修室  1/11（日）は 基山商店 (佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151)		



# 長崎学習センター

(コード：42A)

## 長崎学習センター案内図 ☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

### 【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
  - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
  - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
  - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分

### 【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に関り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業で使用する教科書は販売していません。

各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。

科目コード	2668777	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験に実験者及び参加者（協力者）として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学研究法と心理学実験 第2回 実験の計画立案、データ整理、統計分析とレポート作成方法 第3回 「パーソナルスペース」：実験 第4回 「パーソナルスペース」：データ整理のまとめ 第5回 「自由再生による記憶の系列位置効果」：実験 第6回 「自由再生による記憶の系列位置効果」：データ整理とまとめ 第7回 「印象形成（中心特性の働き）」：実験 第8回 「印象形成（中心特性の働き）」：データ整理とまとめ
科目名	心理学実験2		<b>【学生へのメッセージ】</b> この授業によって、実験を体験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	24名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業内容の筆記や実験データ記録のためのノート、グラフを作成する時の定規をご持参ください。 結果のまとめやレポート作成用としてノートパソコンを持参しても構いません（必携ではありません）。
担当講師	ヨシタケ クミコ 吉武久美子 長崎純心大学大学院教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25		<b>【その他（特記事項）】</b> 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678179	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 人間は原理的に行動すると同時に、時として矛盾した行動をとります。そして、社会現象や慣習の中には合理的ではない人間の行動によって形作られているものがあります。合理性・整合性・首尾一貫性に支えられる伝統的な経済学の盲点をついた行動経済学の姿を概観します。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> ・伝統的経済学の考え方と行動経済学の考え方の違いを理解できるようになる。 ・なぜ人間は時に首尾一貫しない行動をとるのかを理解できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 経済理論と例外(教科書第1章) 第2回 人はどんな理由から協力するようになるのか(教科書第2章) 第3回 不公平なら断ってしまえという意思(教科書第3章) 第4回 同じ職種なのになぜ給料に差が出るのか(教科書第4章) 第5回 手放すものは得るものより価値がある(教科書第6章) 第6回 金利と割引率についての損得勘定(教科書第8章) 第7回 貯蓄と消費は人間的に行われる(教科書第9章) 第8回 行動経済学が描く新たなパラダイム
科目名	行動経済学入門		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・事前に教科書を精読する必要はありませんが、各回のタイトル(教科書の各章のタイトル)から想像して、どのような話題が取り上げられるのか自分なりに想像したうえで講義に参加してください。 ・講義後、取り扱った話題を自分の身の回りの出来事に応用できないか考えてみてください。
科目区分	導入科目:社会と産業		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
ナンバリング	220		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 教科書を必ず携帯してください。
定員	60名		<b>【教科書】</b> ・セイラー教授の行動経済学入門(リチャード・セイラー 著・篠原勝 訳/ダイヤモンド社/¥1,980/ISBN=9784478002636) インターネット書店の場合、もう少し安価になることがあります。
担当講師	フカウラ アツユキ 深浦 厚之 鎮西学院大学 総合社会学部教授		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678241	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自分で整えられるか確認して科目登録してください。 Pythonの大きな特長の一つに豊富なライブラリがあることが挙げられます。本授業では、その1つである Turtle Graphics ライブラリを用いて、自由に絵を描くためのプログラミングを学びます。 <b>【到達目標】</b> Python言語を例にして一般的なプログラミング書法を身につける。組み込みライブラリの1つであるTurtle Graphicsを通じて、コンピュータ画面上に絵を描くための論理的な手順をプログラミングに直せるようになる。また、外部ライブラリの導入の仕方を学ぶことによって、高度なアルゴリズムに基づく創造的な絵を描けるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 Turtle Graphics の紹介 第2回 Python 開発環境の構築 第3回 Pythonプログラミング初歩 第4回 Turtle Graphics 描画（その1）：亀に絵を描かせる 第5回 Turtle Graphics 描画（その2）：プログラミングで図形を自動描画 第6回 外部ライブラリの導入：アルゴリズム描画に向けて 第7回 Turtle Graphics 描画（その3）：アルゴリズム描画 第8回 まとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> この授業では、Python言語のプログラミングで絵を描きます。Python言語を使いこなせなくても、授業の中で必要に応じて適宜学べるようにします。実際にパソコン上で試すことが必須ですので、原則として「自分用パソコン」を持ち込んでください。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> に注意してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 OSはWindowsでもMacでも構いませんが、ChromeBook、タブレットPC、iPad 等ではプログラミングができませんので注意してください。 3. ソフトのインストール 授業ではPython公式サイト（ <a href="https://www.python.org">https://www.python.org</a> ）からダウンロードしたPython 3系を使用します。授業の中でダウンロードとインストールを行って環境を揃える予定ですが、既にインストール済みの場合は改めてアンインストールする必要はありません。 授業ではプログラムソースコードを作成するエディタが必要です。エディタも授業の中でダウンロード・インストールを行い環境を揃える予定ですが、既に利用しているエディタがあるのであれば改めてアンインストールする必要はありません。 4. その他 マウスを持参ください。パソコン上で絵を書きますが、ペンタブレットやタッチペンは使用できません。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	Pythonを用いたお絵描き	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ソノダ コウタロウ <b>菌田 光太郎</b> 長崎大学 総合生産科学域 (情報データ科学系)助教	
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2678187	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> XR（クロスリアリティ）はVR（仮想現実感）、AR（拡張現実感）、MR（複合現実感）、SR（代替現実感）の総称であり、現実世界と仮想世界とを組み合わせる技術です。XRは、近年のネットワークの発展やVR機器の普及などにより身近なものになりつつあります。また、メタバースの要素技術の一つでもあります。本科目では、XRの仕組みなどを説明します。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> XR（VR、AR、MR、SR）およびXRの応用について理解し、説明できる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 XR（クロスリアリティ）およびVR（仮想現実感）とは 第2回 VRの要素技術 第3回 AR（拡張現実感）とは 第4回 ARの要素技術 第5回 MR（複合現実感）およびSR（代替現実感）とは 第6回 XRの発展 第7回 XRシステムの作成 第8回 まとめと振り返り
科目名	<b>XR（クロスリアリティ） 入門</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> VR、AR、MR、SRのどれかに興味のある方は受講してみてください。
科目区分	導入科目：情報		<b>【受講前の準備学習等】</b> VR（仮想現実感）、AR（拡張現実感）、MR（複合現実感）、SR（代替現実感）をインターネット等で調べておいてください。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	60名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学 総合生産科学域 (情報データ科学系) 准教授		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678217	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 社会の変化に伴い、児童生徒の現代的健康課題が多様化・複雑化しています。そこで、本科目では、まず、児童生徒の心身の発育・発達を踏まえ、現代的健康課題の現状と対応を幅広く学びます。次に、近年、児童生徒の自殺の急増が社会的な課題となっているため、特に自殺予防に焦点をあてます。身近な大人としての、自傷行為や希死念慮への適切な対応に関する知識・技術の修得を目指します。最後に、児童生徒の現代的健康課題の解決のために周囲の大人ができることについて、考察を深めます。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> 児童生徒の現代的健康課題の現状と心身の成長・発達を踏まえ、課題解決のための適切な対応や支援について、説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 児童生徒の心身の成長・発達 第2回 児童生徒の体の現代的健康課題と対応（起立性調節障害等） 第3回 児童生徒の心の現代的健康課題と対応1（不登校、発達障害等） 第4回 児童生徒の心の現代的健康課題と対応2（うつ病等） 第5回 児童生徒の自殺に関する理論と自殺対策 第6回 児童生徒の自傷行為の理解と対応 第7回 児童生徒の自殺予防の理解と対応 第8回 総括
科目名	<b>児童生徒の 現代的健康課題と対応</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 教育関係者、その他児童生徒にかかわる方向けの科目です。後半は児童生徒から「死にたい」と相談された時の対応に関する演習を行います。つらい記憶等のある方は、ご自身で受講可能か検討の上、選択してください。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、自主学習に努めてください。
ナンバリング	310		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	タナカ キミコ 田中 生 弥 子 活水女子大学 健康生活学部准教授		
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678144	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b>          韓国・朝鮮は日本からもっとも近い国であり、その言語や文化も日本と似通っている部分が多いです。他方、韓国・朝鮮語の文字（ハングル）は日本語とは全く異なり、社会的・文化的にも日本と異なる部分も少なくないのは事実です。この授業では、言語の基本的な構造を理解し、挨拶文などの読み書きを学び、さらに韓国・朝鮮の社会や文化についても学習し理解を深めます。</p> <p><b>【到達目標】</b>          韓国・朝鮮語の基本的な構造を理解し、文字、単語、初歩的な挨拶文の読み書きができるようになる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>          第1回 ハングルの基礎を学ぼう（母音）          第2回 ハングルの基礎を学ぼう（子音）          第3回 ハングルの基礎を学ぼう（終声）          第4回 街中で見られるハングルを読んでみよう          第5回 韓国・朝鮮語で挨拶してみよう          第6回 韓国・朝鮮語で自己紹介してみよう          第7回 社会と文化について学ぼう（暦、通過儀礼、食文化）          第8回 学んだことを確認しよう（総まとめ）</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>          韓国・朝鮮語は意外にも日本語との違いが多く、初めは戸惑ってしまう方も多いかもかもしれません。しかしその難しさを克服すると、非常に興味深い言語文化が皆さんを待っています。一緒に頑張ってください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>          インターネットなどには韓国・朝鮮語に関する多くの情報が載せられています。本授業は入門的な授業ですが、事前に学習しておいてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>          成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p><b>【教科書】</b>          授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b>          この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	韓国・朝鮮の 言語と文化		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	24名		
担当講師	シンザト ルリコ 新里 瑠璃子 九州大学 韓国研究センター学術協力研究員 /長崎外国語大学非常勤講師		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月16日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678195	<b>【授業内容】</b> 昨今の医療の進歩や社会・経済の発展により、100歳まで生きることが誰にとっても現実的な目標となりつつあります。長寿を享受するためには健康寿命の延伸が不可欠ですが、老化を防ぐ万能薬は存在しません。そのため、高齢者の健康について深く考えることが重要です。本講義では、長崎大学病院の8つの内科診療科の専門家が、それぞれの立場から高齢者が直面する健康課題や予防策について解説します。また、参加者とともに「高齢者が健康に生きる」とは何かを議論し、高齢社会におけるより良い生活のあり方を探求します。 <b>【到達目標】</b> 人生100年時代において、健康で豊かな人生を送るために、高齢者が直面する健康課題を正しく理解し、医学的知識を基に「高齢者が健康に生きる」とは何かを深く考えられるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 骨を守ろう！骨粗鬆症と生活習慣病（原口） 第2回 気になる皮膚病変、関節痛の原因は？ ～膠原病の早期診断のために～（住吉） 第3回 高齢者と便秘異常（松島） 第4回 脳卒中と認知症の予防と早期発見・早期治療（辻野） 第5回 免疫を司る白血球たち（糸永） 第6回 地域医療の現在と未来～離島医療の現場から～（野中） 第7回 高齢者と不整脈（～心房細動とは～）（深江） 第8回 高齢者にとっての感染症～健康寿命とは何か～（有吉） <b>【受講前の準備学習等】</b> 講師との双方向的な議論を促進するため、シラバスの内容を踏まえ、受講前に自己学習に取り組んでください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『高齢者が健康に生きるとは』です。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	<b>健康寿命の 延長に向けて4</b>	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	アリヨシ コウヤ <b>有吉 紅也</b> 長崎大学 熱帯医学研究所教授 ハラグチ アイ <b>原口 愛</b> 長崎大学病院 内分泌・代謝内科助教 スミヨシ レミ <b>住吉 玲美</b> 長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科助教 マツシマ カヨコ <b>松島 加代子</b> 長崎大学病院 医療教育開発センター教授 ツジノ アキラ <b>辻野 彰</b> 長崎大学病院 脳神経内科教授 イトナガ ヒデヒロ <b>糸永 英弘</b> 長崎大学病院 細胞療法部講師 ノナカ フミアキ <b>野中 文陽</b> 長崎大学 生命医科学域(医学系)講師 フカエ サトキ <b>深江 学芸</b> 長崎大学病院 循環器内科講師	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月16日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2668769	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	<b>心理学実験 1</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	心理学実験の基本的手法を学ぶことは、人の心を科学的に探究する技術を理解し、心理学の学びを深めるためにも重要です。この授業では、2つの心理学実験（ミュラー・リヤー錯視、アイコニックメモリー）を取り上げます。それらの心理学実験を通して、データの分析とレポートの書き方の基礎を習得します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
定員	24名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学実験の基礎 第2回 実験：ミュラー・リヤー錯視 第3回 解説：ミュラー・リヤー錯視 第4回 実験：アイコニックメモリー 第5回 解説：アイコニックメモリー 第6回 表計算ソフトの操作方法 第7回 データの分析とレポート執筆指導 1 第8回 データの分析とレポート執筆指導 2
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	<b>【学生へのメッセージ】</b> 実験の進行具合によって初日の昼休み時間が前後します。 かなり忙しい授業になると思いますので、心して臨んでください。また、表計算ソフトであるExcel（またはGoogle スプレッドシート）を使います。基本的な使い方を知っておくことが望ましいです。できればフィルターとピボットテーブルの機能について調べておいてください。
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	<b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
実施会場	長崎学習センター 講義室	<b>授</b>
		<b>業</b>
		<b>概</b>
		<b>要</b>
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び、後日提出してもらうレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windowsが望ましい。 3. ソフトのインストール Excelが必要です。ブラウザは、Google Chrome（クローム）、Microsoft Edge（エッジ）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・Windows11以上、Excel2016以上を対象とします。ブラウザは最新バージョンにアップデートしておいてください。 ・マウスを持参してください。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
		<b>【参考書】</b> ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフト EZR (Easy R) で誰でも簡単統計解析（改訂第2版）（神田善伸／南江堂／¥4,620／ISBN=9784524218615）
		<b>【その他（特記事項）】</b> 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678225	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> はじめて長崎の歴史を学ぶ者に対し、まずは、客観的な観点から九州の西にある長崎を眺め、周辺情勢から長崎の位置、存在の意義を知り、そうして長崎の街の成り立ちから繁栄への道を訪ねます。フィールドワークではその地形的な位置づけから町の成り立ちを知り、実際に実物を見ながら長崎の存在の理由を理解します。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> ただ単に歴史の年号や言葉を覚えるのではなく、その事象の存在の理由を理解できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 長崎の街の成り立ち (ポルトガル時代) 第2回 長崎の街の成り立ち (江戸時代) 第3回 長崎の街の成り立ち (ポルトガル時代) (フィールドワーク) 第4回 長崎の街の成り立ち (江戸時代) (フィールドワーク) 第5回 長崎の民俗文化 第6回 長崎の寺社仏閣 第7回 長崎の民族文化・寺社仏閣 (フィールドワーク) 第8回 長崎の寺社仏閣 (フィールドワーク)
科目名	はじめての長崎学		<b>【学生へのメッセージ】</b> 前半は室内での講義を中心に、後半はフィールドワークとして市街地を巡ります。長崎市街地はアップダウンが多く交通に気を付けて参加してください。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 市街地を中心に講義を行い、また、その市街地をフィールドワークするため、事前に地図などで長崎県、長崎市の位置関係や交通機関の把握をしておいてください。
ナンバリング	310		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 なお、レポートは鉛筆書きとし、400字詰め原稿用紙2枚程度でまとめてもらいます。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヤマグチ ヒロスケ 山口 広助 長崎総合科学大学大学院 非常勤講師		<b>【参考書】</b> ・長崎遊学12「ヒロスケ長崎ぶらぶら歩き」(山口広助/長崎文献社/ ¥1,100/ISBN=9784888512732)
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	<b>【その他(特記事項)】</b> 入場料の係る施設に行く場合がありますので1,000円程度を携帯してください。 館内の飲食スペースには限りがありますのでご承知おきください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(面接授業開設科目一覧(P.5参照))	
実施会場	長崎県立長崎図書館 郷土資料センター (長崎県長崎市立山1-1-51)		

科目コード	2678268	授 業 概 要
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	<b>無理数 <math>e \cdot \pi</math> と虚数 <math>i</math> の世界</b>	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	40名	
担当講師	マツダ ヨシノブ <b>松田 良信</b> 元長崎大学准教授	
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	
<b>【授業内容】</b> 数学は私たちの日常生活を豊かにしてくれます。本授業では、大学数学の基礎を易しく楽しく学習します。身近な超越数である $e$ や $\pi$ および虚数を話題の中心に据えて、その発見の歴史から社会における重要な役割についてお話しします。2の平方根が無理数であることの証明、ピタゴラスの定理の証明、三角関数の和の公式の導出法、三角関数と指数関数の関係、ベクトルと複素数の関係なども学習します。 <b>【到達目標】</b> 身の回りの自然と現代社会を正しく理解するために、大学教養レベルの数学の基本概念を理解し、数学を用いて物事を評価したり判断できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 数の歴史：自然数、整数、0、小数、有理数、無理数、実数、複素数 第2回 対数と対数関数、累乗と指数関数、常用対数と自然対数、 $e$ の発見 第3回 微分と積分、テイラー展開とマクローリン展開 第4回 $e$ を含む関数の微分積分 第5回 虚数単位 $i$ の発見、複素数の計算、複素平面 第6回 複素数の極形式表示、三角関数、六十分法と弧度法、円周率 $\pi$ 第7回 ド・モアブルの定理、1の $n$ 乗根、オイラーの公式 第8回 ベクトルと複素数の関係 <b>【学生へのメッセージ】</b> 数学は人類の宝であり、全ての社会生活の基本です。予備知識がない人も気軽に参加ください。スマートフォンやパソコンでインターネットを活用してキーワードを事前、事後に調べてみましょう。暗記に頼らない公式の導出を考えてみましょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 授業テーマのキーワードをインターネットや図書館等で事前に調べておいてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具、ノート、関数電卓、スマートフォン（電卓機能を使う場合があります）。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。		

科目コード	2678276	授 業 概 要
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	<b>薬と毒のサイエンス</b>	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	クロダ ナオタカ <b>黒田 直敬</b> 長崎大学名誉教授	
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	
<b>【授業内容】</b> ヒトは生きていくために、食物・飲料や嗜好品等を日常的に摂取しています。また、体調を崩したり、怪我をしたり、感染症を患ったりすると、薬を使います。この薬も過剰に摂取すれば毒として作用することはよく知られています。こうして、ヒトは色々な物質を体内に取り込んでいますが、人体の構成成分も取り込まれる物質も化学物質であると考え、薬や毒に対する人体の反応について色々なことが分かってきます。本授業では、薬や毒の歴史、人体と薬や毒との相互作用などにまつわるあれこれを分かり易く紹介します。 <b>【到達目標】</b> 薬や毒およびそれらのヒトとの関りにおける歴史、薬や毒と人体の相互作用やその結果引き起こされる生体の応答などについて科学的な視点から理解し、説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 薬とは何か、毒とは何か 第2回 薬と薬害の歴史 第3回 毒の歴史 第4回 歴史を変えた薬 第5回 毒のメカニズム 第6回 食べ物や嗜好品の毒 第7回 自然界の毒・人工の毒 第8回 体の中で生じる毒 <b>【学生へのメッセージ】</b> 薬や毒、生体成分に関わる化学的な専門用語を少し用いますが、平易な解説を心がけます。授業の中で難しい点や自分なりの考えがあれば積極的に質問や意見表明して、双方向のおもしろい授業を目指します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、事前に生体に関わる基礎的な化学用語などを自己学習しておくことで、授業がより理解でき、興味深いものになるでしょう。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。		

科目コード	2678152	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本授業では、認知症の原因となる主な病気や症状、特性、日常生活への影響について学び、認知症の人とその家族に対する支援について学んでいきます。また、認知症の人と家族を支える地域社会の在り方と認知症の具体的な予防方法についても学んでいきます。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> ・認知症の人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的な知識について理解できる。 ・認知症の原因となる疾病及び段階に応じた心身の変化や心理症状を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を理解できる。 ・認知症の予防方法について理解でき行動できるようになる。 ・認知症の人の生活および家族や社会とのかかわりへの影響を理解し、その人の特性を踏まえた認知症ケアの実践について理解できる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 認知症の医学的特徴 第2回 認知症の人の心理的特徴 第3回 認知症に伴う生活への影響と認知症の人への支援① 第4回 認知症に伴う生活への影響と認知症の人への支援② 第5回 認知症に伴う生活への影響と認知症の人への支援③ 第6回 認知症の予防について 第7回 認知症の人を介護する家族への支援 第8回 認知症の人への制度の変遷と支援対策の概要について（地域での連携と協働）
科目名	認知症の予防とケア		<b>【学生へのメッセージ】</b> 現在、日本では、高齢者の5人に1人が認知症になる可能性があると推定されています。認知症の人にとって生きやすい社会にすることは、早急に対応すべき課題であり、認知症に対する理解と知識を持つことは、国民一人ひとりに求められています。一緒に楽しく学んでいきましょう。
科目区分	導入科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に自己学習に努めてください。 授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	210		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	60名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	オオマチ イヅミ 大町 いづみ 長崎国際大学 人間社会学部教授		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678250	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 初等中等教育におけるICT環境の過去・現在・未来について理解するとともに、「プログラミング教育」や「デジタル教科書」「デジタル表現」などについて、事例について学ぶとともに、理解を深めます。初等中等教育では、これまでICTの機器やデジタル教材が使われてきました。それは時代とともに変わってきています。これまでどのような機器が使われてきたのか、現在はどのようなICT環境なのか、今後AI時代にどうなるのか、考えていきます。 <b>【到達目標】</b> 初等中等教育におけるICT環境の過去・現在・未来について理解するとともに、「プログラミング教育」や「デジタル教科書」「デジタル表現」などについて、事例について学ぶとともに、理解を深めることができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション（学校教育の概説）、これまでの教育とICT①（1960-1980） 第2回 これまでの教育とICT②（1980-2000） 第3回 これまでの教育とICT③（2000-2020） 第4回 イマドキの教育とICT（1人1台端末の活用） 第5回 イマドキの教育とICT（オンライン授業、遠隔授業） 第6回 イマドキの教育とICT（プログラミング教育） 第7回 イマドキの教育とICT（デジタル教科書） 第8回 これからの教育とICT <b>【学生へのメッセージ】</b> 初等中等教育におけるICT活用、学校におけるICTの歴史、ソーシャルメディア時代の子どもたちに興味のある方に受講してほしいと思います。 <b>【受講前の準備学習等】</b> ・初等中等教育におけるICT活用について、Webなどで情報を得ておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。なお、接続は各自で行ってください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはmacOS。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ヘッドフォンまたはイヤホンを持参してください。 ・筆記用具を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	初等中等教育での AI時代の学び	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ナカガワ ヒトシ 中川 一史 放送大学教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2678209	<p><b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 食物は毎日摂取するものであり、私たちが生命を維持していくためには欠くことができません。食物に含まれている栄養素は、活動するためのエネルギーになることは勿論、様々な機能（働き）を持っているため、各ライフステージおよび生活スタイルによって摂取量が異なります。 そこで本講義では、日常の食事に焦点を当て、健康・栄養・ライフステージに関して学びます。</p> <p><b>【到達目標】</b> ・毎日の食事の中で栄養素の量と取り方を把握し、健康と結び付けて活用できるようにする。 ・ライフステージに応じた栄養を把握し、活用できるようにする。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 毎日の食事（及川） 第2回 食品の分類と栄養素（及川） 第3回 健康課題と食行動（植村） 第4回 食の歴史と文化（植村） 第5回 食生活と食の安全（植村） 第6回 これからの食と健康教育（植村） 第7回 ライフステージにおける食事と栄養素の役割1（及川） 第8回 ライフステージにおける食事と栄養素の役割2（及川）</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 授業は主にパワーポイントスライドを投影しながら説明をします。グループで話し合う場合があります。グループ全員が話し合える環境にご協力ください。 各自で準備いただいたパソコンやスマートフォンで検索する授業回があります。 各自で準備いただいた電卓またはスマートフォンの電卓アプリで計算する授業回があります。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> 毎日、どのようなものを食べているのか、日常食べている食品の栄養素を少し意識してみてください。 本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ・プリントを配付するため、収納するためのファイルまたはノートをご準備ください。 ・電卓またはスマートフォンの電卓アプリのどちらかをご準備ください。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	食生活学	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	オイカワ ダイチ <b>及川 大地</b> 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授 ウエムラ モモエ <b>植村 百江</b> 長崎県立大学 看護栄養学部講師	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2678233	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 美術の基礎となるデッサンについて学習します。アカデミックな視点から、より深い理解を得るために石膏像をモチーフとした、鉛筆素描を行います。はじめに、事前課題（素描）を講評し各個人の課題をクリアにして、本講義での学習を促進させます。併せて、小下図の作成から計画性を持った作品作りを意識し、実制作へと向かいます。最後に、講評を行い、制作における到達点と課題について、それぞれ考察を行います。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席する必要があります。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> 西洋造形で素描を行うために、基本形態の性質を理解し、現象を造形に置き換えることができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 事前課題の講評と石膏デッサンをするにあたっての諸注意 第2回 石膏デッサン その1 (構図の検証と小下図の作成) 第3回 石膏デッサン その2 (描きだし) 第4回 石膏デッサン その3 (全体感と途中講評) 第5回 石膏デッサン その4 (講評を踏まえた素描の続き) 第6回 石膏デッサン その5 (メインとサブメインを描き分ける意識) 第7回 石膏デッサン その6 (最終的な調整) 第8回 講評と考察：到達点と今後の課題
科目名	石膏デッサンを描こう		<b>【学生へのメッセージ】</b> 美術の基礎となるアカデミックな鉛筆による石膏デッサンの素描を行っていただきます。受講に際しましては、受講前の準備学習等を、よく読んでください。なお、木炭による素描は行いません。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 講義はじめに作品講評を行います。スケッチブック（A4サイズ程度）に、鉛筆（木炭は不可）を用いて描いた「自分の手の素描」1点と、「水を7分目まで入れたガラスコップの素描」1点を、当日持参してください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 汚れてもよい服装、筆記用具、素描用の鉛筆（2B、3B、F、2H）各1本を事前に削ってきてください。素描用のネリゴム（書字用の消しゴムは不可）。ポケットティッシュ。手のひらサイズの鏡。事前課題の素描2点。※その他、普段、鉛筆素描に使用している道具があれば持参ください。
担当講師	マキノ カズホ 牧野 一穂 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	<b>【その他(特記事項)】</b> 当日は、木炭紙大パネルに石膏デッサンを描きます。画用紙とパネルは用意しますので、持参の必要はありません。なお、水張りではなく、クリップあるいは画鋲で止めたものを使用します。	
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2678160	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 勇気づけとは、子どもたちが人生の課題に直面したときに、その課題を解決できるという自信を持てるように援助することです。大人の子どもへの働きかけは、操作や支配ではなく、自立を支援することです。アドラー心理学では、教育、カウンセリング、心理療法の目的は、共同体感覚の育成であるとされています。共同体感覚をはぐくむための勇気づけの教育について理解を深め、子育てや教育において活用できるようになるとともに、自分自身をも勇気づけて自立した日常生活を送れるようになることを目指します。
学習センター(コード)	42A		<b>【到達目標】</b> 勇気づけの基本的な原理と技法についての理解を深め、勇気づけのコミュニケーションを円滑に行うことができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 「勇気づけ」とは 第2回 アドラー心理学と「勇気づけ」 第3回 勇気づけの原理と技法 第4回 勇気づけのコミュニケーション 第5回 勇気づけの演習1 第6回 勇気づけの演習2 第7回 ほめることと「勇気づけ」の違い 第8回 「勇気づけ」の言葉
科目名	勇気づけの心理学		<b>【学生へのメッセージ】</b> 「ほめること」が教育において最上の方法だと考える人もいます。しかし、ほめることには大きな落とし穴が潜んでいることをアドラー心理学から学び、勇気づけについての理解を深めていきましょう。
科目区分	導入科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> 「勇気づけ」とアドラー心理学との関係については、講義で解説しますが、アドラー心理学関係の書籍を読んでおくとう理解が深まると思います。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	60名		<b>【教科書】</b> 授業当日に補助教材を配付します。
担当講師	カク ヒデトシ 加来 秀俊 活水女子大学名誉教授		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 1月11日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

# ★長崎学習センター【ライブWeb授業】実施科目(42A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

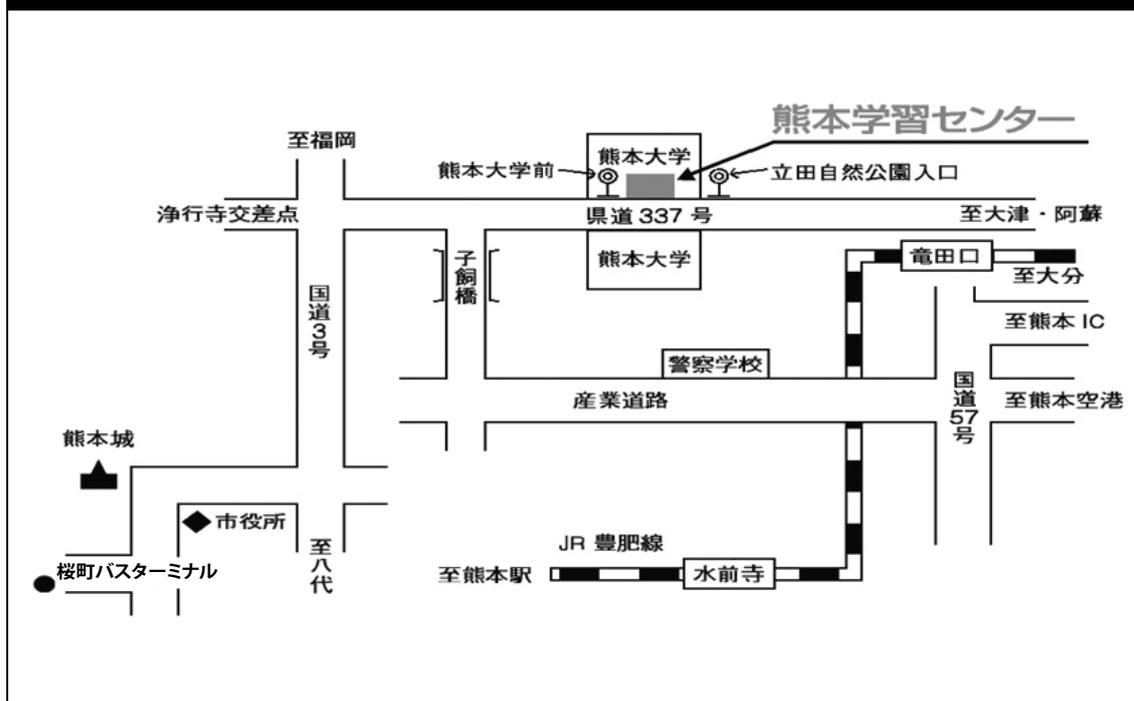
科目コード	4001290	<p><b>【授業内容】</b> 2011年3月の東日本大震災の際には、発電所や変電所が運転できなくなり、電気の供給が滞る事態が発生し、多くの地域で電気が不足して社会に大きな影響を与えました。また、2018年には、北海道全土にわたる広域停電が発生し、「ブラックアウト」という言葉が連日報道されました。 普段、私たちは電気があって当たり前前の生活を送っていますが、その電気はどのように作られ、運ばれ、便利に使うことができるのでしょうか？この講義では、電力システムの仕組みやこれからの社会における電気エネルギーとのつきあい方についてわかりやすく解説します。</p> <p><b>【到達目標】</b> 電気エネルギーシステムの仕組みと特徴を理解し、環境・エネルギー・経済の観点を踏まえた電気エネルギーシステムの将来像に関して自分の考えを説明することができる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 電気とは何だろう(山下) 第2回 私達の身近にある電気(レポート課題あり)(古里) 第3回 電気の基本を考えてみよう(古里) 第4回 電気をつくる(レポート課題あり)(古里) 第5回 電気を送る・配る(古里) 第6回 電気を貯める(レポート課題あり)(古里) 第7回 スマートに、安全・確実に電気を使う(古里) 第8回 まとめ(レポート課題あり)(山下)</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 実際の生活において電気を正しく安全にかつスマートに使用できるように、電気エネルギーシステムの仕組みと特徴について基礎的な知識を身に付けていただくことを望みます。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。 また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 電気学会で作成された小冊子「電気の知識を深めよう」は、電子媒体を<a href="https://www.ieej.org/denki/">https://www.ieej.org/denki/</a>からダウンロード可能です。事前に目を通していただけることを推奨します。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具。 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備。</p> <p><b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。</p> <p><b>【その他(特記事項)】</b> 専用のシステム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室 (Zoom ミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、<a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a>を参照ください。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	WK	
科目名	★電気と社会	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	<p>ヤマシタ タカヒコ 山下 敬彦 放送大学 長崎学習センター所長</p> <p>フルサト トモヒロ 古里 友宏 長崎大学 総合生産科学域(工学系) 准教授</p>	
日程実施時間	<p>11月12日(水) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10</p> <p>11月19日(水) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10</p> <p>12月10日(水) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10</p> <p>12月17日(水) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25</p>	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

# 熊本学習センター

(コード：43A)

## 熊本学習センター案内図

☎096-341-0860



【所在地】〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2F)

### 【交通アクセス】

路線等は変更する場合がございますので、各社ウェブサイトを必ずご確認ください。

- (1) JR熊本駅→九州産交バス等: 2番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約30分
  - (2) 桜町バスターミナル→九州産交バス等: 16番乗り場 楠団地、武蔵ヶ丘行き等 約20分
- 「熊本大学前」または「立田自然公園入口」下車 徒歩2分

- (3) 熊本学習センターに専用駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。  
ただし、熊本大学黒髪北キャンパス駐車場を1日1,000円でご利用いただけます。

### 【その他連絡事項】

- ・自然災害等の影響で授業の実施について変更が生じた場合は、熊本学習センターウェブサイトにて、最新情報を掲載いたしますのでご確認ください。
- ・ホテルの手配や予約状況に関するお問い合わせには対応いたしかねます。各自お早目のご予約をお願いいたします。(熊本学習センターウェブサイトにて近隣情報を掲載しておりますのでそちらを参考にしてください。)
- ・昼食は各自でご用意ください。学習センターの近辺には熊本大学黒髪北キャンパス学生食堂(日曜定休、その他臨時休業あり)の他、近隣にコンビニエンスストアもございます。
- ・講義中は学生証を携帯してください。

科目コード	2668777	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を3つ（自由再生による記憶の系列位置効果、メンタルローテーション、大きさの錯視）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	24名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ガイダンス 第2回 実験1 大きさの錯視実験の実施 第3回 実験1 大きさの錯視実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 実験2 自由再生による記憶の系列位置効果実験の実施 第6回 実験2 自由再生による記憶の系列位置効果実験の結果の整理 第7回 実験3 メンタルローテーション実験の実施 第8回 実験3 メンタルローテーション実験の結果の整理
担当講師	テラモト ワタル 寺本 渉 熊本大学大学院 人文社会科学部教授	
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	<b>【学生へのメッセージ】</b> 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。
実施会場	熊本学習センター 大講義室	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスの使用を推奨します。 ・ソフトのバージョン指定はありません。
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2678292	<b>【授業内容】</b> 医療の進歩により、日本は高齢多死社会に直面し、自分らしく生き抜くこと、穏やかな最期を迎えることへの関心が一層高まっています。本授業では、医療や社会の変化と課題について取り上げながら、最期まで「その人らしく」暮らしていくことを支えるケアについて、家族ケアや地域ケアも含めてともに学びを深めていきたいと思ひます。 <b>【到達目標】</b> 死をとりまく社会状況と課題をふまえて、最期までその人らしく暮らすこととはどのようなことかを説明することが出来る。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 死をとりまく社会状況と課題（村上） 第2回 エンドオブライフケア（村上） 第3回 ケアの対象としての家族（久松） 第4回 家族の悲嘆とグリーフケア（久松） 第5回 暮らしの中での看取り（竹熊） 第6回 看取り文化の伝承（竹熊） 第7回 意思決定を支えるケア（村上） 第8回 アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）（村上） <b>【学生へのメッセージ】</b> 医療や看護を専門にしない方に分かりやすい形で内容を提供します。講義では、グループワークも予定しています。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 医療や介護に関する情報に関心を持ち、自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行ひます。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	最期まで自分らしく を支えるケア	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ムラクミ ミカ <b>村上 美華</b> 熊本保健科学大学 保健科学部准教授 タケクマ チアキ <b>竹熊 千晶</b> 熊本保健科学大学大学院 保健科学研究科教授 ヒサマツ ミサコ <b>久松 美佐子</b> 熊本保健科学大学 保健科学部准教授	
日程実施時間	10月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1	

科目コード	2668610	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。 <b>【到達目標】</b> パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 パソコンの基本操作 （キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践（体験版を受講） 第8回 まとめと振り返り （第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出） <b>【学生へのメッセージ】</b> 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続きを面接授業の実施前日までにを行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。 また、授業実施前日までは、接続テストをしておくことを強く推奨します。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンとACアダプタ（重要：授業中は、ずっとパソコンを使用します）を持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 Windows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配布資料をPDF形式ファイルで提供しますので、（Acrobat Readerをインストールするなど）PDFファイルが閲覧できるようにしておいてください。 4. その他 Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft365のWordを対象とします。 授業当日は、学生証を必ず持参してください（授業内でログイン操作を伴う実習があります）。 また、USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）とイヤホンを持参してください。 <b>【教科書】</b> ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） 授業当日に配付します。 <b>【参考書】</b> ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF/¥0） ダウンロード方法は授業で説明します。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	12名	
担当講師	喜多敏博 <small>キタ トシヒロ</small> 熊本大学半導体・デジタル研究教育機構教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
授業概要		
実施会場	熊本学習センター 実習室	

科目コード	2678365	<b>【授業内容】</b> 現代の私たちの便利な生活はコンピュータ技術なくして成立しません。ネットショッピングやさまざまな手続き、電子決済、自動運転など、コンピュータ技術が適応される範囲は年々拡大しており、モノのインターネット（IoT: Internet of Things）の実現を目指して試行錯誤が行われています。この授業では、コンピュータや通信ネットワーク、メディア、SNS（Social Networking Service）といった近年登場した技術によって私たちの生活がどのように変化しようとしているのか考えます。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	<b>技術変革と私たちの生活</b>	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ハダ ヨシアキ <b>葉田 善章</b> 放送大学准教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	
		<b>【到達目標】</b> 私たちの生活に影響を与え、欠かすことができなくなったコンピュータによる技術変革に気づき、授業で提示する課題を通して自分の生活をどのように変化させたのか、自分の言葉でまとめることが目標である。そして、技術変革によりもたらされる今後の生活について自分なりの考えを持ち、生活の中で継続して学習を進める意識につなげる。
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 技術改革ともたらされるコト 第2回 コンピュータ技術の移り変わり 第3回 通信技術の移り変わり 第4回 ネットワークサービスの変遷 第5回 実世界と仮想世界 第6回 モノによるサービスの例 第7回 これからの技術と付き合い方 第8回 まとめ
		<b>【学生へのメッセージ】</b> スマートフォンや自動車、SNSなどの例を見ながら考えます。よりよい理解のためには基本的なコンピュータやネットワークの知識が既にあることが望ましいですが、積極的に自ら学びたい方の受講も期待します。
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 自分のふだん行う業務において、どのような情報があると業務効率を高めるのか、業務効率を判断する指標となる情報は何かを明らかにし、自分なりに説明してください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 成績とは無関係ですが、希望者に対し無線LANサービスを提供し、お手持ちのスマートフォン・タブレットで教材を閲覧できる環境を提供しますので、希望される方は端末をお持ちください。設定や操作は各自でやって頂きますので、あらかじめご了承ください。
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
		<b>【参考書】</b> ・身近なネットワークサービス（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595322181） 放送大学印刷教材 ・コンピュータ通信概論（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥4,070／ISBN=9784595324802） 放送大学印刷教材 ・生活を支えるコンピュータ技術（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595325281） 放送大学印刷教材

科目コード	2678314	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 災害時の支援のひとつに心理的支援があります。近年の東日本大震災や熊本地震、能登半島地震などを通し実際の心理的支援について概観します。心理的支援の基本となるサイコロジカル・ファーストエイドの紹介のほか、災害時の被災者の心理状態、時系列の心理的変化、災害の現場でどんな支援を行うのか、被災地の状況を理解し地域社会と協働することなど説明します。また、支援に入る準備や支援者の心理的ケアについても触れます。ここでは講義に加え、グループワークで話し合いを行いながら、それぞれの理解を深めていく予定です。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> 災害時の心理的支援として用いられるサイコロジカル・ファーストエイドの目的と内容、使用方法を説明できるようになる。
クラスコード	K		災害時の被災者や支援者の心理について理解し、心理的支援の内容や支援体制を概説できるようになる。
科目名	災害支援の心理学		災害支援を行うために準備することや心構え、セルフケアの重要性を説明できるようになる。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【授業テーマ】</b>
ナンバリング	320		第1回 災害とは何か 第2回 災害時の心理的支援① アセスメントと支援体制 第3回 災害時の心理的支援② ころと身体 第4回 災害時の心理的支援③ 支援の実際 第5回 被災時の心理的支援① 発災からの支援体制構築まで 第6回 被災時の心理的支援② さまざまな対応 第7回 支援者の心理 第8回 まとめ
定員	30名		<b>【学生へのメッセージ】</b> さまざまな災害が世界各地で発生しています。2024年も能登半島地震で甚大な被害状況からの始まりでした。ここでは災害支援について、心理学の立場で説明をしていきます。尚、講義では災害時の写真等資料を使用予定です。人によっては不調を起す可能性があることをお断りしておきます。
担当講師	コガ カヨコ 古賀 香代子 九州ルーテル学院大学 人文学部教授		<b>【受講前の準備学習等】</b> 事前にサイコロジカル・ファーストエイドを確認しておいてください。(※ウェブサイトで見ることができます。)また、講義で取り扱う東日本大震災や熊本地震などの災害の情報は被災地県庁などのホームページで確認できますので、参考にしてください。
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	熊本学習センター 大講義室		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。  <b>【その他(特記事項)】</b> 心理的支援の基本の一つは多様性を理解することです。グループワークや意見のシェアリングを通して人との関わりによって起きてくることを体感することも今回の学習のねらいの一つとしています。

科目コード	2678373	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 現代宇宙論から石が語る生きて地球の話まで、最先端の地球惑星科学の成果をできるだけ分かりやすくお話しします。雲仙火山の平成噴火や、日本(九州)で発見されたヒスイとダイヤモンドの話など、トピックスも加えて、我々が暮らしているこの地球の営みを理解していただき、この宇宙の不思議について考えます。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> 宇宙と地球の成り立ちについて、現在までの学説を理解し、その概要を説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b>
科目名	宇宙と地球と 石ころの不思議		第1回 われわれはどこにいるのかー銀河系の中の地球 第2回 生きている地球1ー地球の形成と進化 第3回 生きている地球2ープレートテクトニクス 第4回 マグマと火山1ーマグマの結晶作用 第5回 マグマと火山2ー火山の脅威と恩恵 第6回 変成作用のダイナミクス1ー生まれ変わる石たち 第7回 変成作用のダイナミクス2ー超高压変成作用 第8回 宇宙の始まりと終わり
科目区分	専門科目：自然と環境		<b>【学生へのメッセージ】</b> 宇宙や地球、鉱物や岩石、そして火山などに対する知的好奇心をお持ちであれば、楽しく聴いていただけるように努力します。大学教養程度のレベルですが、一部にやや難しいところもあるかもしれません。
ナンバリング	320		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断し、関連するテレビの科学番組やニュースを視聴する、あるいは参考書を事前に読むなど、自己学習に努めてください。
定員	20名		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
担当講師	ニシヤマ タダオ 西山 忠男 熊本大学名誉教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		<b>【参考書】</b> ・新しい地球惑星科学(西山忠男、吉田茂生/培風館/¥3,388/ ISBN=9784563025229) ・熊本地震の痕跡からの学び(熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター減災型社会システム部門/熊日出版/¥1,980/ISBN=9784908313844)
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2678349	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 西洋建築史研究における基本的な用語や各時代の建築についての概要を把握したうえで、古代から近代初期に至るまでの具体的な建築史に関するテーマを取り上げます。これらの諸テーマを通して、西洋建築の歩みを学ぶことの面白さをお伝えしたいと思います。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> 学生が西洋建築史研究における基本的な用語や各時代の建築についての概要を把握したうえで、古代から近代初期に至るまでの具体的な建築史に関するテーマを説明できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 西洋建築史の基本 第2回 礎としての古代ギリシア・ローマ建築 第3回 キリスト教建築とイスラム建築の誕生 第4回 中世ゴシックの世界 第5回 ルネサンス建築の革新 第6回 古典主義建築の近代 第7回 近代の建物をみる 熊本大学五高記念館の見学 第8回 まとめ
科目名	西洋建築史研究の エッセンス		<b>【学生へのメッセージ】</b> 授業の性格から、予備知識は必要とはしません。できる限り、建築の初心者でもわかるように説明を心がけます。ただし、授業のレベルは決して低くはありません。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 大事な建築、興味のある建築、好きな建築について考えておいてください。それが、いつ頃、どのようにしてできたのか、誰が作ったのか等の情報を整理しておいてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。レポートのテーマは『私の好きな西洋建築』です。受講前に調べた情報をもとにまとめてください。
定員	25名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヨシタケ リュウイチ 吉 武 隆 一 熊本大学大学院 先端科学研究部准教授		<b>【参考書】</b> ・西洋建築史図集 三訂版（日本建築学会編／彰国社／¥2,750／ISBN=9784395000210）
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	<b>【その他(特記事項)】</b> 第7回授業は、熊本大学五高記念館を見学します。 この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)	
実施会場	熊本学習センター 大講義室 および 熊本大学五高記念館 (2日目3時限) (熊本市中央区黒髪2-40-1 熊本大学内)		

科目コード	2668815	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理検査は、パーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。本授業では、心理検査の理論的背景も含めた基礎知識を学んだ上で、3つの心理検査を体験します。また、各種心理検査の特徴と限界を把握することと合わせて、実習から自己理解を深めることを目的とします。それらを通し検査自体が有効な支援技法ともなりうることを修得します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
クラスコード	K		検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
科目名	心理検査法基礎実習		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理検査の基礎知識(歴史、種類と分類、目的など) 第2回 心理検査実習1 特性的自己効力感尺度 第3回 心理検査実習2 矢田部ギルフォード性格検査 第4回 所見の書き方、実習1・2のレポート執筆指導 第5回 心理検査実習3 バウム・テスト 第6回 実習3のレポート執筆指導 第7回 テスト・バッテリー、結果の報告の仕方 第8回 心理検査における倫理
科目区分	専門科目:心理と教育		<b>【学生へのメッセージ】</b> 心理検査に関して問題意識を持ち、積極的な態度で受講してください。本授業が、自分自身を見つめ直す機会となれば幸いです。
ナンバリング	320		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。
定員	30名		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	ハシグチ マサヒト 橋口 真人 熊本県スクールカウンセラー		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、定規(15cm以上)、電卓、黒ボールペン、蛍光ペン、4B鉛筆、消しゴムを持参してください。また、パソコンでレポートを作成したい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月16日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	熊本学習センター 大講義室		<b>【参考書】</b> ・心理検査の実施の初歩(願興寺礼子、吉住隆弘 編/ナカニシヤ出版/¥2,860/ISBN=9784779503870)

科目コード	2678322	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> わが国における発達障害が疑われる児童生徒は8.8%に上ります。また、10代の自殺、居場所のなさ、児童虐待等も話題になって久しいです。地域の保健・福祉・医療・教育現場ではこれらのリスクのある子どもや青少年の早期発見・早期支援、ひいては親支援が課題です。At riskの子ども・青少年を適切に評価し、支援するための理論や方策を検討します。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> ・医療・社会的リスクのある子どもと青少年を評価するために、発達について理解し、発達の遅れや一過性の課題や環境の課題を的確に判断できるようになる。 ・リスクのある子どもと青少年の困難や親のストレスについて理解し、子育てプログラムについて説明できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 授業のねらい リスクのある子どもとは、スクリーニング、成長・発達、児童虐待 第2回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の評価① 発達障害の診断基準、心理尺度 第3回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の評価② 感覚の問題をもつ子どもの困りごとと生活支援 第4回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の支援① Virtual Reality (VR、仮想現実)を用いた評価と支援 第5回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の支援② 性の課題と対人関係支援 第6回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の親支援① 親のストレスと親支援 第7回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の親支援② 前向き子育てプログラム トリプルP 第8回 医療・社会的リスクのある子どもと青少年の二次障害のポジティブな予防 エンパワメント、レジリエンス
科目名	リスクのある子どもの 評価と支援		<b>【学生へのメッセージ】</b> リスクのある子どもと青少年は、社会に広く分布しています。彼らの育ちと親を支えるために、彼らの感情や心理や認知や行動を理解し、支援する方法を一緒に考えましょう。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。
担当講師	オオコウチ アヤコ 大河内 彩子 熊本大学大学院 生命科学部教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2678306	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 私たちの長寿が実現されていく中で、克服すべきたくさんさんの疾病があります。病気を避ける努力をし、健康習慣を既に実践している人も多いと思います。授業では以下に示すテーマに沿って講義を行い、心肺蘇生や血圧測定やレジスタンス運動の体験の機会をもちながら、急変時や疾病回避のための新しい知識や習慣を身につけていただくことを目標としています。テーマに関連して、体験したりそれぞれ取り組んでおられることがあれば授業中にみなさんに披露していただければありがたいです。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> 学生が心肺蘇生や自分の脈・体重・血圧などの測定やレジスタンス運動の体験をし、急変時の対応について理解を深め、自分の身体計測を正しく行い、そのデータを有効に活用できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 胸痛について考えよう 第2回 目の前で家族・同僚が意識を失ったらどうする？ ～AEDを用いた心肺蘇生法の体験～ 第3回 脈を測ろう～自分で脈のリズムを確認して心房細動早期発見～ 第4回 タバコと歯周病と動脈硬化 第5回 健康診断について考えよう 第6回 体重測定と心不全～レジスタンス運動の体験～ 第7回 血圧を測ろう～正しい血圧測定の実践～ 第8回 腎機能を知ろう
科目名	急変時対応と 身体計測データ活用		<b>【学生へのメッセージ】</b> 自分の身体は自分でメンテナンスする「メディカルケア&自己管理」という考え方が広まりつつあります。病院で計測される測定値以上に家庭において繰り返し計測した測定値が重要とされるようになりました。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> 心肺蘇生に関して、調べておいてください。健康診断を受診したことのある方は自分のデータを確認しておいてください。ない方は、可能であれば、脈・体重・血圧を測定しておいてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
担当講師	ソエジマ ヒロフミ 副島 弘文 熊本大学保健センター 准教授		<b>【その他(特記事項)】</b> この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
日程実施時間	11月30日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2669927	<b>【授業内容】</b> 近年、国や地方自治体において展開する様々な教育政策を取り上げ、その動向や課題などについて検討します。本講義では義務教育段階を対象として、行財政システムの解説を行い、教育に関わる法律や制度に対する理解を深めながら、こんにちの日本の教育政策・教育行財政においてどのような課題があるのか、その解決のためにどのような取組が必要なのか、あるいは、こうした教育課題をテーマに卒業論文を書くために必要な基本的な考え方を身に付けることを目指します。 <b>【到達目標】</b> ・教育政策・行政に関する基本的な事項を理解することができる。 ・教育政策に対する自身の見解を論理的に説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 イントロダクション・教育に関する政策・行財政 第2回 現代日本の教育行財政システム：中央教育行財政 第3回 現代日本の教育行財政システム：地方教育行財政 第4回 教員政策－学校における働き方改革① 第5回 教員政策－学校における働き方改革② 第6回 人口減少と学校統廃合政策① 第7回 人口減少と学校統廃合政策② 第8回 総括的講義と質疑応答・意見交換 <b>【学生へのメッセージ】</b> 教育制度や法と聞くと難しそうに見えるかもしれませんが、身近な教育問題とそれに対する国・地方自治体の取組を中心に取り上げるように心がけます。また、1日目に教育行財政システムに関する解説を行いますので、これまで教育政策・行財政について学んだことがない方でも理解できるように心がけます。教育や学校を取り巻く諸問題や現状に対する理解を通じて、お住まいの自治体の教育政策や政治・行政に関心を持っていただけるとよいと思います。 <b>【受講前の準備学習等】</b> お住まいの自治体の教育について教育委員会のWEBサイトなどを予めご覧頂くと理解が深まると思います。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> パソコンやタブレット等をご持参頂くと資料等の閲覧に便利だと思います。(任意) <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・教育の行政・政治・経営（青木栄一・川上泰彦編著／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595323836） ・基礎から学ぶ教育行政学・教育制度論（阿内春生編／昭和堂／¥2,750／ISBN=9784812223123） ・学校の未来をつくる「働き方改革」（小川正人編著／教育開発研究所／¥2,530／ISBN=9784865606003） <b>【その他（特記事項）】</b> 学内のWi-Fiを利用したい場合は、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続を面接授業の実施前日までにを行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	教育政策	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	サクライ ナオキ 櫻井 直輝 放送大学准教授	
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

科目コード	2678330	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 沿岸域の生物多様性と水産資源の現状を有明海・八代海を中心に解説します。沿岸域は、内陸に比べると気候が温暖で、農業・漁業ともに生産性の高い地域です。しかし、海岸から60km以内の地域に世界人口の4分の3が生活するなど、人間活動の影響が大きいため、資源の枯渇、有害物質の蓄積、生物多様性の低下など、多くの問題が起きています。このような環境の悪化は、特に閉鎖性海域で著しく、国内でも、東京湾・伊勢湾・瀬戸内海・有明海・八代海などで大きな問題となっています。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> ・環境や生物多様性に関する情報を断片的ではなく、総合的に把握することができる。 ・環境や生物多様性に関するデータ(特に図表)の意味を正確に理解することができる。 ・正確な情報を元に沿岸域の環境問題や生物多様性が議論できる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 生物多様性とは何か 第2回 生物多様性を守るために 第3回 沿岸域の環境-潮間帯を中心に- 第4回 干潟・転石・岩礁 第5回 沿岸域の生物多様性 第6回 有明海・八代海の環境と生物 第7回 二枚貝の生物学-アサリ・ハマグリを中心に- 第8回 熊本県の特徴的な生きもの:研究紹介
科目名	沿岸域の生物多様性と水産資源		<b>【学生へのメッセージ】</b> 沿岸域は、距離的には身近な環境ですが、訪れることの少ない環境なのかも知れません。講義では、有明海・八代海を中心に、沿岸域で起きている問題を取り上げ、身近な環境問題と関連させて議論します。
科目区分	専門科目:社会と産業		<b>【受講前の準備学習等】</b> 環境問題、生物多様性やSDGsに関する情報は、新聞やWebなどで豊富に得ることができます。シラバスの内容から判断して、関連する内容の自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヘンミ ヤスヒサ 逸見 泰久 熊本大学名誉教授		
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2678284	<b>【授業内容】</b> 比較的平易で楽しく読むことができる英文を教材にして、英語を読む際のポイント等を学習します。とくに、日本人の学習者がつまづくことが多い文法事項や構文等に焦点を当て、楽しく、そして、正しく英語を読む力の養成を目指します。 必要に応じて、文法事項の復習を行いながら、辞書があれば、ある程度、独力でも英文が読めるようになることを目標に、できるだけたくさんの英語に触れましょう。 <b>【到達目標】</b> 辞書の正しい使い方と英文を読む際に重要となる文法事項や構文を学修することにより、辞書を使いながら、比較的平易な英文であれば自分で正しく読むことができるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 辞書は読み物。辞書に詰め込まれた（膨大な）情報の意味や活用の仕方を確認します 第2回 辞書を使って、英語と日本語の特徴の違いを確認しましょう 第3回 英語を読む際に、つまづくポイントを確認しましょう（その1） 第4回 英語を読む際に、つまづくポイントを確認しましょう（その2） 第5回 つまづかないで英語を読めるか確認しましょう 第6回 いろんな英語にチャレンジしましょう（その1） 第7回 いろんな英語にチャレンジしましょう（その2） 第8回 まとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> 英語が得意である必要はありません。できるだけ、分かりやすく授業を進めるよう心がけますが、分からないことや確認したいことがあれば、積極的にご質問ください。 教材プリントの大きめの文字サイズをご希望の方は、事務室にご相談ください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 授業で辞書を最大限有効に活用するコツを身に付けるためにも、何はともあれ、辞書を使って英語を読んでみてください。どんな英語でも結構です。 授業で質問できるように、自分なりに理解している文法事項とそうではない文法事項を確認しておきましょう。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポートは、授業で学んだことが身につけていれば問題なく対応可能な内容を予定しています。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、英和辞書をご持参ください。紙の辞書でも電子辞書でも結構です。最新版である必要はありません。どの出版社でも結構ですが、新たに購入される場合は、『ジーニアス英和辞典』や『ライトハウス英和辞典』などがお勧めです。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・表現のための実践ロイヤル英文法（綿貫陽、マーク・ピーターセン／旺文社／¥1,980／ISBN=9784010312971） 購入は必須ではありません。あくまでも「参考」書という位置付けです。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	英語を楽しく読む	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	<small>サイトウ ヤスシ</small> 齋藤 靖 熊本大学 大学教育統括管理運営機構教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1	

科目コード	2677830	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本授業は、文章作成の基本となる「何を」「どう書くか」という2つの観点から進めていきます。文章が論理的であるとはどういうことかということから説き起こし、序論・本論・結論からなる文章の基本構成、テーマ設定から執筆に至るまでの手順、情報の要約や言い換えの仕方、文章のマナー等を随所に盛り込みながら、論理的な文章の作成に取り組みます。なお、授業は4～5人編成のグループ学習の形を取ります。
学習センター(コード)	43A		<b>【到達目標】</b> 伝えたいことを明確にし、論理的な構成の文章で伝えることができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 レポートの基本構造・レポート「課題」の説明 第2回 わかりやすい文を書く 第3回 文献の読み込み 第4回 考える(問いと答え)・要約と言い換え 第5回 パラグラフで考える/主張を考える(目標規定文をつくる) 第6回 レポート作成のマナー 第7回 序論と結論を書く 第8回 まとめ
科目名	レポート作成の基本		<b>【学生へのメッセージ】</b> 「書く」行為は「考える」行為に他なりません。講義を通じて論理的に考える習慣を身につけましょう。授業では、レポートを完成するために学生自らが関連資料を探し、読みこんだ後に、グループディスカッションに臨むことになります。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> 指定した教科書は、100ページ程度の分量ですから、事前に目を通しておい
ナンバリング	120		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 最終レポートは、原稿用紙を配りますので、手書きで構いません。パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。
担当講師	ワタナベ ジュンコ 渡邊 淳子 熊本保健科学大学 アカデミックスキル支援センター教授		<b>【教科書】</b> 教科書を指定する。 ・〈改訂版〉大学生のための論文・レポートの論理的な書き方(渡邊淳子/研究社/¥1,430/ISBN=9784327384883) ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
日程実施時間	12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 (履修制限)「レポート作成の基本2021」「レポート作成の基本2022」「レポート作成の基本2023」の単位を修得済みの方は登録できません。
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2678357	<b>【授業内容】</b> 日本の「江戸時代」において200年間以上にわたって継続した平和状態（「天下泰平」）は、世界史的にみても稀有な現象であり、この間、日本の社会は経済や文化・思想の面で大きな発展をみたことが知られています。しかし、その時代の直前の「戦国時代」までは、あたかも戦乱が日常ともいべき社会状況でした。 ほぼ西暦1600年頃を境とした「戦国から平和へ」という日本歴史の大転換は如何にして可能となったか、従来の学説（教科書）を批判しながら、その理由を戦国時代の側から考察し、理解していこうと思います。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	<b>戦国時代論</b>	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	54名	
担当講師	イナバ ッグハル <b>稲葉 継陽</b> 熊本大学 永青文庫研究センター教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

授業概要

**【到達目標】**

「天下泰平」が実現された歴史的条件について、日本近世史研究の通説を批判的に検討する観点に立って、仮説を示すことができるようになる。

**【授業テーマ】**

- 第1回 戦国時代の社会とは
- 第2回 内戦の中世 戦国時代の三つの戦争
- 第3回 内戦から泰平への転換をどう捉えるか
- 第4回 戦場の社会史
- 第5回 平和状態と領域秩序の創出
- 第6回 戦場の村々の営み
- 第7回 「豊臣平和令」と「天下泰平」
- 第8回 「天下泰平」を支えた力

**【学生へのメッセージ】**

この授業を通じて、日本社会の歴史の世界史における特殊性、それを踏まえた平和主義の未来への可能性について考えてほしいと思います。

**【受講前の準備学習等】**

参考図書にあげた書物に目を通してきてください。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

**【受講者が当日用意するもの】**

筆記用具等通常の受講準備をしてきてください。  
授業はその都度配布するプリント等を用いて展開します。

**【教科書】**

教科書は使用しません。

**【参考書】**

- ・新版 雑兵たちの戦場－中世の傭兵と奴隷狩り（藤木久志／朝日新聞出版／¥1,430／ISBN=9784022598776）
- ・刀狩り－武器を封印した民衆－（藤木久志／岩波書店／¥1,166／ISBN=9784004309659）
- ・村と民衆の戦国時代史－藤木久志の歴史学－（稲葉継陽・清水克行編／勉誠出版／¥,3300／ISBN=9784585325222）

# ★熊本学習センター【ライブWeb授業】実施科目(43A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の2科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

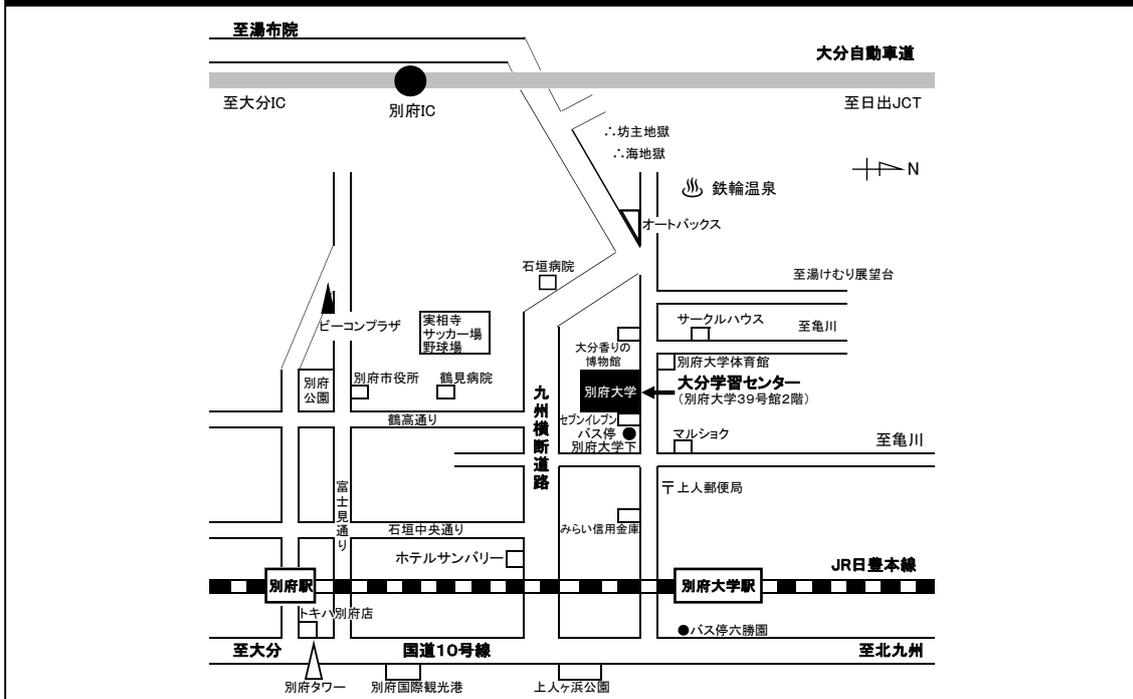
科目コード	4001575	<b>【授業内容】</b> 現在の地域づくりは、自然・農林水産・伝統技術・先端技術・文化といった多様な地域資源を活用し、地域の様々な職業の人が主役となり、様々な人々と共創し、人口減少が引き起こす地域課題を克服する取り組みが展開されています。そこで、人口減少のメカニズム、人口減少が引き起こす地域課題の実態、具体事例として、地域づくりを先導するNPOや企業の取り組みや、地域課題をビジネスチャンスと捉え地域課題解決にとりくむ地域企業（ローカルイノベーター）の事例を学び、今後の地域づくりのあり方、方法論とその可能性を考えていきます。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	WK	
科目名	★人口減少時代の地域づくり	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	カナオカ ショウゴ <b>金岡 省吾</b> 熊本大学 研究開発戦略本部教授 タナカ ナオト <b>田中 尚人</b> 熊本大学大学院 先端科学研究部准教授 オヤマ マコト <b>尾山 真</b> 熊本大学 研究開発戦略本部准教授 ナベヤ ヤスノリ <b>鍋屋 安則</b> 熊本大学 研究開発戦略本部客員教授	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション ～新たな地域づくりの世界～、～人口減少のメカニズム～【金岡・尾山】 第2回 地方創生とは ～人口減少克服をコミットする地域づくりとそのシステム①【尾山・金岡】 第3回 地域づくりの最前線1 ローカルイノベーターが地域を救う①【鍋屋】 第4回 地域づくりの最前線2 ローカルイノベーターが地域を救う②【鍋屋】 第5回 地域づくりの最前線3 地域づくりの場づくり①【田中】 第6回 地域づくりの最前線4 地域づくりの場づくり②【田中】 第7回 地方創生とは ～人口減少克服をコミットする地域づくりとそのシステム②【尾山・金岡】 第8回 総括 人口減少時代の地域づくりとはいかなるものか【金岡】 <b>【学生へのメッセージ】</b> 人口減少が引き起こす地域変化に挑む「NPO」「企業」「地域企業（ローカルイノベーター）」の姿より、人口減少時代の地域づくりとはどのような取り組みが求められるのかを、皆さんとともに共創したいと思います。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 人口減少は地域にどのような変化を引き起こし、その課題解決に向けてどのような地域づくりが取り組まれているか、インターネットを活用し情報収集してみてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【その他(特記事項)】</b> 専用のシステム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を推奨します。(PBL(個人ワーク・グループワーク・発表等)の時間を織り交ぜながら、講義を行います) 「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮定の講義室 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間以外に取組みが必要な活動が該当システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a> を参照ください。

科目コード	4001583	<b>【授業内容】</b> 自然界や日本文化、古典文学に潜む光と色に纏わる事象、事例を特に化学を中心とする科学的な見地からみることで物質観についても考えることを目的とします。今回は、主に身の回りにおける光が関係する事象や現象に注意を払い、仕組みを考えてみます。また、古典文学に登場する光源色から、日本の文化風土との関係をみていきます。 <b>【到達目標】</b> 身の回りの光が関係する事象について文化や風土との関係を含めて仕組みを簡潔に説明できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 授業内容についてのガイダンス 第2回 光の素性と性格 第3回 光と色の奇妙な関係 第4回 太陽と上手につき合うー太陽紫外線と肌との恐ろしい関係ー 第5回 身の回りにおける光の色ー蛍の光、窓の雪ー 第6回 放射線と人体ーラドン温泉は安全か？ー 第7回 光と音を科学するーSound of Silence（静寂の音）ー 第8回 授業のまとめ ー人は光の色を文化というフィルターを通してみている！ー <b>【学生へのメッセージ】</b> 認識されるか否かには関係なく現代社会と化学とが密接にかかわっていることは言うまでもありません。光を中心に化学的世界観（化学的なものの見方）に触れ、化学的物質観（物質に対する考え方）をみることにします。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 身の回りで起こる光がかかわる現象について注意を払い、記憶にとどめておいてください。また、なぜそのような現象が起こるのかについてあらかじめ調べておいてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートは授業で扱った「(広い意味での)光」と「色」に関するトピックの中で ・さらに調べてみた(調べてみたい)こと ・深く考えてみた(考えてみたい)こと ・今後の生活に役立ちそうな(役立てようと思った)こと 等 の中から一つ選び、表題(タイトル)をつけた上で ＊テーマとして設定した理由 ＊何を調べたか(調べようとしたか)、あるいは、考えたか(考えようとしたか)、または、何が役立ちそうか(役立てようと思ったか) ＊科学(化学)的思考法や物質観から得たものを必ず含めて作成していただきます。
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	WK	
科目名	★光と色の化学ー光編	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	フジモト ヒトシ 藤本 斉 前熊本大学教授	
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
授業概要		
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・一億人の化学15 光が活躍する (日本化学会編/大日本図書/¥1,708/ISBN=9784477002354) ・色の名前 (近江源太郎、ネイチャー・プロ編集室/角川書店/¥2,750/ISBN=9784048836227) <b>【その他(特記事項)】</b> Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a> を参照ください。

# 大分学習センター

(コード：44A)

## 大分学習センター案内図 ☎0977-67-1191



【所在地】〒874-8501 別府市北石垣82(別府大学39号館2階)

### 【交通アクセス】

①JR利用の場合(最寄駅は別府大学駅)

JR日豊本線別府大学駅より徒歩10分

②バス利用の場合(JR日豊本線別府駅から:所要時間20分)

〔東口バス停〕

20 亀の井バス<別府大学経由鉄輪行>「別府大学前」で下車

23 亀の井バス<石垣経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

〔西口バス停 2のりば〕

6 亀の井バス<鶴見丘高校経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

### 【その他連絡事項】

#### 【昼食】

昼食は各自でご用意ください。別府大学学生食堂(日曜日休業)、または学習センター近辺のコンビニエンスストア、弁当店等をご利用ください。

#### 【駐車場】

駐車場は駐車台数に限りがありますので、原則公共交通機関をご利用ください。

科目コード	2678454	<b>【授業内容】</b> 大分県は、標高2000m近くの山岳地帯や、県北、県南地域の沿岸地帯、そして湯布院、別府などの有数の地熱・温泉地帯を有しており、自然環境豊かな条件にあります。本授業では、大分の自然の中でも、大分の水環境、大分の温泉について、講義や現地での巡検を通じて理解を深めます。 <b>【到達目標】</b> 地球における水の役割や、水資源量、水質等について理解する事ができる。また、温泉の定義や分類、それらの成因についての理解を深める。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 地球の水循環（1）地球上の水の循環 第2回 地球の水循環（2）地球の水資源量 第3回 大分の水（1）大分県の自然科学的条件 第4回 大分の水（2）大分県の主な水域について 第5回 大分の温泉（1）温泉の定義と分類 第6回 大分の温泉（2）温泉の成因と大分県の温泉について 第7回 温泉の巡検（1）血の池地獄、龍巻地獄、海地獄 第8回 温泉の巡検（2）鬼石坊主地獄、白池地獄、かまど地獄、鬼山地獄 <b>【学生へのメッセージ】</b> 大分の河川や湖沼、温泉について化学の目で見ていこうと思います。基礎的な化学の内容も一部含まれますが、できるだけ分かり易く授業を行いますので、気軽な気持ちで受講してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 普段何気なく見ている、身近な河川や温泉等について、少し意識して見ておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 2日目の午後（7、8時限目）は、別府温泉の巡検を予定しています。授業料とは別に、別府地獄めぐり共通観覧券・バスレンタル代として、合計2,500円が必要になります。初日の朝徴収しますので、おつりのないようにご準備ください。 2日目は、動きやすい服装でご参加ください。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	大分の水と温泉	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	30名	
担当講師	オオウエ カズトシ 大上 和敏 大分大学教育学部教授	
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～11:55 第3時限 12:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2 および別府地獄めぐり (海地獄他)	

科目コード	2668777	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 「心的回転」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「印象形成」の心理学実験を体験的に学ぶことで、科学的報告書の形式に従ったレポートにまとめる方法について理解することを目的とします。受講生の皆さんには、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出していただきます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようにする。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	20名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学実験の概説 第2回 実験のレポートの書き方 第3回 実験①イメージの実験「心的回転（メンタルローテーション）」 第4回 「心的回転（メンタルローテーション）」のデータ処理 第5回 実験②記憶の実験「自由再生による記憶の系列位置効果」 第6回 「自由再生による記憶の系列位置効果」のデータ処理 第7回 実験③印象の実験「印象形成（中心特性の働き）」 第8回 「印象形成（中心特性の働き）」のデータ処理 <b>【学生へのメッセージ】</b> パソコンを使用しての実験とデータ処理を行うので、パソコン操作（Word、Excel）の経験を有することが望ましいです。また、授業中の活動は受講者同士で協力しながら進めていきますので、主体的な学習姿勢が必要です。
担当講師	モリシタ サトル 森下 覚 大分大学准教授	
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月19日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	<b>【授業概要】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	大分学習センター 教室1	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 Windows 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・文書作成及びデータの整理のために、Word、Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 ・USBメモリを持参してください。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人・坂田省吾 代表編著／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658） <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2678420	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 絵本は、ほとんどの人が生まれて初めて触れる“本”であり、視覚伝達表現です。近年では子ども向けだけでなく、幅広い世代に向けての絵本も出版されており、その表現方法も多様になっています。本授業では、思いを表現する手段としての絵本制作を中心に行っていき、考察、作画、製本などの体験を通して、言葉や文字だけではない表現で創作することや、思いを伝える楽しさを学びます。
学習センター(コード)	44A		<b>【到達目標】</b> ・客観的な視点を持ち、本人だけでなく他者が楽しめる表現の工夫を考え実践することができる。 ・製本の方法を理解し、作り上げることができる。 ・表現する楽しさや難しさなどの体験を、具体的に説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 絵本とはなにか 第2回 折りたたみ絵本作り 第3回 コラージュ絵本作り 第4回 コラージュ絵本作り 第5回 コラージュ絵本作り 第6回 製本 第7回 製本 第8回 作品鑑賞・総評
科目名	はじめての手作り絵本		<b>【学生へのメッセージ】</b> 幼少期から慣れ親しんでいる絵本を自分で作ることで、創作する喜びを感じ取る授業です。技量の程度は問いませんので安心して受講してください。
科目区分	導入科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。制作するための準備物を忘れずにご用意ください。
ナンバリング	210		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は授業中の学習状況及び、課題作品の評点により行います。
定員	20名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 絵の具12色以上（乾燥の早いアクリル絵の具を推奨しますが、透明水彩、不透明水彩でも可。油絵の具不可）・筆・筆洗・筆拭き用の雑巾・折り紙1セット・はさみ・液体のり。学習センターでの用具の準備はできません。 ※絵の具を使用しますので、汚れてもよい服装で来られるか、着替え、エプロン等をお持ちください。
担当講師	ヒロセ タケン 廣瀬 剛 大分大学教授		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(面接授業開設科目一覧 P.5参照)	
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2678462	<b>【授業内容】</b> この授業は、香り、特に、フレグランス（化粧品や日用品の香り）とフレーバー（食品の香り）の初歩を取り扱います。受講生の皆さんは、香水の歴史、においの科学、発酵/醸造と香りの講義に加えて、大分香りの博物館の見学と香水の調香、香り分析や試香も体験できます。初めて香りを学ぶ方も興味を持って理解を深められるように、体験学習を織り交ぜて授業を進めていきます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	はじめて学ぶ 香りの科学	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	30名	
担当講師	<small>サカモト コウジ</small> <b>坂本 幸司</b> 別府大学食物栄養科学部 発酵食品学科教授 <small>スヤマ アキコ</small> <b>陶山 明子</b> 別府大学食物栄養科学部 発酵食品学科教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 10月26日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2、 大分香りの博物館 および別府大学36号館 発酵食品学科実験室	
	<b>【到達目標】</b> ・香りと香料の関係を理解し、香料の利用方法や製造方法を説明することができる。 ・香りの歴史を把握し、香りとヒトとの関わりや香りの持つヒトへの効果を説明することができる。 ・発酵食品と酒類に含まれる香り成分を理解し、フレーバーの特徴を説明することができる。	
	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 香りへの招待(坂本) 第2回 嗅覚のしくみと香りの評価(坂本) 第3回 博物館で学ぶ香りの歴史(坂本/場所:大分香りの博物館) 第4回 香りを創る(坂本/場所:大分香りの博物館) 第5回 フレーバー -発酵食品と香り- (陶山) 第6回 フレーバー -お酒の香り- (陶山) 第7回 においや香りの科学的な分析方法(坂本・陶山/場所:別府大学36号館 発酵食品学科実験室) 第8回 においや香りの機能性(坂本)	
	<b>【学生へのメッセージ】</b> 私たちは、たくさんの方ににおいや香りに囲まれて暮らしています。一方、嗅覚のしくみがわかってきたのは、比較的、最近のことです。こんなに身近で不思議な側面も持つ香りの一端を一緒に覗いてみましょう。	
	<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容を確認して、自己学習に努めてください。	
	<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 大分香りの博物館での調香体験料として、初日の朝、2,800円(30ml瓶、税込み)を徴収します。おつりのないようにご準備ください。(博物館の入場は、無料です。)	
	<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
	<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照) ・1、2日目とも教室2にお集まりください。「大分香りの博物館」「別府大学36号館 発酵食品学科実験室」へは一緒に移動します。	

科目コード	2678381	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この授業では、レポート作成とディベート実践に必要な知識を体系的に学び、論理的な思考力と表現力の習得を目指します。1日目（第1回～第4回）では、効果的なレポート作成のための論理構成、主張を的確に伝える文章作成術、適切な引用方法などを学びます。2日目（第5回～第8回）では、ディベートに必要な基本ルールや論点整理、反論の技術、説得力のある話し方などを学びます。2日間の演習を通じ、「論理的に書く」「論理的に話す」ための総合的な表現力を強化します。
学習センター(コード)	44A		<b>【到達目標】</b> ・レポートの論理構成や表現技法のルールを理解し、論理的で説得力のあるレポートを作成することができるようになる。 ・ディベートの基本ルールを理解し、論点を整理したうえで、的確な主張や説得力のある反論を行うことができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 論理的な文章の基礎－レポートの型（大下） 第2回 説得力を高める根拠の示し方と情報の信頼性評価（大下） 第3回 論理性を高める表現技法－適切な言葉選びと文章の流れ（大下） 第4回 レポート演習－推敲と実践的なレポート作成（大下） 第5回 ディベートの基本ルール（朝美） 第6回 主張構築と論点整理の技術（朝美） 第7回 効果的な反論と説得力あるスピーチの技法（朝美） 第8回 ディベート演習－実践的ディベートセッション（朝美）
科目名	<b>論理的思考と表現の基礎</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 論理的な「書く力」と「話す力」はどんな場面でも役立つスキルです。演習を通じて得意な人はさらに磨き、苦手な人も説得力ある表現を習得できる内容です。授業中に、ペア/グループ活動、ディベートを行います。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・過去のレポートを見直して論理構成を自己分析してください。また、「AIは人の仕事を奪うのか、助けるのか？」というテーマで400字以内のレポートを事前に書き、1日目の講義に紙媒体で持参してください。 ・「日本は中学生以下のスマホの使用を禁止すべきである」というテーマに対する主張や反論を考え、できるだけ多くの主張・反論に対する理由を書きだして2日目の講義に持参してください。
ナンバリング	120		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> ・【受講前の準備学習等】で記載しているレポート（1日目）・課題（2日目）を忘れずに持参してください。 ・パソコンを持参してレポートの下書きやインターネット検索をしても構いません。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
担当講師	オオシタ ハルミ 大下 晴美 大分大学医学部准教授 アサミ ヨシコ 朝美 淑子 大分大学経済学部准教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月9日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2678497	<b>【授業内容】</b> 文化的景観とは、もともとは1992年に登場した世界遺産の概念であり、人間と自然の対話によって成立した景観です。2004年に成立した日本の文化財保護法にもこの考えが取り入れられ、「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことができないもの」と規定されました。それから、本年で21年の歳月が流れ、全国で重要文化的景観に選定された場所は70か所を超えています。大分県にも小鹿田、田染、姫島、別府、緒方の地区が選定されています。本講義では大分の文化的景観の地をめぐり、私の提唱した環境歴史学との関係からその特質を講義します。 <b>【到達目標】</b> ①文化的景観の概念とはなにかを理解し、説明できる。②この概念がどのように成立し、それが日本の文化財保護法に取り入れられたのか理解し説明できる。③環境歴史学の成立と文化的景観の成立の関係を理解し説明できる。④大分の文化的景観の現状を見学し、その成立と特質を理解し説明できる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 文化的景観の概念とその成立過程 第2回 環境歴史学と文化的景観の関係 第3回 重要文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」の概要 第4回 文化的景観「緒方川と緒方盆地の農村景観」の実地調査 第5回 重要文化的景観「田染小崎の農村景観」と国東半島荘園村落遺跡との関係 第6回 重要文化的景観「田染小崎の農村景観」の実地調査 第7回 重要文化的景観「別府の湯けむりと温泉地景観」と別府の特質 第8回 重要文化的景観「別府の湯けむりと温泉地景観」の実地調査 <b>【学生へのメッセージ】</b> 学生は事前学習を行い面接授業に臨んでください。現地見学・調査が含まれる授業ですので、足の不自由な方は部分的に参加が難しい場合がある可能性があります。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 受講以前に文化的景観についてインターネット等で事前学習をしてください。 『環境歴史学とはなにか』（山川出版社）を事前に読んで「環境歴史学」について理解を深めてください。 その日の内容は必ず復習を行ってください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> ・筆記用具 ・1日目の午後、2日目はフィールドワークを行いますので、歩きやすい服装、靴等で参加してください。また、バス移動を伴いますので、酔い止めが必要な方は持参してください。 ・バス代、2日目の昼食代（1,500円）等として、授業料とは別に3,500円を授業初日の朝徴収しますので、おつりの無いようにご準備ください。＊授業への参加人数に応じて返金することもあります。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・環境歴史学とはなにか（飯沼賢司／山川出版社／¥880／ISBN=9784634542303） ・重要文化的景観への道（海老澤衷・服部英雄・飯沼賢司編／勉誠出版／¥2,200／ISBN=9784585226192） <b>【その他（特記事項）】</b> ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・バスや徒歩で長時間の移動を伴いますので、体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。 ・行程等についての詳細は、受講者に別途ご案内します。（2日目の昼食は現地の食堂で一緒に取ります。） ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	文化的景観とはなにか	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	飯沼 賢司 別府大学名誉教授	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月9日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2 および現地学習 (豊後大野市緒方盆地、国東半島田染、別府明礬、別府鉄輪)	

科目コード	2678438	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 WordPress.com の無料版を用いて、ウェブサイトのデザインと構築の技法を学びます。リンクや画像を含む固定ページの作成に加え、HTMLの基礎やレスポンスデザイン概念を扱い、実践的なスキルを習得します。また、情報発信に関わるルールやマナーについて考察し、安全で効果的な発信方法を学びます。授業後半では各自で設定したテーマでウェブサイトを作成し、相互評価を通じてより良い情報発信のあり方を探究します。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	情報発信の技法とデザイン1		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	鈴木 雄 清 <small>スズキ ユウセイ</small> 大分大学准教授		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月16日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	<b>【到達目標】</b> ルールやマナーを踏まえつつ、テーマに沿ったウェブサイトを作成し、情報発信できる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション、ウェブサイトのデザインの概要 第2回 WordPressの基本操作と固定ページの作成 第3回 リンク及び画像等のメディアの活用 第4回 HTMLの基礎 第5回 レスポンスデザイン概念 第6回 安全な情報発信と情報倫理 第7回 ウェブサイト制作演習（1） 第8回 ウェブサイト制作演習（2）、相互評価 <b>【学生へのメッセージ】</b> キーボードで日本語の文字入力やパソコンの基本操作ができることと、キャンパスメール（Gmail）を使うことができることを前提条件とします。 <b>【受講前の準備学習等】</b> ・各自が設定したテーマに基づいてウェブサイトを作成します。事前に、作成したいウェブサイトのテーマを考えておいてください。 ・テーマに沿って、コンテンツとなる文章や写真（1、2枚程度）を用意しておいてください。 ・システムWAKABAやキャンパスメール（Gmail）にログインするための、ユーザIDとパスワードを確認しておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業時間中に制作するウェブサイトの達成状況により行います。制作したウェブサイトの URL アドレスを提出し、授業内で提示する評価ルーブリックに従って評価します。	
実施会場	大分学習センター 教室1	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 インターネットに接続可能なノートパソコンと、スマートフォンの両方をご持参ください。 2. OSの指定 Windows11を前提とします。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザ（最新バージョン）を前提とします。配付資料の一部はPDFで提供しますので、Acrobat Readerも最新の状態にしておいてください。 4. その他 Windows11以上を対象とします。 <b>【教科書】</b> 授業当日に補助教材を配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2668815		<b>【授業内容】</b> 心理学における主要な性格診断の背景となる理論とそれに基づいて作成された検査法を解説、実習します。受講生の皆さんは、それらの実習に検査者あるいは被検査者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して心理学の仮説の検証や信頼性、妥当性などについても適切な理解を深めていきます。それとともに、検査バッテリーの組み方、検査データの整理法や検査所見の書き方、その背景となるテスターの倫理を修得することを目標にします。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、4つの主要な検査についてのすべての検査について目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートにまとめ提出する必要があります。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	<b>心理検査法基礎実習</b>		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320	<b>【到達目標】</b> 現在、わが国で一般的に使用されている5種類の心理検査の理論及び実際の検査手順・方法、結果の適切な処理法を理解・修得し、心理面接に活用できるようになる。また、その背景にある、心理学に関する学術的な基礎理論や検査者に要求される倫理を十分に理解・修得し、認定心理士として適正な活動ができるようになる。心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。	
定員	30名		
担当講師	ナカムラ ヒロミツ <b>中村 廣光</b> 別府大学大学院非常勤講師	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理検査の概要 第2回 心理検査における倫理 第3回 検査実習1 ビッグ・ファイブ尺度性格検査 第4回 検査実習2 交流分析の理論とエゴグラム心理検査 第5回 検査実習3 矢田部・ギルフォード性格検査 第6回 検査実習4 バウムテスト 第7回 心理検査の信頼性と妥当性について 第8回 テストバッテリーの組み方と検査結果のまとめ方	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 11月16日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	大分学習センター 教室2	<b>【学生へのメッセージ】</b> 人間の内面を理解することは、対人援助の仕事をしていく上でとても重要なことですが、最も困難な技でもあります。この講義で学習する心理検査法は、様々な課題や苦悩を抱えて援助を必要としている人たちの内面の特徴や対人関係の在り方について「理解の手がかり」を提供してくれます。また、被検査者体験は、自分自身を知る手がかりにもなります。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容に事前に目を通して、参考文献やインターネット等を利用して準備学習に努めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> ・筆記用具(含む描画用の鉛筆) ・ノート <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・心理測定尺度集 I(堀洋道監修、山本眞理子編/サイエンス社/¥2,970/ISBN=9784781909875) ・心理測定尺度集 II(堀洋道監修、吉田富二雄編/サイエンス社/¥3,960/ISBN=9784781909882) ・心理測定尺度集 III(堀洋道監修、松井豊編/サイエンス社/¥3,740/ISBN=9784781909899) ・心理測定尺度集 IV(堀洋道監修、櫻井茂男、松井豊編/サイエンス社/¥3,520/ISBN=9784781911670) ・心理測定尺度集 V(堀洋道監修、吉田富二雄、宮本聡介編/サイエンス社/¥3,465/ISBN=9784781912721)	

科目コード	2678489	<b>【授業内容】</b> この授業では、まず都市とコミュニティをめぐる基本的な概念や理論について紹介します。そのうえで、とりわけ日本における行政と市民生活との関係の歴史的な変遷を、明治地方自治制の成立から、天皇制ファシズムをへて、戦後改革、住民運動、革新自治体、コミュニティ政策に至るまで、具体的に紹介します。そこから市民や住民による自治の営みと民主主義について考えていければと思います。 <b>【到達目標】</b> 学生が講義内容にもとづき、都市や都市化に関する基本的な概念を理解し、日本の都市コミュニティないし地方自治体における市民生活と行政の関係について、その歴史とそこで確認できる特質を把握できるようになる。その結果、学生が自らの身近な課題に対して、新しい認識を得ることを目標とする。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 都市と都市化 第2回 日本の都市と都市化 第3回 都市の社会的構成と地方自治 第4回 近代日本と明治地方自治制の成立 第5回 戦前の都市化と天皇制ファシズムの成立 第6回 戦後改革と住民運動の展開 第7回 革新自治体とコミュニティ政策 第8回 町内会の衰退とコミュニティのゆくえ <b>【学生へのメッセージ】</b> 予備知識がないことを前提に授業を行います。明治維新以降の日本近代の歴史について、学校で習ったことを思い出しただけだと、理解しやすいかも知れません。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 明治維新以降の日本の歴史について、概説的な本を読んでおいてください。とりわけ、自由民権運動、大正デモクラシー、天皇制ファシズム、戦後改革、住民運動と革新自治体などについて、学んでおくことで授業内容がより理解できると思います。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・都市社会学を学ぶ人のために（玉野和志編著／世界思想社／¥2,420／ISBN=9784790717386） 本書の前半部分が講義の前半部分の参考になります。 ・都市の変容と自治の展望（後藤・安田記念東京都市研究所編／後藤・安田記念東京都市研究所／¥4,950／ISBN=9784924542686） 本書所収の玉野の論文の一部が、講義の後半部分の参考になります。 ・町内会——コミュニティからみる日本近代（玉野和志／ちくま新書／¥924／ISBN=9784480076298） 本書の一部が講義の後半部分の参考になります。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	都市コミュニティ論	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<small>タmano カズシ</small> 玉野 和志 放送大学社会と産業コース教授	
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月30日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2	

科目コード	2678500	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本講義では、Google Colaboratory を用いて Python + OpenCV を学び、コンピュータビジョンの基礎を実践的に習得します。画像の読み込み・編集・フィルタ処理・輪郭検出・顔認識・動画解析などを扱い、身近な応用例を交えながら学びます。環境構築不要で、初心者でも手軽に実践可能です。授業では、自分の写真や動画を用いた演習を行い、視覚的に理解を深めます。最終的に、簡単なアプリ開発に挑戦し、コンピュータビジョンの応用力を高めます。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	<b>コンピュータビジョン 入門と実践</b>	
科目区分	専門科目：情報	<b>【到達目標】</b> PythonとOpenCVを用いた基本的なコンピュータビジョン技術を理解し、実践できるようになる。画像処理の基礎から輪郭検出、顔認識、動画解析までを学び、身近な応用例に触れながら実践力を養う。最終的に、簡単な画像処理アプリを開発できるスキルを習得し、コンピュータビジョンの活用方法を理解する。
ナンバリング	320	
定員	20名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ColabとOpenCVの準備 & コンピュータビジョン入門 第2回 画像の基本操作（読み込み・表示・編集） 第3回 画像のフィルタリングとノイズ除去 第4回 輪郭検出と形状分析 第5回 顔認識とオブジェクト検出 第6回 動画処理とモーション検出 第7回 画像の変換と特徴量抽出 第8回 実践アプリ開発 & 総復習
担当講師	オオキ ヒデヒロ 大城 英裕 大分大学助教	
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 11月30日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	<b>【学生へのメッセージ】</b> この講義では、PythonとOpenCVを使ってコンピュータビジョンの世界を楽しく学びます！「画像を編集する」「顔を認識する」「動画から動きを検出する」など、身近な技術を実際に手を動かしながら体験できます。プログラミング初心者でも安心して学べるよう、Google Colabを活用しながら分かりやすく進めていきます。一緒に、コンピュータビジョンの面白さを体験しましょう！
授業概要		
実施会場	大分学習センター 教室1	<b>【受講前の準備学習等】</b> ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・[事前学習] Pythonの基礎（変数、リスト、条件分岐、ループ）や、Google Colaboratoryの基本操作を確認しておくこととスムーズに学べます。数学の基本（座標、行列）も理解しておくことと役立ちます。 ・[事後学習] 講義のコードを繰り返し実行し、自分の画像や動画で試して下さい。OpenCVの公式ドキュメントやチュートリアルを活用し、簡単でも独自のプログラムを作ることで応用力が身につきます。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。（タブレット、スマートフォンは不可） 2. OSの指定 種類は問いません。（Windows、macOS、ChromeOSのいずれか） 3. ソフトのインストール Google Chrome ブラウザが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・Googleアカウントが必要です。 ・画像、動画データ（講義で使用する写真や映像を準備するとより円滑に学べます） ・基礎的なPythonの知識（事前に簡単なチュートリアルを学ぶと理解しやすいです）
		<b>【教科書】</b> 授業当日に補助教材を配付します。
		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2678411	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本授業では、日本の産業や企業の現状を把握したうえで、江戸時代から現代に至る日本の経営史を学び、これからの産業社会について考察するものです。モノやサービス、情報などがどう創出され提供されてきたのか、利潤はどう追求されてきたのか、国家や産業政策はどう機能したのかなどについて、過去の企業家や経営者、企業による意思決定や行動の経緯、要件、背景などを含めて概観します。鴻池や三井、大阪紡績や富岡製糸場、渋沢栄一や松下幸之助、日立製作所や東芝、トヨタ生産方式などの具体的事例とともに、大分の産業や企業の歴史も交え説明していきます。
学習センター(コード)	44A		<b>【到達目標】</b> 経営史(歴史のプロセス)を理解することで、産業や企業、経営システムの現状とこれからのあり方について考えられるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ガイダンス:経営史とは?、日本の産業や企業経営の現在・過去・未来 第2回 江戸時代の経営:17世紀の経済発展、商家の経営組織と管理、ものづくり 第3回 明治時代の経営:アントレプレナーシップ、近代産業経営の形成と促進 第4回 両大戦間期の経営:財閥の多角化、重工業化、都市型ビジネスの成立 第5回 第2次世界大戦後の経営(1):経済民主化と企業変革、企業集団の形成 第6回 第2次世界大戦後の経営(2):製造業・金融業・流通業の発展、グローバル化 第7回 1990年代以降の経営:長期低迷と再生、地域・中小企業・起業への期待 第8回 これからの産業社会:持続可能な経済と企業の未来、伝統と革新
科目名	<b>経営史と これからの産業社会</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 江戸時代から現在までの産業や経営に関する長い歴史を短い時間で説明していきますので、要点のみの内容になるかもしれませんが、できる限り対話方式で行えればと思います。疑問に思ったことや質問、コメント等あれば、その場でご提示ください。一緒に考えていきましょう。
科目区分	導入科目:社会と産業		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・シラバス(各テーマ)に関する情報収集など自己学習に努めてください。 ・日本の昨今の産業や企業、経営システムに関して、その傾向や特徴などについて考えてみてください。 ・興味ある大分の企業取り上げ、その成り立ちや歴史、現状や今後の戦略などについて調査してみてください。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具
担当講師	ワタナベ ヒロコ <b>渡邊 博子</b> 大分大学経済学部教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月7日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		<b>【参考書】</b> ・1からの経営史(宮本又郎・岡部桂史・平野恭平編著/碩学舎/¥2,640/ISBN=9784502089008) ・日本経営史-江戸から令和へ・伝統と革新の系譜 第3版(宮本又郎・阿部武司・宇田川勝・沢井実・橋川武郎/有斐閣/¥3,960/ISBN=9784641166172) ・グラフィック経営史(佐々木聡編著/新世社/¥3,190/ISBN=9784883843428)
実施会場	大分学習センター 教室2		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2678446	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 オンラインデザインツール「Canva」を活用し、大学での学びを効果的に発信する技術を習得します。初心者を対象に、Canvaの基本操作から始め、プレゼンテーション資料、研究ポスター、動画等の多様なメディアの作成方法を学びます。各演習では、デザインの基本原則（色彩、レイアウト等）を理解し、実践的な演習を通じて、デザイン思考と情報伝達力を高めます。 <b>【到達目標】</b> Canvaを活用して、学習・研究の成果をプレゼンテーション、ポスター、動画等の形式で情報発信できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 Canvaの基本操作 第2回 スライドデザインと情報量（デザインの基本ルール等） 第3回 プレゼンテーション資料の作成 第4回 インフォグラフィックス 第5回 ポスターの作成 第6回 動画制作 第7回 共有機能による情報発信と共同作業 第8回 まとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> 既に手元にある学修や調査の結果をプレゼンやポスターにまとめたいと考えている受講生や、これまでにスライド等の作成経験があり、それをさらに洗練させたいと考える受講生を想定しています。 <b>【受講前の準備学習等】</b> ・他の授業等で作成したレポートやプレゼン資料があれば事前に整理し、デジタルデータを準備しておいてください。 ・事前にCanvaアカウントを作成し、基本的な使い方をインターネット等で調べて、操作を確認しておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、iPadOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 ディスプレイの大きさが10インチ（幅20cm、高さ15cm位）以上であることを想定して授業を行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日に補助教材を配付します。 <b>【参考書】</b> ・伝わるデザインの基本 増補改訂3版 よい資料を作るためのレイアウトのルール（高橋佑磨、片山なつ 著／技術評論社／¥2,178／ISBN=9784297119850） <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	情報発信の技法とデザイン2	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	ゴトウ ヨシトモ 後藤 善友 別府大学短期大学部教授	
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月7日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室1	

科目コード	2678403		<b>【授業内容】</b> 大分県郷土料理の特徴を食材、調理法、栄養価、他県の郷土料理との比較により探っていきます。また、実際に大分県郷土料理を調理実習することにより、食材の扱い方や調理法、栄養価の理解を深めます。さらに、これらの活動によって次の世代に伝え継ぐ食育活動について検討します。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	大分県郷土料理を探る		
科目区分	導入科目：生活と福祉	授 業 概 要	<b>【到達目標】</b> 大分県の郷土料理は、どのような特徴があり、作り継がれてきたのかの理解を深める。さらに、実際に協力して郷土料理を調理し共に試食することにより、共同や共食の重要性について理解を深める。このことを通して、今後どのように伝え継ぐことができるかを考えることができる。
ナンバリング	220		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 大分県の農林水産物（食品） 第2回 日本各地の郷土料理（だんご汁との比較） 第3回 調理実習：大分県郷土料理を作ろう（小麦粉を使ったおやつ） 第4回 調理加工実習：切干大根・漬け物 第5回 調理実習：大分県郷土料理 第6回 調理実習：大分県郷土料理を作ろう（昼食献立） 第7回 大分県郷土料理の栄養的特徴 第8回 伝え継ぐ日本の家庭料理
定員	20名		<b>【学生へのメッセージ】</b> 郷土料理は古くからその土地に伝えられているものです。食材、調理法等の観点から理解し、自らの手で料理を作ることによってその魅力にふれてみましょう。
担当講師	モチヅキ ミサコ 望月 美左子 別府溝部学園短期大学 食物栄養学科教授/管理栄養士		<b>【受講前の準備学習等】</b> 大分県の郷土料理について自己学習に努めてください。
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月14日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 第4回レポート「大分県郷土料理の特徴」 第8回レポート「あなたの伝え継ぐ家庭料理は何か、それをどのように伝えますか」
実施会場	別府溝部学園短期大学 調理実習室 (大分県別府市亀川中央町29-10)		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 白衣またはエプロン、帽子または三角巾、マスク、調理実習のできる服装、調理実習材料費2,000円。（1日目のおやつ、2日目の昼食献立は、調理実習後に試食します。）2日分の調理実習材料費2,000円は、授業初日に徴収します。おつりのないようにご準備ください。※食材は事前仕入れのため、授業を欠席された場合も、材料費は徴収します。あらかじめご了承ください。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・伝え継ぐ日本の家庭料理（日本調理科学会企画・編集/農山漁村文化協会/¥3,080/ISBN=9784540191831） 「魚のおかず」（2019.9発行）「野菜のおかず」（2019.12発行）「年取りと正月の料理」（2020.12発行）「野菜のおかず春から夏」（2021.3発行）他全16巻 1冊につき3,080円 ・ウェブサイト うちの郷土料理 大分県（農林水産省/農林水産省/） <a href="https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/search_menu/area/oita.html">https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/search_menu/area/oita.html</a> <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・この授業は別府溝部学園短期大学で行います。放送大学大分学習センターとは別の施設になりますので、お間違いないようご注意ください。 ・アレルギーのある方は事前に大分学習センターまでお申し出ください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2678390	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この授業の目的は、基本的な英語コミュニケーションスキルを向上させ、英語の勉強を楽しむことです。授業では、実践で役立つ様々な練習を取り入れて、学生間の交流を促していきます。毎回、すべてのクラスの学生が積極的に参加してくださることを期待しています。
学習センター(コード)	44A		<b>【到達目標】</b> 学生は英語のコミュニケーションを練習して基本的なリスニングと発音のスキルを向上させ、また基本的な英語の文法を復習して基本的な英語のリーディングスキルを高めることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 1: How long are you staying? / 2: Nice to meet you! 第2回 3: Make yourself at home! / 4: What time is dinner? 第3回 5: It's a kind of jacket / 6: How was it? 第4回 7: Help yourself / 8: I'd like 15 tickets please 第5回 9: Can I have a towel, please? / 10: Are you into music? 第6回 11: Can I stay out until 11:00? / 12: Tell me about your family 第7回 13: I'm hungry! / 14: What are you doing tomorrow? 第8回 15: How much is it?
科目名	<b>基礎英語 コミュニケーション学習</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> Let's have fun practicing English?
科目区分	基盤科目：外国語		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	110		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	20名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 教科書 英和辞典、パソコン・タブレット・スマートフォンなど翻訳できるもの（必須ではありませんが、授業中に役立つかもしれません）学習センターでの無線LAN 利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。
担当講師	シャーリー・ジェラルド <b>Shirley Gerald</b> 大分県立看護科学大学名誉教授		<b>【教科書】</b> ・ My First Passport: Level 1: Student Book with Full Audio CD (Angela Buckingham and Lewis Lansford/Oxford University Press/¥2,475/ISBN=9780194577823) オックスフォード大学出版局等で入手可能です。
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 12月21日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2678470	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b>  児童虐待やいじめの増加にともない、こどもが学び、育つ環境の悪化が懸念されています。また、日本のこどもの低すぎる幸福度も課題となっています。支援を必要とするこどもは増え続けており、保護者だけでなく地域住民の子育て支援が求められています。こどもたちが安心安全に成長していけるために、こどもたちの心の育ちを大切にしたい私たち大人の援助、関わりについて一緒に考えていきたいと思えます。</p> <p><b>【到達目標】</b>  心や発達の知識から、こどもの理解を深めることができる。  こどもの理解から、こどもが育つ日々の関わりを説明することができる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>  第1回 こころの仕組みとその機能  第2回 援助行動の心理  第3回 援助の人間関係  第4回 発達の仕組み（こどもの生活・生育環境とその影響）  第5回 行動する人間の理解（行動と感情、行動と状況）  第6回 悩みを持つ方への関わり  第7回 こどもの悩みとその関わり  第8回 こどもに心を届ける関わり</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>  こどもの姿や発達の理解に基づく援助の意義を学び、こどもの心を育てる関わりについて一緒に考えていきましょう。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>  ○受講前  新聞やニュースなどで報道されるこどもの話題に注目してみましょう。  シラバスの内容を参考にして自己学習に努めましょう。  ○受講後  各回の講義やワークを振り返り、学びの統合に努めましょう。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。  なお、レポートのテーマは『こどもの心の理解に基づき試行する援助実践について』です。  受講後から1週間以内に提出して下さい。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>  筆記用具、メモ用紙、ハサミ、輪ゴム2つを用意してください。</p> <p><b>【教科書】</b>  授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b>  ・発達と老いの心理学（藤田文／サイエンス社／¥2,585／ISBN=9784781913964）</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	こどもの心の理解と援助		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ニシムラ カオル 西村 薫 別府溝部学園短期大学 幼児教育学科長		
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 12月21日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室2		



科目コード	2678560	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この授業では、東アジアにおける稲作の歴史について、近年行われてきた国内外の調査研究やその最新の成果を紹介しながら、概説します。 また、メディアで報道される古代の農耕や環境に関する最新の科学データが、実際にどのような材料からどのような方法でもたらされているかを解説します。さらに、その方法の一つであるプラント・オパール分析法を実際に実習していただき、「歴史を科学する」現場を体験してもらいます。
学習センター(コード)	45A		<b>【到達目標】</b> 東アジアの稲作技術の成立のメカニズムについて理解し、社会システムの発達過程(自給自足型社会から今日の都市型社会)における「食料生産システム」としての水田稲作技術の位置づけと役割を説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 農耕開始のメカニズムの最前線(人は何故、農耕を始めたのか?) 第2回 稲作の始まり(起源)を探る(先人達の取組とその成果と問題点) 第3回 新しい研究手法の登場とその成果(近年の国内外の調査の概要) 第4回 稲作の発達と拡散(中国から日本への伝播) 第5回 稲作の発達と環境の変化(農業生態系、都市の形成) 第6回 歴史を科学する様々な方法(花粉分析、プラント・オパール分析、年代測定法など) 第7回 プラント・オパール分析法の実習(遺跡土壌の分析) 第8回 稲作史研究の課題とこれから
科目名	最新の成果からみた 稲作の起源		<b>【学生へのメッセージ】</b> 稲作の歴史は、日々の研究によって次々と新しいものに更新されています。「歴史を科学する」最前線の研究の現状と研究成果を学び、体験するとともに、稲作の発達と私たちの社会や環境との関係についても考えてみてください。
科目区分	導入科目:人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	20名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ウダツ テツロウ 宇田津 徹朗 宮崎大学 農学部教授 宮崎学習センター客員教員		<b>【参考書】</b> ・フィールド科学の入口 イネの歴史を探る(佐藤洋一郎、赤坂憲雄/玉川大学出版部/¥2,640/ISBN=9784472182013) ・稲の考古学(中村慎一/同成社/¥2,970/ISBN=9784886212566) ・農耕の起源を探る-イネの来た道-(宮本一夫/吉川弘文館/¥1980/ISBN=9784642056762)
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 10月19日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2678551	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 コミュニケーションと聞くと、何を想像しますか？人と人とのやり取り、意思の伝達などでしょうか？この授業では、まさにそういった我々の日常を、顕微鏡で覗くように見ていきます。そこには今まで当たり前過ぎて気づかなかった会話の仕組みが見えてきます。「お早う！」と言ったら当たり前「お早う！」が返ってくる。そんな我々の日常がどんな仕組みを持って構築されているのか一緒に紐解きましょう。
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	<b>コミュニケーションの 仕組を学ぶ</b>	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	フクシマ ミホコ <b>福島 三穂子</b> 宮崎大学 地域資源創成学部准教授 宮崎学習センター客員教員	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	
授業概要	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 イントロダクション：会話分析とは？ 第2回 会話の仕組み1：「順番交替」我々はどうやって会話の中で話す機会を得ているの？ 第3回 会話の仕組み1：「順番交替」の仕組みを実際のデータの中から調べよう 第4回 会話分析を使った研究：宮崎の中山間地域における「食」の継承 第5回 会話の仕組み2：「連鎖組織」我々はどうやって会話の流れを作っているの？ 第6回 会話の仕組み2：「連鎖組織」の仕組みを実際のデータの中から調べよう 第7回 会話分析を使った研究：「順番交替」や「連鎖組織」の仕組みを使った分析とは？ 第8回 まとめ：データ作成と発表 <b>【学生へのメッセージ】</b> 基本的に、ペアワークを行いながら講義を進めます。受け身で講義を聞くだけでなく、クラスメートと話し合いながら内容理解をする講義スタイルですので、受講生には積極的な参加が求められます。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する課題への取り組み姿勢、主体的な学習状況、試験（発表）の評点により行います。	
授業概要	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・筆記用具 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・会話分析の基礎（高木智世・細田由利・森田笑／ひつじ書房／¥3,850／ISBN=9784894768260） ・会話分析入門（申田 秀也・平本 毅・林 誠／勁草書房／¥3,520／ISBN=9784326602964） ・エスノメソドロジー：人びとの実践から学ぶ（前田泰樹・水川喜文・岡田光弘／新曜社／¥2,640／ISBN=9784788510623）	
授業概要	<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2678578	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本講義では、南九州の事例として宮崎県を北九州の事例として佐賀県を取り上げ、伝統文化の中でもなじみの深い伝統的飲食文化、具体的には、地域で長年育まれてきた地酒と副食（おかず）であり、肴の中心を成してきた魚介料理について、両地域を比較しながら九州、さらにはわが国の伝統的食文化について、その特徴を明らかにし、ユネスコの無形文化遺産に登録された和食のルーツをめぐる地理学の旅に受講生をご案内します。
学習センター(コード)	45A		<b>【到達目標】</b> 同じ九州内の2地域を比較検討することによって、共通する文化基層の存在と異なる文化事象の存在に気づき、そういった文化の共通性と相違性の背景に、どのような理由・要因があるのかについて理解できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 導入 日本および九州の伝統的飲食文化の展開 第2回 宮崎県における酒文化の展開 第3回 宮崎県における伝統的魚介料理の展開 第4回 宮崎県における伝統文化を核とする旅 伝統文化の活用法 第5回 佐賀県における酒文化の展開 第6回 佐賀県における伝統的魚介料理の展開 第7回 佐賀県における伝統文化を核とする旅 伝統文化の活用法 第8回 講義の総括
科目名	<b>飲食文化にみる 南・北九州の比較</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 皆さん方にとって、とても身近な食文化に関する講義です。テキストは、2冊購入すると、講義内容がわかりやすいと思いますが、お金がかかるので、テキストがなくてもわかる授業を行います。ただし、その場合でも宮崎県立図書館などでテキストを事前に読んでおいてください。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> ・宮崎だれやみ論 酒と肴の文化地理（中村周作／鉦脈社／¥1,980／ISBN=9784860613082）
担当講師	ナカムラ シュウサク <b>中村 周作</b> 宮崎大学名誉教授		<b>【参考書】</b> ・佐賀 酒と魚の文化地理（中村周作／海青社／¥2,640／ISBN=9784860993399）
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月26日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎県技能検定センター 視聴覚室 (宮崎市学園木花台西2丁目4番地3)		

科目コード	2678586	<b>【授業内容】</b> 私たちのまわりにはたくさんの「描かれたもの」があります。美術館に展示されている難解なテーマの絵画作品も、教科書の角の落書きも、作者の「描く」という行為への欲がはじまりです。そして、目の前の「描かれたもの」をより良くしたいという欲から、様々な絵画技法やメディアが生まれてきました。そんな考えのもと「お絵描きしりとり」から「透視図法」までを体験しながら絵画表現に繋がる「描く」ことについて学んでいきます。 <b>【到達目標】</b> 絵画表現につながる視覚効果を理解し、それらを効果的に自身の作品制作に活用できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 「描く」とは？、伝えるための「描く」：「お絵描きしりとり」を楽しむ 第2回 三次元を「描く」：斜方眼を使って 第3回 色を使って「描く」：色鉛筆を使って 第4回 作品制作としての「描く」：本日の集大成 第5回 三次元を「描く」：透視図法1 第6回 三次元を「描く」：透視図法2 第7回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成1 第8回 作品制作としての「描く」：2日間の集大成2 <b>【学生へのメッセージ】</b> 「描く」ことを楽しめる講義にしたいと思っています。「描く」ことに対しポジティブな気持ちで受講して下さい。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業時間中に制作する作品とその取り組みに加え、授業時間中のレポートを加味して行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 50センチ定規（大手100円ショップで販売しています）、色鉛筆（12色以上のセット）、筆記用具 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> 美術系の方で、鉛筆デッサン用具やコピック等の使い慣れた持参用具の使用は基本的に認めますが、クレヨン等の油性系の素材や筆洗が必要な道具の使用は、他の受講者や会場の関係上、控えてもらう場合があります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	「描く」を学ぶ	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	オオイズミ ヨシヒロ 大泉 佳広 宮崎大学 教育学部准教授 宮崎学習センター客員教員	
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月2日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 教育学部美術棟講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)	

科目コード	2668793	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 この授業では、3つの基礎的な心理学実験を行い、データをまとめ、そのデータを考察することを学びます。予定している実験は、「イメージ測定（SD法）」、「ストループ効果」、「鏡映描写」の3種類です。実験終了後は、得られた結果をレポートとしてまとめていきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	<b>心理学実験3</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方や具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	20名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学の実験とは（実験計画の立案、レポート執筆指導） 第2回 統計に関する基礎的な知識 第3回 実験1「イメージ測定（SD法）」の実施 第4回 実験1「イメージ測定（SD法）」の解説、データ整理、レポート執筆指導 第5回 実験2「鏡映描写」の実施 第6回 実験2「鏡映描写」の解説、データ整理、レポート執筆指導 第7回 実験3「ストループ効果」の実施 第8回 実験3「ストループ効果」の解説、データ整理、レポート執筆指導
担当講師	イノウエ ヒロヨシ <b>井上 浩義</b> 宮崎学園短期大学 保育科教授	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月9日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	<b>【学生へのメッセージ】</b> 実験を実施するにあたってパソコンを使用しますので、基本的な操作は習得されていることを望みます。実験手続きや内容について、疑問があればその場で解決していくよう、授業への積極的な参加を求めます。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的な知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。
授業概要		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・表計算ソフトのExcel（エクセル）が必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 ・電卓、定規、色鉛筆（グラフ作成のため）が必要です。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会 認定心理士資格認定委員会 編／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） 参考書のため、購入の必要はありません。 <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自分で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業では、色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2678527	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> 「リテラシー (literacy)」とは、広辞苑によると「読み書きの能力」だけではなく、「ある分野に関する知識・能力」と説明されています。したがって、本講座のさす、「租税リテラシー」とは、「広く国民が税制に対し自然な状態で基本的な理解ができる能力」と定義したうえで講義を行います。また、租税には欠かすことのできない「会計」についても触れ理解を深めます。</p> <p><b>【到達目標】</b> 租税の基本理論である「租税法主義」を理解できるようになる。また、会計にも触れ、個人所得税の確定申告書について理解できるようになる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 はじめに・租税とは 第2回 会計1 (仕訳) 第3回 会計2 (決算整理) 第4回 財務諸表 (貸借対照表および損益計算書) 第5回 所得税法1 : サラリーマンの確定申告 第6回 所得税法2 : 確定申告 (全般) 第7回 贈与税・相続税 第8回 まとめ</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 初挑戦の方は難しく感じると思います。でも、専門用語に慣れ意味を覚えれば、思うほど難しくはありません。例えば、自転車の初挑戦と似ています。その頃のように、少し頑張ってもらえたらと思います。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、事前学習として指定教科書に目を通すことを勧めます。授業で学修した内容を活用して復習を行い、理解を深めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 指定教科書、電卓 (携帯の電卓機能では対応できません)、筆記用具</p> <p><b>【教科書】</b> ・簿記を学ぶ～経済常識としての簿記入門 (田中弘/税務経理協会/¥1,980/ISBN=4419054387)</p> <p><b>【その他 (特記事項)】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 当日、必要がある場合は、プリントを用意します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	会計と租税リテラシー		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	サカモト ケイコ 坂本 敬子 宮崎大学 地域資源創成学部講師 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月16日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館 3F「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)		

科目コード	2668610	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイト、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。
学習センター(コード)	45A		<b>【到達目標】</b> パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り
科目名	<b>新・初歩からのパソコン</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配付する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。
ナンバリング	110		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
定員	16名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証・システムWAKABAパスワード（ログイン操作を伴う実習があります。）を必ずお持ちください。
担当講師	サカモト マコト <b>坂本 真人</b> 宮崎大学 工学部工学基礎教育センター教授 宮崎学習センター客員教員		<b>【教科書】</b> ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学） ※授業当日に配付します。 ※必要に応じてプリントを配付します。
日程実施時間	11月22日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月23日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）面接授業「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位修得済みの方は登録できません。
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2678519	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> ビジネスには相互の信頼関係づくりが重要です。私たちがビジネスパーソンとして業務を遂行するには有していなければならないスキルがあります。その中でも基本的なスキルとして、ビジネス・コミュニケーション・スキルが重要であると考えます。ビジネス、ビジネスパーソン、信頼関係構築、コミュニケーション、マナー、これらのワードの意味を関連・関係性で理解し、AIの活用が進み、より効率化が図られる現代社会においてこそ必要とされる「ビジネスマナー」を理解し、身に付けたいと考えます。
学習センター(コード)	45A		<b>【到達目標】</b> ・ビジネスには「相互の信頼関係づくり」が重要であることを理解し、ビジネスシーンにおける「人間関係の構築」の基本に気づくことができる。 ・「物事は単体では意味をなさず繋がってこそ意味を成す」を理解し、様々な繋がりがや関連関係性を観察し自ら最適解を見いだすことができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 授業概説(学習内容と到達目標) 第2回 ビジネスマナーの基本 1. ビジネスパーソンとマナー 第3回 ビジネスマナーの基本 2. 自己表現(秘書的センスを応用) 第4回 ビジネスマナーの基本 3. ビジネスの言葉遣い 第5回 ビジネスマナーの応用 1. ビジネス会話と応対マナー 第6回 ビジネスマナーの応用 2. ビジネス電話のマナー 第7回 ビジネスマナーの応用 3. お茶のもてなしと交際のマナー 第8回 ケーススタディと授業のまとめ
科目名	<b>ビジネスマナー入門</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> ビジネスシーンにおいて、相応しい対応の仕方に迷ったことや失敗談をノートに記録(メモ程度)して授業に臨んでください。第8回の授業時に皆さんで考え、最適解を導きだしましょう。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
ナンバリング	110		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	35名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ユキザキ チハル 柚木崎 千春 南九州大学 短期大学部教授		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。
日程実施時間	11月22日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月23日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2)		

科目コード	2678535	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 食肉は動物の筋肉組織に由来する、貴重なたんぱく質源です。生きた動物から得た筋肉は、様々な変化を経て、食肉となり私たちの食卓を飾ります。また、食肉の一部は様々な食肉製品に加工され、その付加価値を高めます。この講義では、私たちの食事の主役となりつつある食肉と食肉製品を科学的な視点で解説し、食肉の品質、調理や加工、健康的な摂取などについて理解を深めます。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	食肉の科学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	カワハラ サトシ 河原 聡 宮崎大学農学部教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月30日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)		
		<b>【到達目標】</b> ・食肉の栄養学的な価値について説明できる。 ・肉の熟成や保存が、食肉の品質に及ぼす影響について説明できる。 ・ハムやソーセージなどの食肉製品の製造工程と品質について説明できる。 ・食肉の衛生品質について理解し、最適な保存方法を提案できる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 肉食の文化 第2回 食肉の栄養 第3回 食肉の起源～筋肉から食肉への変化～ 第4回 食肉の熟成と保存 第5回 食肉の品質①～格付のお話～ 第6回 食肉の品質②～食肉・食肉製品の嗜好性～ 第7回 様々な食肉製品とその製造法 第8回 食肉の衛生	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> この講義を通して、食肉や食肉製品への理解を深め、日頃の食生活をより豊かなものにしていただけると嬉しいです。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 受講前に日頃の食事でのようなものを食べたか、感じた味や匂いなど、自身の食行動と経験を言語化できるように、よく観察しておいてください。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
		<b>【参考書】</b> ・乳肉卵の機能と利用 (玖村朗人、若松純一、八田一 編著/アイ・ケイコーポレーション/¥4,070/ISBN=9784874923542)	

科目コード	2675277	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この講義では、不安障害や発達障がいなどの精神疾患、論理療法や行動療法などの認知行動療法の心理療法、さらにストレスとその対処法などについて学びながら、臨床心理学を概観します。できるだけ日常生活でも役立つようなトピックを扱います。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	臨床心理学		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	ミヤノ ヒロユキ 宮野 秀市 宮崎大学 安全衛生保健センター講師		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 11月30日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 講義室 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)		
		<b>【到達目標】</b> 心理社会的ストレスモデル、論理療法、オペラント条件づけなどの心理学的枠組みを用いて、さまざまな問題を分析し、適切な問題解決ができるようになる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 不安障害(限局性恐怖症やパニック症、強迫症、PTSDなど)とその治療に効果のあるエクスポージャー療法について学ぶ 第2回 発達障がいと支援について学ぶ 第3回 不適応の原因となっている非合理的な考え方を変える論理療法を学ぶ 第4回 ストレスとその対処法について学ぶ 第5回 ヒトや動物の行動変容技法であるオペラント条件づけ/行動分析(強化の原理)を学ぶ 第6回 ヒトや動物の行動変容技法であるオペラント条件づけ/行動分析(弱化的原理)を学ぶ 第7回 ヒトや動物の行動変容技法であるオペラント条件づけ/行動分析(消去の原理)を学ぶ 第8回 カウンセラーの資格、臨床心理士と公認心理師について学ぶ	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 補助教材(レジュメ)のプリントを配付する時限もあります。成績評価の試験の際は、講義のノートとレジュメを参照可にします。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> ノートや筆記具以外で特に必要なものはありません。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	

科目コード	2668815	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理検査はパーソナリティの測定に用いられるものです。この授業では、まず心理検査の基本的な内容について学びます。その後、各心理検査を体験し、その内容や結果、考察についてレポートにまとめます。また、心理検査を体験すると共に、倫理的配慮や人間理解の奥深さ、難しさについても学んでいきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの検査すべてにレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	45A		<b>【到達目標】</b> 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理検査についての概説 第2回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」実施と結果の整理 第3回 「楽観主義尺度・主観的幸福感尺度」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第4回 「YG性格検査」実施と結果の整理 第5回 「YG性格検査」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第6回 「バウムテスト」実施と結果の整理 第7回 「バウムテスト」解釈とレポートの書き方、執筆指導 第8回 心理検査における倫理的配慮、まとめ
科目名	心理検査法基礎実習		<b>【学生へのメッセージ】</b> 授業内では様々な専門用語がでてきますが、ただそれを覚えるだけではなく、「心」や「行動」の考え方を学ぶという姿勢を心がけてください。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学修した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	25名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> レポートは、手書きでもパソコンを使用して作成してもかまいません。 空き時間等でノートパソコンを使用してレポートを作成したい方は、本会場にはプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 HBの鉛筆と消しゴムを用意してください。
担当講師	オザワ タクヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月7日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17)		

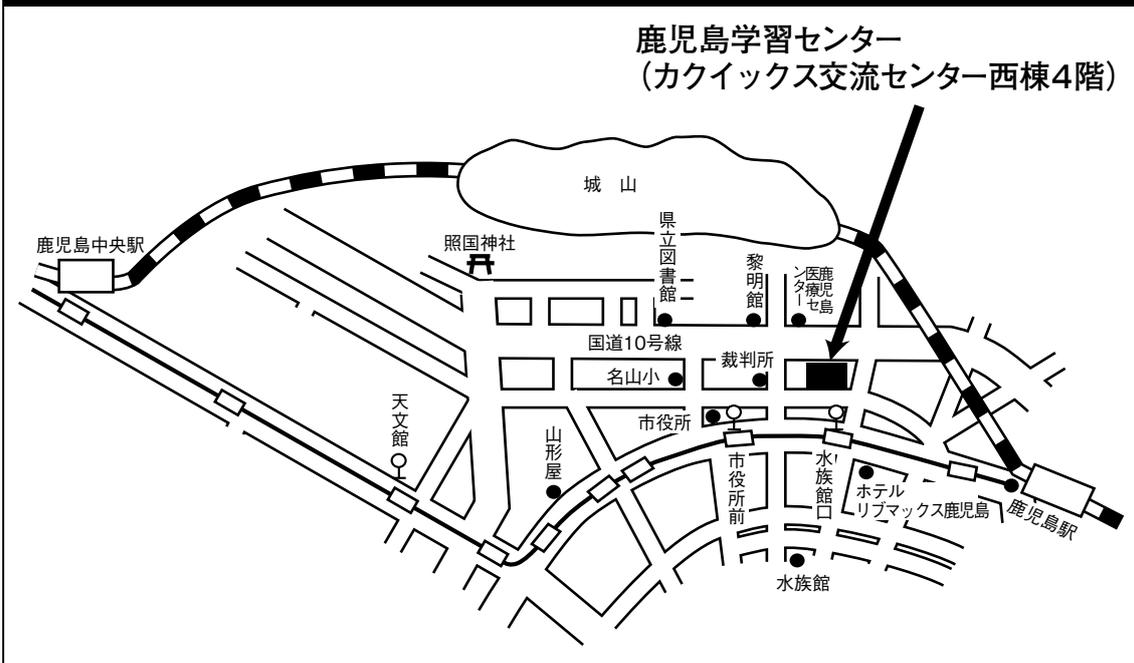
科目コード	2678594	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 1945年にヒトラー政権が崩壊したのち、ドイツは長い東西冷戦を経て、ベルリンの壁が崩壊し、1990年に再統一を果たしました。16年間続いたメルケル政権は2021年に幕を閉じましたが、現在のドイツはアメリカ、ロシア、中国などとの不安定な関係の中で変革の途上にあります。本科目では、自然、政治、歴史、宗教、芸術など複数の視点から現代のドイツの状況を分析し、その一貫性と矛盾を探ります。さらに、ナチス時代の歴史が現代とどのように結びついているのかを、「想起の文化」の観点から考察します。過去の記憶の継承や変容が、現代社会や政治にどのような影響を与えているのかを理解し、歴史と現在の関係性を深く考察することを目指します。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	<b>現代ドイツの 社会と文化</b>		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コヤ タケシ <b>胡屋 武志</b> 宮崎大学 多言語多文化教育研究センター教授 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月14日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県婦人会館 3F「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)		
		<b>【到達目標】</b> ・現代ドイツ社会の全体的なイメージを形成し、このイメージとともに異文化としてのドイツを理解できるようになる。 ・一つの社会を多角的に見ることを通じて、通常とは違った角度から自分自身と自分が属する社会を考察することができるようになる。 ・善悪や美醜、価値の有無などに基づく二項対立思考を緩和し、知らぬ間に身に付けている先入観を自覚し、そこから抜け出すことができるようになる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 現代ドイツの概要 第2回 ドイツ人の自然観と宗教観(1) 第3回 ドイツ人の自然観と宗教観(2) 第4回 ヒトラー、ナチスの時代と過去の克服(1) 第5回 ヒトラー、ナチスの時代と過去の克服(2) 第6回 ベルリンの壁と東西分断(1) 第7回 ベルリンの壁と東西分断(2) 第8回 総論に代えて-現代ドイツにおける「想起の文化」-	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 本科目では、現代のドイツについて知ること、日本の新しい側面を知るきっかけになることも目指されます。質問やディスカッションの時間を取ることも考えています。皆さんの積極的な参加を期待しています。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	

科目コード	2678543	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本講義では、メンタルヘルスをセルフマネジメントするための見識を深めていきます。人々の健康は身体的、精神的、社会的健康が有機的に連動して保たれていることを前提にメンタルヘルスを考えていきます。また、人類の進化過程を踏まえてメンタルヘルスに関する歴史を辿り、どのように豊かな人生を過ごしていくかを検討していきます。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	<b>精神保健学</b>		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	カワムラ ミチコ <b>川村 道子</b> 宮崎県立看護大学 看護学部教授 宮崎学習センター客員教員		
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 12月21日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎県立看護大学 多目的ホール (宮崎市まなび野3丁目5番地1)		
		<b>【到達目標】</b> ・人間の健康にとって、精神の働きが重要であることを理解できる。 ・ライフサイクルを通して精神の危機状態を知り、精神保健としての心のありようを理解できる。 ・大きなストレスに追い込まれた時に、人間の精神と身体がどのように変化するか理解できる。 ・精神の健康を保つための具体的方法について理解できる。 ・心の健康を保持・増進するため自己理解の必要性が理解できる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 現代社会の特徴とメンタルヘルス 第2回 自己のメンタルヘルスの客観視 第3回 24時間の生活と精神保健① 第4回 24時間の生活と精神保健② 第5回 24時間の生活と精神保健③ 第6回 身体と精神保健 第7回 社会関係と精神保健 第8回 まとめ	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 本講義での学びを、これからの人生を豊かに過ごすために活かしていただきたいと考えています。知識の獲得が目的ではなく、実践できることを目指します。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。	

# 鹿児島学習センター

(コード：46A)

## 鹿児島学習センター案内図 ☎099-239-3811



【所在地】〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(カクイックス交流センター西棟4階)

### 【交通アクセス】

- (1) JR九州  
鹿児島駅から徒歩10分  
鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- (2) 電車・バス  
水族館口下車徒歩4分

### 【駐車場】

- ・カクイックス交流センターの地下1階、地下2階が駐車場になっています。  
(館内の行事等によっては、満車になる場合もあります。)
- ・放送大学鹿児島学習センター事務室(西棟4階)で学生証を提示し、駐車券の認証を受けると、駐車料が無料になります。  
(無料の取り扱いは、放送大学鹿児島学習センター事務室の閉所後、30分までです。)

### 【その他連絡事項】

面接授業は鹿児島会場(※カクイックス交流センター内)と奄美会場(県立奄美図書館4階)で開講します(一部例外あり)。面接授業時間割表をよく確認し、受講会場を間違えないように注意してください。

- ※カクイックス交流センター内会場  
鹿児島学習センター講義室(西棟4階)  
大研修室第3(東棟4階)  
大研修室第4(東棟4階)

科目コード	2678632	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> 発酵食品といえば、味噌、醤油、清酒、お酢、ヨーグルトそして焼酎等、食卓には欠かすことのできない食品です。これらの発酵食品に関わる微生物がなぜアルコールや乳酸、酢酸、芳香成分などを作るのか、なぜ美味しさや栄養価、保存性が向上するのか、それに関わる微生物の役割やその製造法、健康機能性等から発酵食品のひみつを解き明かします。</p> <p><b>【到達目標】</b> 発酵食品とはどのようなものなのか、関与する微生物の役割や食品の健康機能性などについて理解し、発酵食品について1時間程度の話ができるようになる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 発酵食品に関わる微生物（麹菌、酵母、乳酸菌など） 第2回 発酵食品いろいろ（乳酸菌飲料、味噌、醤油、酢） 第3回 発酵食品に関わる酵素 第4回 酒の功罪 第5回 芋焼酎と黒糖焼酎 第6回 香の科学 第7回 発酵食品の健康機能性 第8回 鹿児島県特産の発酵食品いろいろ</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 発酵食品とそれに関わる微生物、健康機能性などについて、基礎的なことから実際の応用まで幅広く講義したいと思います。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> 発酵食品に欠かすことのできない微生物について参考書等で自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b> ・発酵食品学（小泉武夫／講談社／¥4,180／ISBN=9784061537347） 本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。 ・焼酎の科学 発酵、蒸留に秘められた日本人の知恵と技（鮫島吉廣、高峯和則／講談社／¥1,100／ISBN=9784065268070） 本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	発酵食品のひみつ		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	タカミネ カズノリ 高峯 和則 鹿児島大学 学術研究院農学系教授		
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2678721	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b> 建築のカタチはどの様にして決められるのでしょうか？（本講義の「カタチ」は思想、技術、法則などを経て得られた形態を指しています）建築の形態を決める要因は、施設の機能性や安全性、室内の快適性、工法や構造、コスト、関連法規、人体寸法、人の行動や認識、更に芸術性などと非常に多岐に亘ります。本講義では、建築計画学や建築の構造形式、人の行動や認識、建築における寸法、日本住宅の変遷、美学に関する項目を取り上げ、建築のカタチを考える上での基礎知識を習得することを目的とします。</p> <p><b>【到達目標】</b> 建築の形態（カタチ）について、建築計画における機能や寸法、構造形式、知覚認識、空間構成、日本住宅の歴史、美学などを踏まえた考察を行い、説明することが出来る。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 建築をデザインすること 第2回 建築における計画学 第3回 建築の構造と形 第4回 建築の中の寸法 第5回 空間の認識と人の行動 第6回 日本における住宅の変遷 第7回 海外現代建築の形態的多様性 第8回 建築における視覚的快適性</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 授業では講義と実例のスライド写真などを用いて解説し、建築のカタチを考える上で基本となる事柄を学びます。修得した知識によって建築の理解が深まるように頑張りましょう。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> 日本や海外の建築家の作品（建築物）をインターネットや雑誌等で調べておいてください。建築の専門雑誌としては「新建築」「新建築 住宅特集」「a+u」（3つとも新建築社刊）などがあります。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【参考書】</b> ・建築のしくみ 住吉の長屋/サヴォワ邸/ファンズワース邸/白の家（安藤直見・柴田晃宏・比護結子／丸善出版／¥3,960／ISBN=9784621079614） ・空間要素—世界の建築・都市デザイン（日本建築学会／井上書院／¥3,300／ISBN=9784753017393）</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	建築のカタチを考える		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	シバタ アキヒロ 柴田 晃宏 鹿児島大学 学術研究院工学系教授		
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2678640	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 第二次世界大戦後の日本の政治の歩みについての講義です。敗戦と占領から高度経済成長を経て、現在の長期停滞の時代に至るまで、日本の政治は大きな変化を遂げてきました。政治家や政党の行動、制度の変化などを中心に説明し、歴史を通して日本政治の現状と課題を考えていくことにします。また、適宜、鹿児島県の戦後史との関連にも触れていくことにします。
学習センター(コード)	46A		<b>【到達目標】</b> ・戦後の日本政治の歩みの基本的な流れについて、政党政治と政治家の役割の変化に関する政治学的分析を踏まえて、説明することができる。 ・日本政治の変化と関連づけて、鹿児島県の政治の変化を説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 占領期－戦後日本政治の出発 第2回 55年体制 第3回 高度成長と自民党政治の安定化 第4回 保革伯仲と田中支配 第5回 新自由主義の台頭と冷戦の終焉 第6回 政界再編の時代 第7回 21世紀の日本政治 第8回 戦後日本政治とかがしまの政治
科目名	<b>日本の政治・ かごしまの政治</b>		<b>【学生へのメッセージ】</b> 政治の世界は絶えず変化をしています。日本の政治がどのように変化してきたのか、変化はなぜ生じてきたのか、また、そのなかで鹿児島県の政治はどのように変化してきたのか、皆さんと一緒に考えることにします。歴史と政治に関心をもって受講してください。
科目区分	導入科目：社会と産業		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヒライ カズオミ 平井 一 臣 鹿児島大学名誉教授		<b>【参考書】</b> ・歴代首相物語 増補新版（御厨貴 編／新書館／¥2,200／ISBN=9784403251085） ネットショッピングなどでも入手できます。 ・昭和史 戦後篇1945－1989（半藤一利／平凡社／¥990／ISBN=9784582766721）
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月26日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2678748	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、理解しやすく説得力のあるプレゼンを行うことを目的として、プレゼンの理論を学び、プレゼンの相互批判を通して実践的なプレゼン技法を修得します。そのためにバフチンの対話理論に基づくプレゼン観、説得力の高め方、ソリューションを導くための考え方、ストーリーの構成、図解によるビジュアルな資料作成技法などを学びます。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	<b>プレゼンテーションの理論と実践</b>	
科目区分	専門科目：情報	<b>【到達目標】</b> ・つかみ・序論・本論・結論といった基本的なストーリーが構築できる。 ・エビデンスを援用し、破綻のない論理を用いた説得力のある説明ができる。 ・見やすく、理解の助けとなるような視覚資料が作成できる。 ・聞き取りやすい発声、聴衆の注意を引き込む表現、誠実で過不足のない質疑応答ができる。
ナンバリング	320	
定員	10名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 プレゼンとは何か：バフチンの対話理論とアクターネットワーク理論 第2回 (演習) テーマの骨子をまとめる・アイデア発表の準備 第3回 (演習) プレゼンのアイデアの発表と批判的検討 第4回 プレゼンのストーリー構成・スライド作成の注意点・プレゼン実施上の注意点、(演習) リハーサルの準備 第5回 (演習) リハーサル(1) 第6回 (演習) リハーサル(2) 第7回 (演習) プレゼン本番の準備 第8回 受講生によるプレゼン本番および相互評価
担当講師	カトウ ヒロシ 加藤 浩 放送大学教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月26日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	<b>【学生へのメッセージ】</b> 本授業では、最後に全員に7～10分程度のプレゼンをしていただきます。プレゼンのレベルでいえば、多少の経験がある人～中級者向けになります。グループディスカッションとひとり数回のプレゼンを含みます。プレゼンソフトの使い方は、本授業の中では教えませんので、使えることを受講の前提とします。
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	
授業概要		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・受講前に自身の発表テーマを考えておいてください。テーマは、何らかの主張・提案・提言を含み、聞き手の賛同を得ることを目的とする内容に限ります。受講はプレゼンソフトが使えることが前提です。ある程度、パソコンやブラウザの操作に慣れていることも必要です。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価はひとり7～10分程度の最終プレゼンとその相互評価により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 自分の発表のテーマに関する論拠・参考となるような本・資料・データ類 1. 持参する端末 ノートパソコン 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いません。 ・プレゼンテーションソフトが必要です。PowerPointやGoogleスライド等種類は問いませんが、授業の中では使用法は教えませんので、それを使用できることが前提です。 ・配布資料はPDFで提供しますので、何らかのPDF Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。
		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
		<b>【参考書】</b> ・レポートの組み立て方（木下是雄／筑摩書房／¥858／ISBN=9784480081216）
		<b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2668777		<b>【授業内容】</b> 心理学の3つの実験（パーソナルスペース、自由再生による記憶の系列位置効果、顔面フィードバック）を取り上げます。それらを通して、心理学実験の方法論、データ分析、レポートの書き方を学ぶことを目的とします。受講者は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	<b>心理学実験2</b>		
科目区分	専門科目：心理と教育	授 業 概 要	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 心理学研究の一連の流れを体験し、またレポートの基本的な構造について理解したうえで、実験の全体像を報告できるようになる。
ナンバリング	320		
定員	24名		
担当講師	ヤマサキ マリコ 山崎 真理子 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授		
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月2日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		
			<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学研究法（研究法の種類と特徴）、レポートの書き方 第2回 実験①パーソナルスペース：事前説明、実験実施 第3回 実験①パーソナルスペース：事後説明（データ整理、レポート作成に向けて） 第4回 実験②顔面フィードバック：事前説明、実験実施 第5回 実験②顔面フィードバック：事後説明（データ整理、レポート作成に向けて） 第6回 実験③自由再生による記憶の系列位置効果：事前説明、実験実施 第7回 実験③自由再生による記憶の系列位置効果：事後説明（データ整理、レポート作成に向けて） 第8回 心理学研究法（実験に関する用語解説、研究倫理について）
			<b>【学生へのメッセージ】</b> 実際に実験を体験することで、研究関連の専門用語が理解しやすくなるはずです。実習中は各段階の作業をひとつずつこなし、帰宅後に全体について時間をかけて繰り返し復習することを推奨します。
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 事前に公益社団法人日本心理学会倫理規程（学会HPでPDFをダウンロード可。特に、研究一般、実験研究の節）に目を通してください。また統計学の復習をしておくことと受講しやすいです。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 当日、筆記用具（各自でメモを取ったり、実験結果を記録します。）と電卓（あるいは電卓機能付き携帯電話）を持参してください。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
		<b>【参考書】</b> ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（公益社団法人日本心理学会認定心理士資格認定委員会（編）／株式会社金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）	
		<b>【その他（特記事項）】</b> 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。	

科目コード	2668793	<b>【授業内容】</b> 心理学における実験的研究を3つ（鏡映描写、触二点閾、囚人のジレンマ）取り上げます。 心理学実験3では、心理学の初学者が最低限知っておきたい実験をいくつか紹介したいと考えています。この授業をとおして、心理学の基礎知識、方法を身につけ、様々な視点からの人間理解を進めてもらいたいと思います。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ユウクラ ミユキ 有倉 巳幸 鹿児島大学理事・副学長	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月9日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	
授業概要	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 心理学における研究法の基礎を理解した上で、実験を実施できる。 収集したデータについて分析された結果を適切に整理し、解釈することができる。 データや収集した知見を踏まえて考察し、心理学論文に沿ってレポートにまとめることができる。	
要	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学実験の基礎（心理学実験についての基本的な考え方やレポートの書き方など） 第2回 心理学実験の基礎（以下の実験で用いる分散分析などの統計処理について） 第3回 鏡映描写（知覚－運動学習）（1）（key word：知覚運動学習、両側性転移） 第4回 鏡映描写（知覚－運動学習）（2） 第5回 触二点閾の測定（1）（key word：触二点閾、精神物理学的測定法、弁別閾、極限法） 第6回 触二点閾の測定（2） 第7回 囚人のジレンマ（1）（key word：囚人のジレンマ、応報戦略、信頼） 第8回 囚人のジレンマ（2）	
	<b>【学生へのメッセージ】</b> 心理学の基礎的な実験の方法を経験することで、科学的な視点で人間行動を理解できるようになってもらいたいと思います。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。	
	<b>【受講前の準備学習等】</b> 統計処理の考え方や手法（平均、標準偏差、推測統計（分散分析）、因子分析）については時間をとって説明しますが、事前学習をお勧めします。また、三つの実験についてもネットで実験名を検索し、関係する書籍や文献を読んでください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。	
	<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートは返却します。	
	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具	
	<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
	<b>【参考書】</b> ・心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人、坂田省吾／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658） 本書は、鹿児島学習センター図書室でも閲覧できます。	
	<b>【その他（特記事項）】</b> 内容の一部は、2010年度に開講した「心理学基礎実験A」、2011・2012年度に開講した「社会心理学基礎実験」と重複しています。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。	

科目コード	2678667	<b>【授業内容】</b> 鹿児島市立美術館は、日本近代洋画の父と呼ばれる黒田清輝を顕彰するために、九州でも逸早く昭和29年に開館しました。鹿児島ゆかりの作家や、鹿児島の風土をモチーフとした作品、また、19世紀末以降の西洋美術をコレクションしている美術館です。それぞれ担当の学芸員が、所蔵作品を中心に西洋と鹿児島の美術について専門的な講義を行うことで、文化史や地域論について学びます。 <b>【到達目標】</b> 鹿児島市立美術館の所蔵品を中心に、印象派以降の西洋美術の流れと、鹿児島が育んだ美術の特徴を理解し、説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 印象派について—モネ、ルノワール、セザンヌ（前野） 第2回 近代彫刻とは何か—ロダン、ブールデル、マイヨールを中心に（楠元） 第3回 戦後の美術について—フォンターナ、ウォーホル、ステラを中心に（小牟禮） 第4回 薩摩の絵師について（佐々木） 第5回 黒田清輝と近代洋画—黒田、藤島、和田（稲葉） 第6回 橋口五葉の世界（花山） 第7回 桜島を描いた画家たち（田村） 第8回 まとめ：美術と歴史、美術と地域（谷口） <b>【学生へのメッセージ】</b> 西郷隆盛や大久保利通による明治維新のイメージの強い鹿児島ですが、一方で多くの巨匠を輩出した洋画王国と呼ばれる土地柄でもあります。その歴史的、地理的背景と育まれた芸術文化をともに考えましょう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・鹿児島市立美術館所蔵作品選集（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥2,000） ・Pocket Museum vol.1 桜島コレクション（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥800） ・Pocket Museum vol.2 黒田清輝・藤島武二・和田英作（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥800） ・Pocket Museum vol.3 西洋の近代絵画（鹿児島市立美術館編集／鹿児島市立美術館／¥800） 直接ご購入される場合は、鹿児島市立美術館 1階の総合案内窓口で販売いたしております。郵送でのご購入を希望される場合は、鹿児島市立美術館にお問い合わせください。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・鹿児島市立美術館観覧料（各日市内450円、市外600円）、または年間パスポート（市内900円、市外1,200円。1年間有効）が必要です。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「面接授業開設科目一覧」P.5参照）。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	西洋の美術／ 鹿児島の美術	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	<small>クスマト カヨコ</small> <b>楠元 香代子</b> 鹿児島市立美術館長 <small>ヤグチ ユウゾウ</small> <b>谷口 雄三</b> 鹿児島市立美術館副館長 <small>マエノ コウイチ</small> <b>前野 耕一</b> 鹿児島市立美術館 主幹・学芸係長 <small>コムレ ユウイチ</small> <b>小牟禮 雄一</b> 鹿児島市立美術館 学芸主査 <small>タムラ ケイコ</small> <b>田村 桂子</b> 鹿児島市立美術館 学芸主査 <small>イナバ マリコ</small> <b>稲葉 麻里子</b> 鹿児島市立美術館 学芸主査 <small>ハナヤマ ジュンジ</small> <b>花山 潤治</b> 鹿児島市立美術館 学芸アドバイザー <small>ササキ ケイコ</small> <b>佐々木 恵子</b> 鹿児島市立美術館 学芸嘱託員	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月16日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島市立美術館 (鹿児島市城山町4番36号)	

科目コード	2678713	<b>【授業内容】</b> 「わかりやすく『地域課題と政策』」では、地域の抱える課題をどのように解決するかをテーマに皆で考えます。 地域を取り巻く環境は、少子高齢化、労働力不足、地理的ハンディキャップ、災害の発生などの様々な課題を抱えている一方、特に鹿児島県は多様な自然や観光資源、豊かな農林水産物や特産品、歴史や文化などに恵まれています。 人口減少社会の到来、グローバル化、AI化の進展など時代の転換期に当たり、地域住民として、地方自治体として、どのように地域課題を認識・解決し、多様な可能性を生かして豊かな地域社会をつくっていくかを考えることにより、広く政策についての理解を深めます。 <b>【到達目標】</b> 様々な地域課題を認識・理解するとともに、課題解決の方法について大まかに構想できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 はじめに／人口減少と子育て支援〔片野田〕 第2回 グローバル化の中の国際交流施策と輸出拡大に向けた取組〔片野田〕 第3回 農山漁村や離島の活性化〔桑代〕 第4回 大規模災害に備える〔桑代〕 第5回 共生協働の地域社会づくり〔崎野〕 第6回 地域の魅力発信〔崎野〕 第7回 インバウンドと地域資源の磨き上げ〔西〕 第8回 政策づくりと組織／まとめ〔西〕 <b>【学生へのメッセージ】</b> 鹿児島県の課題や政策を中心に、県庁の実務家（経験者を含む）が中心になり授業を担当します。講義だけでなく、なるべく質疑応答や意見交換の時間も確保し理解の向上に努めます。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容やテーマを参考に、県やお住まいの市町村の取組についてホームページ、新聞記事、広報紙等で調べるなど、事前の学習・情報収集を勧めます。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日にプリントを配布します。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> 2019～2024年度、各第2学期に開講した「自治体行政論1」「自治体行政論2」「自治体行政論3」、「鹿児島県の地域課題と政策1」、「鹿児島県の地域課題と政策2」、「わかりやすい『地域と政策』」の内容を一部含みますが、アップデートし最新情報の提供に努めます。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	わかりやすく『地域課題と政策』	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	<small>ニシ ケイイチロウ</small> 西 啓一郎 城山観光株式会社 常勤顧問 <small>クワシロ タケヒコ</small> 桑代 毅彦 鹿児島県 観光・文化スポーツ部長 <small>カタノダ タクヨウ</small> 片野田 拓洋 鹿児島県商工労働水産部 販路拡大・輸出促進課 主幹(連携担当) <small>サキノ ツシム</small> 崎野 剛 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授	
日程実施時間	11月15日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月16日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島県学習センター 講義室	

科目コード	2678616	授 業 概 要	<p><b>【授業内容】</b>          鹿児島のマリンポートには今年もかなりの数のクルーズ船が寄港しています。また陸路、空路で鹿児島を訪れる外国人観光客は急増しています。そのような状況のもと、外国人を鹿児島に歓迎するための接遇表現や、道案内の表現、あるいは鹿児島の観光地を紹介する簡単な英語表現を学習し、実際に役立てることができるようにします。          オリジナルのテキストを用いて鹿児島の現実に即した学習をします。</p> <p><b>【到達目標】</b>          ・鹿児島を訪れるインバウンド客の概況やニーズを知ることができ、外国人観光客に気軽に話しかけられるようになる。          ・講習を通じて、簡単な英語で話しかけるための英語の表現を学び、英語による簡単な案内ができるようになる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>          第1回 導入、外国人に話しかけるコツ、基本表現          第2回 道案内の会話          第3回 レストランでの会話（鹿児島の食）          第4回 買い物をするときの会話（お土産の説明）          第5回 鹿児島の紹介（鹿児島県、鹿児島市）          第6回 鹿児島の紹介（桜島）          第7回 鹿児島の紹介（仙巖園）          第8回 復習 まとめ</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>          英語のレベルは初級から中級者を対象としています。単語だけでも良いので「伝えたい」という内容を常に意識して授業に臨むようにして下さい。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>          最寄りの観光案内所等で英語のパンフレットを入手したり、インターネットのYouTubeで外国人が鹿児島を紹介しているものなどを見るようにしておいてください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>          成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>          辞書（電子辞書でも可）</p> <p><b>【教科書】</b>          授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b>          この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	観光とおもてなしのための英語		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	ヤマサキ ミチコ 山崎 美智子 有限会社アイエス通訳 システムズ代表取締役社長		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月30日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第4（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2678705	<b>【授業内容】</b> 心理アセスメント（心理査定）は、心理的な援助を必要としている人を多角的・多層的に理解するだけでなく、生活環境等との関係性も含めて全体的に把握して、支援に役立てていく営みです。また、そのための方法として、観察法や面接法、心理テスト（質問紙法・投映法等）があります。本講義では、心理アセスメントの中核となる病院や相談機関におけるあり方を主軸にして、そこでの基本的な考え方や仕組みについて理論的に学んでいきます。 この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（138頁参照）
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理アセスメントの基礎	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	セキヤマ トオル 関山 徹 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授	
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月30日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	

授業概要

**【到達目標】**

- ・心理アセスメントに臨む姿勢と倫理を理解し、収集すべき情報とその整理の仕方の基本について説明できる。
- ・パーソナリティの考え方や質問紙法・投映法の仕組みの基礎について説明できる。
- ・知能の考え方や知能検査の仕組みの基礎について説明できる。
- ・観察法と面接法の考え方や仕組みの基礎について説明できる。
- ・総合的なアセスメントの基礎について説明できる。

**【授業テーマ】**

- 第1回 心理アセスメントに臨む姿勢（科学性・共感性）と倫理
- 第2回 収集すべき情報とその整理の仕方
- 第3回 心理テスト（1）：パーソナリティの考え方や質問紙法の仕組み
- 第4回 心理テスト（2）：知能の考え方や知能検査の仕組み
- 第5回 心理テスト（3）：投映法の考え方やその仕組み
- 第6回 心理テスト（4）：投映法を用いたパーソナリティ等の理解
- 第7回 観察法・面接法の考え方や仕組み
- 第8回 総合的なアセスメント：初回面接（インターク面接）をめぐって

**【学生へのメッセージ】**

本講義では、個別の心理テスト等の実施法を伝えるのではなく、心理的に苦しんでいる人の支援に役立つアセスメントはいかにあるべきかを第一に考えながら、科学性と共感性の両方を大切にしながら進めていきます。

**【受講前の準備学習等】**

臨床心理学や統計学を初めて学ぶ人は、以下の参考書を事前に読んで、専門用語に馴染んでおいてください。

**【成績評価の方法】**

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

**【教科書】**

授業当日にプリントを配付します。

**【参考書】**

- ・心理アセスメントの理論と実践：テスト・観察・面接の基礎から治療的活用まで（高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太（編著）／岩崎学術出版社／¥3,960／ISBN=9784753311668）  
※本講義の内容全般の理解に役立つ基本書籍
- ・心理的アセスメント（津川律子・遠藤裕乃（編）／遠見書房／¥2,860／ISBN=9784866160641）  
※「心理アセスメントの理論と実践」よりも簡略な内容の図書
- ・心理統計学の基礎：統合的理解のために（南風原朝和／有斐閣アルマ／¥2,420／ISBN=9784641121607）  
※心理アセスメントの科学性や質問紙法・知能検査の仕組みを理解するために役立つ書籍
- ・はじめて学ぶパーソナリティ心理学：個性をめぐる冒険（小塩真司／ミネルヴァ書房／¥2,750／ISBN=9784623056842）  
※パーソナリティについて理解するために役立つ書籍

科目コード	2678756	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 鹿児島県は温暖で、世界自然遺産に登録された屋久島、奄美大島、徳之島をはじめ多くの離島を有しています。海岸に目を向けると、日本三大砂丘のひとつである吹上砂丘もあります。桜島をはじめ多くの活火山も分布しており、自然に大変恵まれた地域です。他方、鹿児島は全国的にみても土砂災害の多い県です。過去には土砂災害に加え、海岸地域での飛砂害も発生しています。本授業では鹿児島の自然環境を理解し、自然がもたらす土砂災害とその発生の仕組みなどについて考えます。 <b>【到達目標】</b> 自然がもたらす土砂災害とその発生の仕組みなどについて、鹿児島の自然環境（気候、地形、地質など）を踏まえて説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 鹿児島の自然環境（気候、地形、地質など）と土砂災害 第2回 土砂災害の発生の仕組み 第3回 鹿児島県で発生した土砂災害を知る（1993年鹿児島豪雨災害を中心に） 第4回 活火山地域で発生した土砂災害を知る（1914年桜島大正大噴火災害を中心に） 第5回 近年の土砂災害を知る（2017年九州北部豪雨災害など） 第6回 森林を主とした植物の持つ防災機能 第7回 海岸防災林の機能と自然環境① 第8回 海岸防災林の機能と自然環境② <b>【学生へのメッセージ】</b> 鹿児島県はなぜ土砂災害が多いのでしょうか。また、森林はどんな防災機能を発揮しているのでしょうか。さらに、海岸に分布する森林はなぜ造られ、どんな機能を発揮してきたのでしょうか。一緒に考えましょう。各授業の終わりには、理解度を測るためのふり返しシートを作成して頂く予定です。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	鹿児島の自然環境と土砂災害		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	テラモト ユキヨシ 寺本 行 芳 鹿児島大学 学術研究院農学系教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月30日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	カクイクス交流センター 大研修室第3（東棟4階） (鹿児島市山下町14-50)		

科目コード	2678730	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 今年2025年は日本近代文学を代表する文豪・夏目漱石が作家デビューしてから120年目に当たります。それをきっかけにしてこの授業では、だれもがその名前は知っているながら実際にはなかなか読むことのない、処女作『吾輩は猫である』を改めて読み直してみたいと思います。新聞小説作家になってから漱石が書いた「小説」らしい「小説」とは一味も二味も違う、多彩な魅力を持ったこの作品を様々な角度から読んで、その可能性を探ってみたいと思います。 <b>【到達目標】</b> 1、「文学研究」と「文学鑑賞」の違いを理解する。 2、文学作品の読解を通じて、それを生み出した社会のあり方を理解する。 3、講義で受講した内容を自分の言葉で説明できる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 名無しの猫と漱石の命名恐怖 第2回 猫の世界の消滅と「吾輩」の変質 第3回 人間語がわかる猫と猫語がわからない人間 第4回 初版本『吾輩ハ猫デアル』のブックデザイン 第5回 鼠捕りと日露戦争 第6回 洗湯と明治日本のエネルギー革命 第7回 恋愛と結婚をめぐる物語：ロマンティック・ラブへの希求と幻滅 第8回 明治のニューファミリー・苦沙弥先生のお家庭生活 <b>【学生へのメッセージ】</b> 授業はテキストを読みながら話を進めていきますので、すでに取り扱う作品を他の本でお持ちの場合も、必ず指定されたテキストを購入して持ってきてください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 必ず事前に作品を読んで、授業に臨んでください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 指定された『吾輩は猫である』の教科書 <b>【教科書】</b> ・吾輩は猫である（夏目漱石／新潮文庫／¥693／ISBN=9784101010014） ※各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	『吾輩は猫である』を読む		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ムラセ シロウ 村瀬 士 朗 鹿児島国際大学 国際文化学部教授		
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 12月7日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2678675	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本講義は「数学を楽しむ」をテーマに、数学の魅力を身近に感じてもらうことを目指します。公式や計算に縛られるのではなく、数学のもつ美しさや不思議さ、日常生活や芸術、自然の中に潜む数学的な構造に触れることで、数学を新たな視点で捉えるきっかけを提供します。 パズルやゲーム、図形の美しさ、数字の不思議、確率の驚きなど、具体的に興味深いトピックを通じて「考える楽しさ」を体験していただきます。 専門的な数学の知識は必要ありません。数学に苦手意識のある方でも安心して取り組める内容です。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	<b>娯楽の数学</b>		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	210		
定員	30名		
担当講師	アオヤマ キワム <b>青山 究</b> 元鹿児島大学 学術研究院理学系講師		
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 12月14日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		
		<b>【到達目標】</b> ・立体の切断や畳み方を通じて空間認識を深め、特定の条件に従って立体を切断したり展開図から立体を組み立てることができる。 ・パリティや2進数の概念を理解し、論理的思考を用いて問題を解決できるようになる。 ・パズルを解く工夫を通じて数学的推論ができるようになる。 ・何事にも適切に加減乗除して正しく理解できるようになる。	
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 立体を真っ二つに切って楽しむ 第2回 パリティ(奇偶性)を楽しむ 第3回 立体を畳んで楽しむ 第4回 川渡りパズルを楽しむ 第5回 柔らかい幾何学を楽しむ 第6回 偽金貨パズルを楽しむ 第7回 2進数を楽しむ 第8回 加減乗除くらは計算して楽しむ	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> サインコサイン出てきません、微分積分いたしません。数学の潜むパズルなどを解いて頭の無駄遣いをします。なお、授業で使うパズル等は自作していただきます、こちらも楽しみ下さい(材料はこちらで用意します)。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> ハサミ、セロテープ	
		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。	
		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(別冊子「面接授業開設科目一覧」P.5参照)。	

科目コード	2678683	<b>【授業内容】</b> 博物館法によって水族館が博物館の一館種であるとされる立場から見た「水族館学」という視点で水族館を学ぶ授業です。 かごしま水族館の施設概要や経営、情報発信、展示コンセプト、調査研究、学習交流事業等の講義を受講します。その後、海水取入れ施設等の現場を見学し、水族館らしい「楽しく学ぶ」教育プログラムを体験学習します。また、魚類や海獣類の飼育を職員の指導のもと実習します。 <b>【到達目標】</b> かごしま水族館の取り組みを学ぶことで、生物多様性の重要性や博物館の役割を理解し、説明することができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 水族館とは何か、かごしま水族館の展示内容 第2回 水族館経営学・施設管理学 第3回 水族館教育プログラム（1） 第4回 水族館教育プログラム（2） 第5回 魚類飼育実習（1） 第6回 魚類飼育実習（2） 第7回 海獣飼育実習（1） 第8回 海獣飼育実習（2） <b>【学生へのメッセージ】</b> 水族館は飼育する力、調査・研究する力、教育する力、情報発信する力、展示する力が合わさって生きた水族館へ発展します。 かごしま水族館が25年以上かけて、漁業者や水族館ボランティア、大学や研究機関、来館者の皆様、その他の多くの応援によって進めてきたことを「水族館学」としていっしょに学んでいきたいと思っています。 <b>【受講前の準備学習等】</b> かごしま水族館が令和6年に発刊した書籍「鹿児島海の哺乳類～かごしま水族館の調査研究から～」を読み自己学習して理解を深めてください。あるいは、その他の書籍等から海洋や環境、生物多様性に関する基本学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> かごしま水族館施設入館料（各日1,500円）、または年間パスポート（3,000円、1年間有効）が必要です。また、入館料とは別に、施設管理費（1,000円）が必要です。 ※施設入館料・年間パスポートは2025年10月から改正される可能性があります。詳細については後日、受講生にご案内します。 <b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。 <b>【参考書】</b> ・鹿児島海の哺乳類～かごしま水族館の調査研究から～（鹿児島海の哺乳類～かごしま水族館の調査研究から～編集委員会／自費出版・印刷業者：（株）イースト朝日／¥1,600） いおワールドかごしま水族館1階のアミューズメントショップ、もしくはオンラインショップで販売しています。在庫が無くなり次第絶版予定です。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・2日間とも、いおワールドかごしま水族館で実施し、現地集合・現地解散となります。受講者には別途詳細をお知らせいたします。 ・通常の時間を変更して実施します。 ・動きやすい服装でお越しください（2日目は、濡れた場合に備えて着替えを準備してください）。 ・長靴を準備します（受講生は事前にサイズを連絡していただきますが、当日履いてみてサイズが合わない場合は、取り替えが可能です）。 ・飼育実習では魚を調餌します。魚の血や臭い等が苦手な人は受講をご遠慮ください。 ・魚介類を触るとアレルギー反応がある方は事前にお知らせください。 ・水族館内は滑りやすい場所や階段での移動が多いため、健康で階段の昇降に支障の無い方に限ります。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「面接授業開設科目一覧」P.5参照）。 ・参考書「鹿児島海の哺乳類～かごしま水族館の調査研究から～」は、いおワールドかごしま水族館1階のアミューズメントショップ、もしくはオンラインショップで販売しています。在庫が無くなり次第絶版予定です。 ・いおワールドかごしま水族館ホームページ（ <a href="http://ioworld.jp/">http://ioworld.jp/</a> ）
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	水族館学入門	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	16名	
担当講師	ササキ アキラ <b>佐々木 章</b> 公益財団法人鹿児島市 水族館公社館長・展示第二課長 クボ ノブタカ <b>久保 信隆</b> 公益財団法人鹿児島市 水族館公社副館長・展示第一課長 ニシグチ シンタロウ <b>西口 慎太郎</b> 公益財団法人鹿児島市 水族館公社総務課長	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 9:55～11:25 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:45～17:15 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:45～13:15 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20	
実施会場	いおワールドかごしま水族館 (鹿児島市本港新町3番地1)	

科目コード	2678608	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 本講義は、楽しみながら日常英会話の基礎を学ぶことを目的とします。レベルとし ましては、英語基本5文型の復習から始め、その後英検2級面接試験程度の教材を使用 して、CDやDVD教材を併用しながら、一緒に楽しく学んでいきます。また外国 語学習の教養的側面として、異文化理解や国際理解についての紹介も行います。 皆様どうかお気軽なお気持ちでご出席ください。
学習センター(コード)	46A		<b>【到達目標】</b> 英語の基礎力(基本5文型等)を再確認し、さらに実用英語検定試験2級程度の実用 英語の運用能力を身に付けることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 オリエンテーション、自己紹介、動機付け等 第2回 英語基本5文型復習および反復練習 第3回 英語基本5文型の定着 第4回 リスニング：やや、やさしい英検2級程度の教材チャレンジ 第5回 スピーキング：やや、やさしい英検2級程度の教材チャレンジ 第6回 リスニング：やや、高度な英検2級程度の教材チャレンジ 第7回 スピーキング：やや、高度な英検2級程度の教材チャレンジ 第8回 講義のまとめ
科目名	やさしい 日常基礎英会話(中級)		<b>【学生へのメッセージ】</b> 英語が苦手な方も大丈夫です。この講義の前身「実用英語検定チャレンジ基礎講座」 では、英検準1級に2名合格されました。 具体的な教材としては、英検2級の実際のリスニング・スピーキングテスト教材等 を使用し、全力で皆さんの実用英語力アップに努めます。 因みに講師は英語検定1級と英語通訳資格所有者で、英語資格についての相談も受け ます。
科目区分	基盤科目：外国語		<b>【受講前の準備学習等】</b> 英語のテレビやラジオ番組や映画、歌、コミックブック等で、易しい英語に慣れ親 しんで理解しておいてください。
ナンバリング	120		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、基本的な辞書(紙媒体、電子辞書どちらでも)をご持参ください。
担当講師	サカモト イクオ 坂本 育生 鹿児島大学名誉教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 12月21日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		<b>【参考書】</b> ・2025年度版英検2級過去6回全問題集CD(旺文社編/旺文社/¥1,650/ ISBN=9784010950852)
実施会場	カクイクス交流センター 大研修室第3(東棟4階) (鹿児島市山下町14-50)		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2678624	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 私たちは日常生活のなかで、周りの人とどう関わっていけばよいのか分からなくなる 時があります。本講義では、目の前の出来事や自分自身について新たな発見や気づき に出会い、元気になれるよう、コミュニケーションやセルフマネジメントについて 学びます。また、自己のコミュニケーションの特徴について理解を深め、他者と良好 なコミュニケーションをとることができ、自分自身の精神的健康が高まるよう演習な どを取り入れながら実践的に学びます。
学習センター(コード)	46A		<b>【到達目標】</b> ・精神的健康について理解することで、自己のウェルビーイングの向上に必要な方 法を説明できる。 ・他者と良好なコミュニケーションをとるために必要な方法を説明できる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 精神的健康とは 第2回 コミュニケーション(対象理解と自己理解、傾聴) 第3回 リフレーミング(出来事の枠組みを変える) 第4回 感情と認知 第5回 元気回復行動プラン① 第6回 元気回復行動プラン② 第7回 元気回復行動プラン③ 第8回 元気回復行動プラン④
科目名	精神的健康の セルフマネジメント		<b>【学生へのメッセージ】</b> 日常からテレビや新聞などからメンタルヘルスに関する情報に関心を持つようにし てください。授業では、自分自身のセルフケアとなる元気回復行動プランを実際に作 ります。
科目区分	導入科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヤマシタ アヤコ 山下 亜矢子 鹿児島大学 学術研究院医学系教授		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 12月21日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2678691	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 「化学物質」というと、我々の生活とは縁遠いもののように感じますが、実際には、食品や化粧品、医薬品など、私たちの身の回りのものすべてが「化学物質」です。この授業では、化学物質とどのように付き合うのか、化学の基礎を学んで、身の回りの化学物質を上手に利用する方法を理解します。化学物質の有害性（ハザード）と危険性（リスク）の違いを理解し、有害な物質を「正しく恐れる」ことの重要性を解説します。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	<b>毎日の暮らしを豊かにする化学</b>	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	210	
定員	40名	
担当講師	オカムラ ヒロアキ 岡村 浩昭 鹿児島大学 学術研究院理学系教授	
日程実施時間	1月10日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 1月11日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
授業概要	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 食品添加物・週刊誌の記事を読む 第2回 化学の基礎・元素、分子、化合物、化学種（かがくしゅ） 第3回 毒性、有害性と危険性・ハザードとリスク 第4回 情報の調べ方・情報の信頼性 第5回 遺伝子組み換え作物・有用性と安全性 第6回 健康食品と医薬品・役割りと効き目 第7回 天然と合成・天然成分配合？オーガニック？ 第8回 総括・質疑応答 <b>【学生へのメッセージ】</b> 授業中に自分の意見を発表する機会があります。積極的な発言をお願いします。また、授業中にインターネット上の情報を検索する機会があります。スマートフォンまたはノートパソコン等を持参してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 中学～高校レベルの化学の教科書や参考書に目を通して、自己学習に努めてください。 スマートフォンまたはノートパソコン等を使用します。インターネットへの接続が必要です。学習センターの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。本授業はタブレットやスマートフォンでも受講できますが、ポケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 スマートフォンまたはノートパソコン等を持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Androidなど）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用します（Chrome、Firefox、Edge、Safari推奨）。バージョンの指定はありません。 4. その他 筆記用具 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・ほんとうの「食の安全」を考える—ゼロリスクという幻想（畝山 智香子／DOJIN文庫（化学同人）／¥990／ISBN=9784759825077） <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

# 鹿児島学習センター奄美会場実施科目(46A)

※ 奄美会場で開講する科目は以下の2科目です。鹿児島学習センターでは実施しませんので、実施会場をお間違えのないようご注意ください。

科目コード	2678659	<b>【授業内容】</b> 農業という産業は、単に雇用を与えるだけでなく、国民への食料提供という大きな使命をもっています。しかし、今の日本では、農業の担い手不足、高齢化が進み、食料自給率は先進国でもとりわけ低い水準であり、耕作放棄地も増えています。どうすれば日本農業は立ち直れるのか、持続的な農業のあり方が求められています。 戦後日本の農業や農業政策を学び、日本農業の課題や農業政策の方向性について考えていきます。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	<b>日本の農業政策</b>	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	キタザキ コウジ 北崎 浩嗣 鹿児島大学名誉教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 第5時限 16:50~18:05 試験・レポート等 18:05~18:20 10月26日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:10 第3時限 13:00~14:30 試験・レポート等 14:30~15:00	授 業 概 要
実施会場	鹿児島県立奄美図書館 第1研修室(4階) (奄美市名瀬古田町1-1)	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 3つの食料自給指標(食料自給率、食料国産率、食料自給力)について 第2回 農地改革・農地法の功罪と、最近期待されている企業の農業への参入について 第3回 減反政策と食糧管理制度について(コメ政策の経緯と問題点) 第4回 農産物自由化(市場開放)と現在の世界農産物貿易の潮流 第5回 安倍政権下でなされた農業改革(「いわゆる減反廃止」と農協改革)について 第6回 これからの日本農業の担い手(集落営農、農業法人グループなど)について 第7回 農産物直売所と農産物流通改革(ネット販売、中規模流通など) 第8回 稼げる農業と六次産業化・ブランド化について <b>【学生へのメッセージ】</b> この授業では、政策の内容の理解も大切ですが、その政策が出てきた理由や歴史的背景を理解してもらうことをもっと大切にしています。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 農業に関する用語は、農林水産省のサイトに編集されていますので、インターネットで事前に調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・農業新時代(川内イオ/文藝春秋/¥880/ISBN=9784166612369) <b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください(別冊子「面接授業開設科目一覧」P.5参照)。

科目コード	2678705	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（131頁参照） 心理アセスメント（心理査定）は、心理的な援助を必要としている人を多角的・多層的に理解するだけでなく、生活環境等との関係性も含めて全体的に把握して、支援に役立てていく営みです。また、そのための方法として、観察法や面接法、心理テスト（質問紙法・投映法等）があります。本講義では、心理アセスメントの中核となる病院や相談機関におけるあり方を軸にして、そこでの基本的な考え方や仕組みについて理論的に学んでいきます。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	L		
科目名	心理アセスメントの基礎		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	10名		
担当講師	セキヤマ トオル 関山 徹 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月30日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	鹿児島県立奄美図書館 第1研修室（4階） （奄美市名瀬古田町1-1）		
		<b>【到達目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心理アセスメントに臨む姿勢と倫理を理解し、収集すべき情報とその整理の仕方の基本について説明できる。</li> <li>パーソナリティの考え方や質問紙法・投映法の仕組みの基礎について説明できる。</li> <li>知能の考え方や知能検査の仕組みの基礎について説明できる。</li> <li>観察法と面接法の考え方や仕組みの基礎について説明できる。</li> <li>総合的なアセスメントの基礎について説明できる。</li> </ul> <b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理アセスメントに臨む姿勢（科学性・共感性）と倫理 第2回 収集すべき情報とその整理の仕方 第3回 心理テスト（1）：パーソナリティの考え方や質問紙法の仕組み 第4回 心理テスト（2）：知能の考え方や知能検査の仕組み 第5回 心理テスト（3）：投映法の考え方やその仕組み 第6回 心理テスト（4）：投映法を用いたパーソナリティ等の理解 第7回 観察法・面接法の考え方や仕組み 第8回 総合的なアセスメント：初回面接（インターク面接）をめぐって	
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 本講義では、個別の心理テスト等の実施法を伝えるのではなく、心理的に苦しんでいる人の支援に役立つアセスメントはいかにあるべきかを第一に考えながら、科学性と共感性の両方を大切にしながら進めていきます。	
		<b>【受講前の準備学習等】</b> 臨床心理学や統計学を初めて学ぶ人は、以下の参考書を事前に読んで、専門用語に馴染んでおいてください。	
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。	
		<b>【参考書】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>心理アセスメントの理論と実践：テスト・観察・面接の基礎から治療的活用まで（高瀬由嗣・関山徹・武藤翔太（編著）／岩崎学術出版社／¥3,960／ISBN=9784753311668） ※本講義の内容全般の理解に役立つ基本書籍</li> <li>心理的アセスメント（津川律子・遠藤裕乃（編）／遠見書房／¥2,860／ISBN=9784866160641） ※「心理アセスメントの理論と実践」よりも簡略な内容の図書</li> <li>心理統計学の基礎：統合的理解のために（南風原朝和／有斐閣アルマ／¥2,420／ISBN=9784641121607） ※心理アセスメントの科学性や質問紙法・知能検査の仕組みを理解するために役立つ書籍</li> <li>はじめて学ぶパーソナリティ心理学：個性をめぐる冒険（小塩真司／ミネルヴァ書房／¥2,750／ISBN=9784623056842） ※パーソナリティについて理解するために役立つ書籍</li> </ul>	

# ★鹿児島学習センター【ライブWeb授業】実施科目(46A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4001591	<b>【授業内容】</b> 中国唐代の詩は、日本人に特に好まれ、日本文学にも大きな影響を与えてきた文学です。皆さんも、今回、ご紹介する唐詩については、これまでどこかで読んだことがあったり、テレビなどで視聴したことがあるでしょう。 この授業では唐詩の中でも特に著名な詩人、李白、杜甫、白居易らの作品を取り上げ、唐王朝の歴史や詩人の経歴、詳しい語句の解釈について説明し、より深く唐詩を理解する手助けをします。 この授業を通じて、唐詩が身近なものになります。
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	WK	
科目名	★唐詩へのいざない	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	タカツ タカン 高津 孝 放送大学 鹿児島学習センター所長	
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 11月2日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00	<b>【到達目標】</b> 唐代の著名な詩人とその作品に対して、基本的事実および詩歌の解釈について説明することができる。
概要		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 唐という時代：王翰・涼州詞 第2回 孤独を詠む：李白・月下独酌 第3回 戦争と詩歌：杜甫・春望 第4回 寒山寺の鐘：張継・楓橋夜泊 第5回 山水詩の世界：柳宗元・江雪 第6回 住めば都：白居易・香炉峰の詩 第7回 女性の視点：薛濤・柳絮 第8回 江南の春：杜牧・江南春
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 唐詩に興味を持ち、勉強してみようという意欲のある方は是非受講してみてください。 唐詩を味わいつつ、一緒に勉強して行きましょう。
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容は不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
要		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備。
		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	<b>【参考書】</b> ・漢詩への招待 (石川忠久/文藝春秋/¥803/ISBN=9784167679613) ・ビギナーズ・クラシックス 中国の古典 唐詩選 (深澤一幸/角川ソフィア文庫/¥817/ISBN=9784044072162)
		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 専用のシステム上で教材・資料を配布します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業はWeb会議システム (Zoom) を利用した授業とオンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等で PC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a> を参照ください。

# 沖縄学習センター

(コード：47A)

## 沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1  
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

### 【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー旧琉球大学病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー沖縄国際大学前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

### ●沖縄都市モノレール

(経路)那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

### 【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間:土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2678764	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> この講義に副題をつけるならば、『大人の常識が子どもたちの未来を破壊する』とでもなるでしょう。 私たち大人の99%の人がお金に対して誤解をしているため、未来の子どもたちに大変なつけを残すことになるのです。それを防ぐには、私たち大人一人ひとりがお金についての正しい認識を持ち、それをひろげることが急務です。 この講義では、お金についての正しい認識を持つための基礎をゆっくり学んでいきます。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 信用創造について理解し、お金がいつ生まれ、いつ消滅するのかを説明できるようになる。 そして、国の財政や税金についての正しい判断ができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 衰退国家日本！？ 第2回 国民ひとり当たり1000万円の借金ってどういうこと？ 第3回 消費税は何パーセントにするべきなんだろう 第4回 お金の正体、お金はいつ生まれていつ消えるのか 第5回 国債発行の仕組みを知ろう 第6回 税金の役割と消費税 第7回 君たちはまだ長いトンネルの中 第8回 子どもたちの未来のためにどうすべきか
科目名	お金についての 本当の話		<b>【学生へのメッセージ】</b> この講義では、知ってるようで本当は知らない身近なお金というものの本当の姿を知ってもらうのが目的です。 国民一人一人がお金についての正しい知識を持つことで、財政や税金などを正しく見る眼鏡を手に入れましょう。
科目区分	基盤科目		<b>【受講前の準備学習等】</b> 国の借金はどうすべきか？消費税は何%にするべきか？を自分なりに調べ、考えておいてください。
ナンバリング	120		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆 則 沖縄学習センター 客員准教授		<b>【参考書】</b> ・目からウロコが落ちる奇跡の経済教室【基礎知識編】(中野剛士/ベストセラーズ/¥1760/ISBN=9784584138953) ・MMT講義ノート(島倉原/白水社/¥2,200/ISBN=9784560094334) ・学者が見落としたお金の仕組み 国家財政破綻論の破綻を数学的に証明(児保祐介/微風出版/¥1,760/ISBN=9784434309731)
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2678810	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> なぜアンガーマネジメントが必要とされるのか？アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを深く理解することにより職場や日常生活の場で楽しい日々を暮らすことができるヒントに気づかされます。本授業ではアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを含めた演習を行います。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションについて理解し、説明ができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 アンガーマネジメントとは？アサーティブコミュニケーションとは？何か！理解を深める 第2回 自分の怒り感情と上手に向き合う 第3回 事例でわかるアンガーマネジメント 第4回 職場での怒りとはどんなもの？ 第5回 アサーティブコミュニケーションを活用した怒りのコントロール 第6回 急な怒りを静める対処術 第7回 怒りの体質改善に効くエクササイズ 第8回 やってはいけない怒り方、上手な怒り方まとめ
科目名	介護現場の アンガーマネジメント		<b>【学生へのメッセージ】</b> 職場や家庭、人々との日常生活にも、どこにでも活用できるアンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを一緒に学びましょう。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> 受講前に箇条書きにまとめておいてください。 ①日常生活で自分自身が怒りたくなる場面や嬉しいと思える言葉。 ②アンガーマネジメントとアサーティブコミュニケーションを学び、職場や家庭、人々との日常生活にどのように活かしたいのか。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	オオワン トモコ 大 湾 知 子 沖縄学習センター 客員准教授		<b>【参考書】</b> ・介護職スキルアップブック手早く学べてしっかり身につく！介護現場のアンガーマネジメント（梅沢佳裕／秀和システム／¥1,760／ISBN=9784798070704） ・アンガーマネジメント11の方法 怒りを上手に解消しよう（著者：ロナルドT.ポッターエフロン、パトリシアS.ポッターエフロン、監訳：藤野京子／金剛出版／¥3,740／ISBN=9784772415132） ・アンガーマネジメント トレーニングブック（日本アンガーマネジメント協会／ミネルヴァ書房／¥2,200／ISBN=9784623096466） ・マンガこころbooksこころのクセを考える まじめA子ちゃん、おおいにさとり（監修：越野好文、作・画：志野靖史、おおはなヒマワリ／講談社／¥1,320／ISBN=4061558048）
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668777	<p><b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p><b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学実験とレポートの書き方 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、ワード、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 ・教科書を持参してください。</p> <p><b>【教科書】</b> ・心理学実験を学ぼう！（小河妙子・斉藤由里・大澤香織／金剛出版／¥2420／ISBN=9784772411608）</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	フルカワ タカシ 古川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	10月18日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月19日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678780	<b>【授業内容】</b> 本授業の目的は、英語での基本的なスキルを向上させるため、基本的かつ重要な文法や英語表現を学び、その学んだ事項を英会話や英文読解などの運用能力を高めることです。授業では、受講生間のインタラクションも取り入れて、交流も深めていくことにしています。間違いを気にすることなく、積極的に参加して楽しんでくれることを期待しています。 <b>【到達目標】</b> 基本的なスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを高め、基本的英文法と英語表現について理解を深め、英語でのコミュニケーション能力を高めることができる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 基本文型と文の種類 第2回 動名詞、不定詞、分詞と慣用表現 第3回 関係詞（関係代名詞と関係副詞）と慣用的表現 第4回 比較級、仮定法と慣用的表現 第5回 時制（過去形、現在形、未来形）とJournalの書き方 第6回 現在完了形と受動態 第7回 WH疑問文と会話に役立つ基本的表現 第8回 英文読解と要約文の作り方 <b>【学生へのメッセージ】</b> Let's enjoy your progress! 英語は実技ですから、可能な限り話し、聞き、読み、書いてみましょう。また、英検2級、準2級にも挑戦してくれることを期待します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して、文法事項等の自己学習に取り組んでください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 英語辞書（電子辞書可）、ノートをご持参ください。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	基本英文法と英語表現	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	20名	
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏 洋 沖縄学習センター 客員教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 小講義室	

科目コード	2668769	<p><b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学の基礎的な実験の中から3つの実験（目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度）を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者（協力者）として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p><b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」の実施 第7回 実験3「心理尺度（一対比較法、順位法、評定尺度法）」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b> 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（エクセル、ワード等）を習得しておいてください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p><b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。</p> <p><b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授	
日程実施時間	10月25日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月26日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668610	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、ウェブページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。 <b>【到達目標】</b> パソコンの起動・終了、マウス操作、文字入力、文書作成ソフトの起動、ファイル保存、フォルダ操作、ウェブサイト閲覧、電子メール利用、情報セキュリティ、情報発信マナー、WAKABAの主な機能、Web通信指導、Web単位認定試験、OPACでの図書検索、電子書籍の閲覧、論文検索、オンライン授業、ライブWeb授業の受講等、放送大学での学習に必要なパソコンスキルの基礎的なことを理解し、実践できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出） <b>【学生へのメッセージ】</b> 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> 「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 原則として、Windowsが必要です。OSのバージョンはWindows11以上としてください。macOS、Linuxの場合、基本操作やWindowsと異なる点については時間の都合でフォローできない場合があります。 3. ソフトのインストール (a)文書作成ツールとしてMicrosoft Office Word（Office2021以降のバージョンもしくはMicrosoft 365最新版）、ブラウザとしてMicrosoft Edge最新版としてください。その他のソフトやアプリと異なる場合には、時間の都合でフォローできない場合があります。 (b)PDFファイルの閲覧のため、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他 (a)学生証（授業内でログイン操作を伴う実習があります）を必ず持参してください。WAKABAにアクセスするためのパスワードがわからない場合には、事前に学習センターに相談してください。 (b)USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です） (c)マウス（トラックパッドで操作できる方は持参しなくても構いません） (d)イヤホン <b>【教科書】</b> ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） 授業当日に配布します。 <b>【参考書】</b> ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF）（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） ダウンロード方法は授業で説明します。 <b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 (a)（履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。 (b)「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 (c)充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責にやらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	クニタ イツキ 國田 樹 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678799	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> ゲーム理論は複数の人々が意思決定に関して相互作用する状況を分析する理論で、政治・経済を含むさまざまな人間の社会活動とその結果を分析する上で有用な思考ツールとして定着しつつあります。この講義ではゲーム理論の考え方を現実社会で生じうる状況を通じて学びます。 講義方法は下記のとおりです。 ①受講生を被験者とした簡単なゲームの実験をいくつか行います。またゲーム実験の後、自分の行動の選択理由について意見を交わします。 ②適宜、グループディスカッションなど取り入れる場合があります。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 1. ゲーム理論の基本的考え方を理解できる。 2. 日常生活のなかでゲーム理論の考え方を応用することができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 戦略的に行動しようーゲーム理論の世界 第2回 思い通りにならないー囚人のジレンマ 第3回 相手の視点で考えるー失敗しないための心得 第4回 みんなわかっているのに抜け出せないー変えたくても変わらない理由 第5回 ゴールから考えるー逆算の哲学 第6回 優柔不断がチャンス逃すーあえて退路を断つ 第7回 有利な交渉の進め方ー交渉は最後が勝負 第8回 理論と現実のズレーゲーム実験が示す意外な結果
科目名	ゲーム理論		<b>【学生へのメッセージ】</b> 講義は、受講生の皆さんと意見交流を行いながら進める予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。
科目区分	導入科目：社会と産業		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	210		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	20名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授		<b>【参考書】</b> ・ゼミナールゲーム理論入門（渡辺隆裕／日本経済新聞出版／¥3,850／ISBN=9784532133467）
日程実施時間	11月1日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月2日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2678829	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 医学と医療の進展には目覚ましいものがあります。一方で現代医療は多くの問題を抱えています。また、医療従事者は30以上の職種に分かれています。どの職種に従事しても専門的知識や専門的技術だけでは、医療従事者として十分ではないことは明らかです。加えて我々が患者になった時、どのような態度・考え方で医療従事者に接すれば良いのでしょうか。本科目では、「医学と医療とは何か、どのように発展してきたか、現代医療はどのように行われ、どのような問題を抱えているのか」について、いくつかのテーマを選び、わかりやすく説明させて頂く予定です。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 1.西洋医学の歴史の中で重要な内容と現代医療の成り立ちについて理解し、説明できる。 2.疾病の原因を遺伝因子、環境因子、生活習慣、加齢などと関連づけて理解し、説明できる。 3.少子高齢化社会における日本の医療供給体制の問題点を説明できる。 4.医療倫理の変遷と倫理問題について考察し、グループ討論で自分の考えを発表できる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 西洋医学の歴史と現代医療の成り立ち 第2回 健康と疾病1 (健康の意味と疾病の原因としての遺伝と環境因子) 第3回 健康と疾病2 (疾病の原因としての生活習慣と加齢、および日本の疾病構造の変化) 第4回 日本の医療供給体制と少子高齢化社会の現状 第5回 医療倫理と患者の権利1 (医師と患者の関係の変遷) 第6回 医療倫理と患者の権利2 (医療倫理の変遷と現代医療の倫理的問題) 第7回 現代医療における倫理問題についてのグループ討論 第8回 終末期医療と真実告知の諸問題
科目名	現代医療の成り立ちと諸問題		<b>【学生へのメッセージ】</b> 授業では、現代医療を概観する予定です。医学・医療に関する基礎的内容を紹介し、現代の医療について答えが明らかでない内容を考えてもらうことも目的とします。疾病や診断、治療などの詳細には触れない予定です。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容で自分が興味を持つ項目についてインターネットなどで調べておいてください。さらに、当日に質問事項や問題点などを発表してもらえると、授業が活発になると思います。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	30名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 計算機 (計算機能があるスマートフォン可)。
担当講師	ヤマモト ヒデユキ 山本 秀幸 九州看護福祉大学 特任教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		<b>【参考書】</b> ・現代医療論 第3版 (小坂樹徳、田村京子/株式会社メヂカルフレンド/¥2,860/ISBN=9784839233754) ・健康支援と社会保障制度〔1〕医療概論 (康永秀生/医学書院/¥2,200/ISBN=9784260042246) 上記2冊の参考書の表や図のいくつかを改変して授業のスライドとして使用します。スライドは資料として配付します。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2678861	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 健康の為の統計情報が作成されるために必要なデータの収集方法を説明します。そしてデータの性質に応じた統計手法について説明します。さらに人の集団を対象に実施される調査データの解析において重要な視点を説明し、それらの解析を実際に統計ソフトを用いて一緒に実施します。 <b>【到達目標】</b> 自身の健康維持のために、健康に関連する統計情報がどのように作成されているのを理解し、正しく健康関連の統計情報を理解できるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 統計学の基礎（検定と推定の考え方） 第2回 疫学について～人の健康についての研究のデザインと考え方～ 第3回 統計ソフトの使い方（データの整理、グラフの書き方） 第4回 平均と比率 第5回 ノンパラメトリック検定 第6回 相関と回帰 第7回 重回帰分析・ロジスティック回帰分析 第8回 保健統計資料の紹介 <b>【学生へのメッセージ】</b> 統計学の考え方をやさしく解説し、PC演習においても講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、数学が苦手な方やPC操作に自信がない人も安心して受講ください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 統計ソフトのJMPを事前にキャンパスメールにて利用登録（無料）し、インストールしておくこと。 最終講義の際にレポート問題を課します。講義が終わったら、講義資料についてしっかりと復習し、レポートに取り組んでください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 統計ソフトのJMPをインストールしたノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 Windows またはmacOS（ただしWindowsが望ましい）。 3. ソフトのインストール Excelおよび統計ソフトJMPが必要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	健康のための統計を理解する	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヨネモト コウジ 米本 孝二 琉球大学医学部教授	
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678888	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 先ず沖縄を特徴づける「島」をキーワードに、琉球列島の成り立ちやそこに生息する様々な生物などから、東洋のガラパゴスとも呼ばれる沖縄の自然環境の特性を概観します。さらに、沖縄の人たちが、どのように自然を上手く利用しながら暮らしてきたのかを、植物利用を中心に紹介します。そして、なぜ沖縄が世界自然遺産に登録されたのか、また登録によって見えてきた様々な課題について、自然環境の保全と観光の両面から解説します。第7、8回は、琉球大学博物館で授業に関連した実物標本を見ながら、それまでの学習内容を振り返ります。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> ・沖縄の自然環境の特性を、生物の進化を踏まえながら説明することができる。 ・リズムによる様々なデメリットについて理解し、その解決策について自らの考えを示すことができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 沖縄の自然環境の特性 第2回 やんばるの自然と環境問題 第3回 沖縄の外來生物 第4回 沖縄のホタル 第5回 沖縄の植物と人の暮らし 第6回 沖縄の世界自然遺産とこれからの課題 第7回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説1 第8回 琉球大学博物館での沖縄の自然と文化の解説2
科目名	沖縄の自然環境と世界自然遺産		<b>【学生へのメッセージ】</b> 本土とは異なる沖縄の自然環境や生物の特性、また、そこに暮らしてきた人たちの自然との関わり方などから、私たちはこれからどのように自然と接していけば良いのかについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。
科目区分	専門科目：自然と環境		<b>【受講前の準備学習等】</b> ・沖縄の自然や環境問題について、自分が興味を持った問題を書籍やインターネットなどからいくつかピックアップしておいてください。 ・配布資料等を使って復習し、沖縄の自然が抱える様々な課題について自分なりの解決策を考え、実際にそれが課題の解決に繋がるかどうかをシミュレーションしておいてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況およびレポートの評点により行います。 なお、レポートは、後日提出です。
定員	15名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ササキ タケン 佐々木 健志 元琉球大学 博物館助教・学芸員		<b>【その他（特記事項）】</b> 第7、8回に琉球大学博物館で解説します。「学生教育研究災害傷害保険」(100円)及び「通学中等傷害危険担保特約」(40円)の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
日程実施時間	11月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		
実施会場	1日目(11月8日) 沖縄学習センター 中講義室  2日目(11月9日) 第3・4時限 琉球大学博物館 (沖縄県西原町字千原1番地)		

科目コード	2668815	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようにする。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説 第3回 心理検査の結果の解釈に重要な情報 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 第5回 投影法心理検査とは 第6回 具体的な心理検査2 バウムテスト 第7回 心理尺度とは 第8回 具体的な心理検査3 心理尺度（タイプA性格）
科目名	心理検査法基礎実習		<b>【学生へのメッセージ】</b> 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめて提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。
科目区分	専門科目：心理と教育		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学 人文社会学部教授		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2678845	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 平安時代中期に生まれてから現代に至るまで、国内外を問わず人々を魅了してきた『源氏物語』。血の通った人間たちが織りなす原作世界の奥行きを味わうことを中心に、個性的な現代語訳やリライトもの、漫画、舞台、映像作品など、現代におけるさまざまな再生作品も紹介します。第6回までは原作である『源氏物語』の概説と主な読みどころの解説、第7回・第8回は再生作品の紹介を予定しています。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 『源氏物語』のもつメッセージ性を理解し、その豊かな作品世界を味わうことができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 『源氏物語』の概説－作者、時代背景、概要など－ 第2回 『源氏物語』第一部の世界－光源氏の前半生－ 第3回 『源氏物語』第二部の世界－光源氏の後半生－ 第4回 『源氏物語』第三部の世界－宇治十帖の物語－ 第5回 『源氏物語』をいろどる女性たち－紫のゆかりと宇治のゆかり－ 第6回 『源氏物語』をいろどる女性たち－個性あふれる中の品（しな）－ 第7回 再生される『源氏物語』－小説家たちの訳業とリライト－ 第8回 再生される『源氏物語』－さまざまなビジュアル化－
科目名	『源氏物語』 －原作と再生作品		<b>【学生へのメッセージ】</b> 初めて『源氏物語』に触れる受講者も理解できる内容にします。原文も味わいますが、原文だけで読み込むレベルは目指さないで、高度な内容を期待する方は受講をお勧めしません。第8回後半に、受講してわかったことや感想等をレポートにまとめていただきます。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 第1回の授業でウォーミングアップを兼ね、『源氏物語』についてコメント（好きな登場人物、触れた機会、興味を抱いた理由等なんでも）していただきますので、ご準備ください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	28名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	ハギノ アツコ 萩野 敦子 琉球大学教育学部教授		
日程実施時間	11月29日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月30日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2678802	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 西洋の絵画や彫刻作品に「何が描かれているのか」を正しく理解して、鑑賞をより深めるためには、図像学の知識が不可欠です。 この講義では、《受胎告知》や《最後の晩餐》をはじめとする宗教画、また《ヴィーナスの誕生》といった古代ギリシア・ローマ神話を主題とした神話画の著名な場面を描いた美術作品を、毎回、多数のスライドで鑑賞しながら、各々の物語とその解釈法を詳しく解説します。その背景にある西洋文化への理解も深め、作品鑑賞を楽しみます。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 西洋図像学の基礎知識を身につけて、宗教画や神話画を中心とした代表的な主題を理解し、表現された意味内容の概要を説明することができる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 ガイダンス：美術史と図像学（イコノグラフィー） 第2回 アトリビュートと擬人像 第3回 神話画：ウェヌスとクビド 第4回 神話画：アポロとバックス 第5回 神話画：ヘラクレス 第6回 宗教画：旧約聖書 第7回 宗教画：新約聖書（1）マリア伝 第8回 宗教画：新約聖書（2）キリスト伝
科目名	西洋図像学入門		<b>【学生へのメッセージ】</b> 美術作品は、感性だけをたよりにすれば楽しめると思われるかも知れませんが、図像学（イコノグラフィー）の基礎知識を身につけることで、より良く作品を鑑賞できるようになり、西洋の文化的背景への理解も深まるでしょう。
科目区分	導入科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> 事前に、西洋美術史の概説書（ここに挙げた参考書をはじめ、概略的なもので良い）を読み、古代から近代（19世紀頃）に至るまでの、大まかな流れを理解しておいてください。
ナンバリング	220		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
定員	40名		<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 筆記用具、ノート（講義中は、講師が説明した内容を、自分なりにノートにまとめましょう）。
担当講師	フナオカ ミホコ 船岡 美穂子 放送大学准教授		<b>【教科書】</b> 教科書は使用しません。
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		<b>【参考書】</b> ・増補新装カラー版西洋美術史（高階秀爾（監修）／美術出版社／¥2,090／ISBN=4568400643） ・西洋美術解説事典（ジェイムズ・ホール著、高階秀爾監修／河出書房新社／¥4,730／ISBN=4309291406）
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		<b>【その他（特記事項）】</b> この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2678837	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 園芸福祉の活動や実践を通して、どのような効用・効果が得られるのか、また、園芸福祉でいうところの園芸の範囲にはどのようなものが含まれ、身近なところで活用できる材料や方法には何があるのかなど、受講者の考えを聞きながら授業を進めます。さらに、福祉（well-being）が意味する内容について、講義、写真、動画などを通して理解をしていく授業とし、簡単な実施プログラムの計画ができるようになります。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> ①園芸福祉の概念を理解し説明できるようになる。 ②園芸福祉の効用について学び、精神的・心理的效果が説明できるようになる。 ③誰もが楽しめる園芸福祉ガーデンの技法を理解し、説明できるようになる。 ④園芸福祉の考え方に則った実施プログラムを計画することができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 園芸福祉の概念 第2回 園芸福祉の効用 第3回 園芸福祉の健康効果 第4回 園芸福祉によるコミュニティ 第5回 園芸福祉の材料 第6回 園芸福祉ガーデンの事例 第7回 誰もが楽しめるようなガーデンのために 第8回 園芸福祉の実践プログラムづくり
科目名	園芸福祉入門		<b>【学生へのメッセージ】</b> 植物が身近にある生活には、うるおいや安らぎを感じることができます。植物との関わりを生活の中に取り入れ、生活の質を向上させていく活動・実践が園芸福祉です。園芸活動が持つもう一つの意味・役割を一緒に学びましょう。
科目区分	専門科目：生活と福祉		<b>【受講前の準備学習等】</b> 自身の生活と植物がどこで関わっているのか、どのような意味があるのかについて、周囲を見回して考えをまとめておいてください。
ナンバリング	310		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	30名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	アカミネ ヒカル 赤嶺 光 琉球大学農学部教授		<b>【参考書】</b> ・園芸福祉入門（日本園芸福祉普及協会編／創森社／¥1,676／ISBN=9784883402083）
日程実施時間	12月6日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月7日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2678772	<b>【授業内容】</b> 「異文化」という言葉はよく耳にしますが、具体的にはどのようなことを指すのでしょうか。異文化に触れることで何が得られるのでしょうか。本講義では、言葉と文化の関係を探り、日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて文化の違いを体験します。日本語学習者の視点から異文化コミュニケーションの違いを考え、日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を避ける方法を探究します。さらに、日本語教師の視点から異文化を理解し、多様な価値観を尊重する姿勢を養います。学びを通じて、異文化理解を深めましょう。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語で広がる異文化	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	210	
定員	22名	
担当講師	<small>ショウ マキコ</small> <b>尚 真 貴 子</b> 沖縄国際大学特任教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	
		<b>【到達目標】</b> ・異文化コミュニケーションを円滑にするために、言葉と文化の関係を理解し、価値観の違いを的確に判断できるようになる。 ・日本のポップカルチャーやジェスチャーを通じて異文化を体験し、多様な文化の特徴や考え方が理解できるようになる。 ・日本語のジェンダー表現や敬語、あいづちの習慣を学び、誤解を防ぐ適切なコミュニケーション方法が身につく。
		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 日本のポップカルチャーと異文化理解 第2回 日本語とジェスチャー 第3回 日本語を学ぶ外国人との異文化交流 第4回 異文化コミュニケーションと言葉の誤解 第5回 日本語とジェンダー 第6回 日本の言葉と習慣 第7回 日本語教師から見る異文化 第8回 まとめ(振り返り)
		<b>【学生へのメッセージ】</b> 一方的に伝えるのではなく、意見交換を重視した双方向型の授業です。グループワークやディスカッションを通じて協力しながら学び、実践的な理解を深めます。主体的に参加し、楽しく学びましょう。
		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスに記載されている各回の講義テーマを事前に確認し、関連する内容について自己学習を行ってください。
		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
		<b>【参考書】</b> ・まんが クラスメイトは外国人 入門編 ーはじめて学ぶ多文化共生ー (「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会/明石書店/¥1,320/ISBN=9784750338255) ・まんが クラスメイトは外国人 課題編 (第2版) ー私たちが向き合う多文化共生の現実ー (「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会/明石書店/¥1,430/ISBN=9784750353951)
		<b>【その他(特記事項)】</b> この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2668793	<b>【授業内容】</b> この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における実験的研究を3つ（ストループ効果、短期記憶検索、SD法）取り上げます。 受講生の皆さんは、それらの実験に実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	<b>心理学実験3</b>	
科目区分	専門科目：心理と教育	<b>【到達目標】</b> 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
ナンバリング	320	
定員	20名	<b>【授業テーマ】</b> 第1回 心理学の研究法 第2回 ストループ効果の実験1 第3回 ストループ効果の実験2 第4回 心理学的なレポートの作成について 第5回 短期記憶検索の実験1 第6回 短期記憶検索の実験2 第7回 SD法1 第8回 SD法2
担当講師	ヒロセ ヒトシ <b>廣瀬 等</b> 琉球大学教育学部教授	
日程実施時間	12月13日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月14日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	<b>【学生へのメッセージ】</b> 心理学的な研究法を習得するという事の中には、単に実験や調査に参加するだけでなく、得られたデータをパソコンで集計・分析すること、科学的な形式でレポートにまとめることも含まれます。やることは非常に多いので、積極的な参加意図を持って受講してください。 <b>【受講前の準備学習等】</b> インターネットへの接続は不要です。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実施会場	沖縄学習センター 実習室	
授業概要		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、色識別を要する実験課題があります。

科目コード	2678853	授 業 概 要	<b>【授業内容】</b> 琉球弧の島々では、山・川があり田んぼで稲作を営むことのできる高島を田の国「タンゲン島」と呼び、川がなく水の確保に苦労をし、ムギやアワなどの畑作が中心だった低島を、野の国「ヌンゲン島」と呼び分けてきました。このように琉球弧の島々では、それぞれの自然環境に応じて、固有のことばや文化、生命観、在来知、技術、道具、芸能などを発達させてきました。本授業では、自然と人との関わりから、琉球弧の民俗文化について考えます。
学習センター(コード)	47A		<b>【到達目標】</b> 琉球弧の民俗文化の多様性について、具体的な事例から理解することができるようになる。
クラスコード	K		<b>【授業テーマ】</b> 第1回 琉球弧の生物多様性と文化多様性 第2回 水の民俗文化 第3回 衣の民俗文化 第4回 食の民俗文化 第5回 住の民俗文化 第6回 ミニフィールドワーク①琉球大学キャンパス散策 第7回 ミニフィールドワーク②琉球大学キャンパス散策 第8回 まとめ-生物文化多様性とは何か
科目名	琉球弧の民俗文化 -自然と人-		<b>【学生へのメッセージ】</b> この授業では、実際の植物や岩石、民具などの標本を手にしながら、琉球弧の民俗文化の特徴について考えます。
科目区分	専門科目：人間と文化		<b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
ナンバリング	320		<b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
定員	22名		<b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。
担当講師	高橋 ぞよ <small>タカハシ ソヨ</small> 琉球大学 人文社会学部准教授		<b>【参考書】</b> ・沖縄・素潜り漁師の社会誌 サンゴ礁資源利用と島嶼コミュニティの生存基盤 (高橋ぞよ/コモンズ/¥4,070/ISBN=9784861871498)
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		<b>【その他(特記事項)】</b> 「学生教育研究災害傷害保険」(100円)及び「通学中等傷害危険担保特約」(40円)の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2678870	<b>【授業内容】</b> この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックスタイプ講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK → 学習センター HL → 自宅等（Zoom） ※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。 人工知能（AI）とは、人間の知的活動をコンピュータで実現する情報技術を指します。AI技術に含まれる機械学習は、データから統計的なパターンを自動で獲得し、未知のデータに対する予測を行うもので、機械学習が内包する深層学習（ディープラーニング）の流行や、プログラミングで実装しやすくなったことで注目を集めています。 本講義では機械学習の原理について数式でしっかりと理解し、実際にプログラミングしてみることで、実践的な理解を深めることを目的としています。 <b>【到達目標】</b> データに基づいた意思決定をするために、機械学習の基礎について理解し、適用すべきモデルを的確に判断しプログラミングできるようになる。 <b>【授業テーマ】</b> 第1回 AI・機械学習の準備 第2回 Python（プログラミング）の基本 第3回 グラフの描画（プログラミング） 第4回 AI・機械学習に必要な数学の基本 第5回 教師あり学習（回帰） 第6回 教師あり学習（分類） 第7回 教師なし学習 第8回 要点のまとめ <b>【学生へのメッセージ】</b> 授業中にプログラミングを行います。事前に教科書のとくに第2と3章に目を通しておくと、効率良くスキル習得できるかと思えます。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアカウントにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 <b>【教科書】</b> ・Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／¥2,970／ISBN=9784798171494） <b>【その他（特記事項）】</b> 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	HK	
科目名	AI・機械学習入門	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2678870	<b>【授業内容】</b> この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックスタイプ講義です。 科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。 HK → 学習センター HL → 自宅等（Zoom） 本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。 <b>【受講前の準備学習等】</b> <b>【受講者が当日用意するもの】</b> <b>【その他（特記事項）】</b> を必ずご確認ください。 ※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	HL	
科目名	<b>AI・機械学習入門</b>	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	12月20日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月21日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	▲自宅等（Zoom）	
授業概要	<b>【学生へのメッセージ】</b> 授業中にプログラミングを行います。事前に教科書のとくに第2と3章に目を通しておく、効率良くスキル習得できるかと思います。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、出席確認のため表示名は学籍登録している氏名としてください。 Zoomのアクセス情報等、授業を受講するにあたっての必要な情報は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。システムWAKABAの初期パスワードは、一定期間たっても変更されていないと、ロックアウトされログインできなくなりますので、必ず初期パスワード変更等を行い、メールの利用環境を確認しておいてください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
	<b>【受講者が当日用意するもの】</b> 1. マイク、スピーカー、Webカメラを備え、Zoomが動作するパソコンが必要です。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・Googleアカウントあるいは放送大学キャンパスメールアドレスにログインできることを確認してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。	
	<b>【教科書】</b> ・Pythonで動かして学ぶ！あたらしい機械学習の教科書 第3版（伊藤真／翔泳社／¥2,970／ISBN=9784798171494）	
	<b>【その他（特記事項）】</b> Zoomを利用するためには、一定の条件を満たす通信環境が必要です。例えば、通信状態が安定して維持できる環境が必要であり、ご自宅等でご利用の通信サービスで対応可能であるか必ずご確認ください。また、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに1時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、4～5時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。また、モバイル端末でのZoomを利用した授業の受講は不可能ではありませんが、長時間の受講にはパソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合、まず授業科目を開講している学習センターに問合せを行ってください。 なお、ご自身の端末の故障など、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

# ★沖縄学習センター【ライブWeb授業】実施科目(47A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4001605	<p><b>【授業内容】</b>          脳の情報処理を模したAIであるニューラルネットワークを多層構造にしたものをディープラーニング（深層学習）と言います。深層学習は、画像や文章から例えばそこに描かれているものが犬か猫か、人間と同じように予測できます。          本講義では、深層学習の各モデルの大まかな仕組みとそれによって実現できる機能について事例とデモンストレーションを通じて学び、正しい基礎知識とAIを適切に活用できる能力を育むことを目標とします。</p> <p><b>【到達目標】</b>          画像や文章から意味のある情報を抽出するために、ディープラーニングの概要について理解し、課題に合わせた手法を的確に判断できるようになる。</p> <p><b>【授業テーマ】</b>          第1回 画像分類          第2回 Grad-CAM          第3回 セグメンテーション          第4回 画像生成          第5回 Word2Vec          第6回 テキスト分類          第7回 アテンション          第8回 テキスト生成</p> <p><b>【学生へのメッセージ】</b>          授業中に扱った深層学習モデルのデモンストレーションに関するプログラミングコードについては授業後に配付予定ですので、復習や発展的な学習に活用してみてください。</p> <p><b>【受講前の準備学習等】</b>          シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。          受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>          成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p><b>【受講者が当日用意するもの】</b>          インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備をしてください。</p> <p><b>【教科書】</b>          教科書は使用しません。</p> <p><b>【参考書】</b>          ・深層学習教科書 ディープラーニング G検定 (ジェネラリスト) 公式テキスト 第2版 (猪狩 宇司、今井 翔太、江間 有沙、岡田 陽介、工藤 郁子、巢籠 悠輔、瀬谷 啓介、徳田 有美子、中澤 敏明、藤本 敬介、松井 孝之、松尾 豊、松嶋 達也、山下 隆義/翔泳社/¥3,080/ISBN=9784798165943)</p> <p><b>【その他 (特記事項)】</b>          専用のシステム上で教材・資料を配付します。          Webカメラの準備を必要としません。          「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。          学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。          また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。          受講の際には必ず当該システムを確認してください。詳細については、  <a href="https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/">https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/</a>を参照ください。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★事例から学ぶ AI・深層学習	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	
日程実施時間	11月14日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月21日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 11月28日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 12月5日(金) 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	



#### IV 学習センター以外の場所で行う面接授業

以下の科目は、学習センター・サテライトスペース以外の場所で行う面接授業です。  
科目登録の際は、授業実施会場にご注意ください。また、申請の前に必ず本冊子の授業概要にて、詳細(場所・授業概要・当日用意する物等)をご確認ください。

- なお、受講に際しては、以下のことにご留意ください。  
○食事等は各自でご用意ください。また、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力ください。  
○会場においては、責任者の指示に従ってください。  
○交通費、宿泊費(宿泊を要する場合)については、受講者のご負担となります。

学習センター	科目名	実施会場
福岡	大宰府史跡から歴史をひもとく	九州歴史資料館、太宰府市内現地研修(福岡県小郡市三沢5208-3、太宰府市内)
	博物館を学ぶ	九州国立博物館(太宰府市石坂4-7-2)
	博物館浴®入門	九州産業大学(福岡市東区松香台2-3-1)
佐賀	軍事都市「肥前名護屋」を探る	佐賀県波戸岬少年自然の家(佐賀県唐津市鎮西町名護屋5581-1)
	微生物による発酵とは?	1/10(土)は佐賀学習センターアバンセ第2研修室・1/11(日)は基山商店(佐賀県三養基郡基山町大字宮浦151)
長崎	はじめての長崎学	長崎県立長崎図書館郷土資料センター(長崎県長崎市立山1-1-51)
熊本	西洋建築史研究のエッセンス	熊本学習センター大講義室および熊本大学五高記念館(2日目3時限)(熊本市中央区黒髪2-40-1 熊本大学内)
大分	大分県郷土料理を探る	別府溝部学園短期大学(大分県別府市亀川中央町29-10)
	大分の水と温泉	大分学習センターおよび別府地獄めぐり(海地獄他)
	はじめて学ぶ香りの科学	大分学習センター、大分香りの博物館および別府大学36号館発酵食品学科実験室
	文化的景観とはなにか	大分学習センターおよび現地学習(豊後大野市緒方盆地、国東半島田染、別府明礬、別府鉄輪)
宮崎	心理検査法基礎実習	宮崎サザンビューティ専門学校501号室(宮崎市老松2-1-17)
	「描く」を学ぶ	宮崎大学木花キャンパス講義室(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	臨床心理学	宮崎大学木花キャンパス講義室(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	食肉の科学	宮崎大学木花キャンパス講義室(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	飲食文化にみる南・北九州の比較	宮崎県技能検定センター視聴覚室(宮崎市学園木花台西2丁目4番地3)
	ビジネスマナー入門	南九州大学宮崎キャンパス講義室(宮崎市霧島5丁目1番地2)
	会計と租税リテラシー	宮崎県婦人会館3F「さくら」(宮崎市旭1-3-10)
	現代ドイツの社会と文化	宮崎県婦人会館3F「さくら」(宮崎市旭1-3-10)
	精神保健学	宮崎県立看護大学多目的ホール(宮崎市まなび野3丁目5番地1)
鹿児島	西洋の美術/鹿児島美術	鹿児島市立美術館(鹿児島市城山町4番36号)
	日本の農業政策	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)
	心理アセスメントの基礎	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)
	水族館学入門	いおワールドかごしま水族館(鹿児島市本港新町3番地1)
沖縄	沖縄の自然環境と世界自然遺産	1日目(11月8日)沖縄学習センター中講義室 2日目(11月9日)第3・4時限琉球大学博物館(沖縄県西原町字千原1番地)









 **放送大学**  
教養学部